

# 東日本大震災の「記録」 ～岩手県宮古市～

2011.3.11 ~ 2013.3.10

東日本大震災の「記録」  
～岩手県宮古市～

2011.3.11 ~ 2013.3.10



表紙写真

3月11日 午後3時23分。真っ黒に染まった波は、みるみるうちに水位を上げ、ごう音とともに市街地へと流れ込んだ。



# 目 次

## ●第1章 津波の「記録」

○宮古市の被災記録と復興への一歩	1
------------------	---

## ●第2章 災害対策本部の「記録」

○東日本大震災に伴う対応状況（最終報）	13
○東日本大震災に伴う対応状況（経過）	17
○宮古市災害対策本部長の活動の状況（発災初期）	67
○宮古市災害対策本部会議の開催状況	76
○東日本大震災による死者数及び行方不明者数の状況	77
○東日本大震災による家屋倒壊数の状況	78
○東日本大震災による被害推計総額の状況	79

## ●第3章 被災者支援の「記録」

○救援物資の要望状況	83
○応急仮設住宅の設置状況	84
○義援金の給付状況	86
○災害弔慰金の支給状況等	88

## ●第4章 災害対応検証の「記録」

○東日本大震災における災害対応行動の検証	89
----------------------	----

## ●第5章 復興に向けての「記録」

○東日本大震災後における防災対策の取り組み	101
○宮古市震災復興基本方針	104
○宮古市東日本大震災復興計画策定に係る経過	109
○宮古市東日本大震災復興計画策定後に係る経過	111
○宮古市東日本大震災地区復興まちづくり計画策定に係る経過	112

# 第1章 津波の「記録」

写真特集

Document 2011.3.11

# 津波

宮古市の被災記録と復興への一歩



# 天皇、皇后両陛下が 本市避難所を慰問



5月6日、本市の避難所の一つとなっている市民総合体育館を訪問された天皇・皇后両陛下。両陛下は、同施設で避難生活を営いられている約100人の市民に「お体はどうですか」「よくお食事できていましたか」とお礼の言葉を掛けられました。

**津波** 宮古市の被災記録と復興への一歩

記録  
file **1**

市街地  
磯鷲

**地震と津波の状況（気象庁発表）**

発生日時 平成23年3月11日午後2時46分ごろ  
震源地 三陸沖北緯38度42分、東経142度51.6分、杜鰲半島の東南東約120km付近  
約94km）  
マグニチュード 9.0（暫定値）  
震度 5強/震央：震度5強/五戸町、舞ヶ原、長沢、田代、川村、門倉田代  
平成23年3月11日午後2時49分 岩手県に大津波の津波警報  
平成23年3月12日山午後8時20分 津波の津波警報が切り替え  
平成23年3月13日午前7時39分 津波の津波警報が切り替え  
平成23年3月11日午後8時59分 津波の津波警報が切り替え  
平成23年3月11日午後8時49分/0.2m  
平成23年3月11日午後8時26分/8.5m以上  
※震源地で記録した津波観測データの記録分析の結果  
37.9m/日本八咫宮内閣官庁大津波観測所  
38.9m/東北総合防災センター大津波観測所

**避難などの状況**

市民省対策本部の設置 平成23年3月11日午後2時46分  
水戸の閉鎖 警報発表前約30分/11カ所（宮古地域3カ所、田老地域8カ所）  
避難指示発令 平成23年3月11日午後2時49分  
避難指示解除 平成23年3月13日午後5時58分  
避難指示解除 5,227世帯・12,342人  
避難所開設・避難者数 85カ所・8,265人（最大値）

引用元：気象庁発表、国土交通省発表、東北総合防災センター発表、東北総合防災センター発表







津波 宮古市の被災記録と復興への一歩



津波発生時、津波が押し寄せた宮古市の被災状況。津波の被害は、宮古市の中心部から周辺地域にわたって広がった。



津波が押し寄せた宮古市の被災状況。津波の被害は、宮古市の中心部から周辺地域にわたって広がった。



津波が押し寄せた宮古市の被災状況。津波の被害は、宮古市の中心部から周辺地域にわたって広がった。

津波 宮古市の被災記録と復興への一歩



津波が押し寄せた宮古市の被災状況。津波の被害は、宮古市の中心部から周辺地域にわたって広がった。



津波が押し寄せた宮古市の被災状況。津波の被害は、宮古市の中心部から周辺地域にわたって広がった。



津波が押し寄せた宮古市の被災状況。津波の被害は、宮古市の中心部から周辺地域にわたって広がった。

津波が押し寄せた宮古市の被災状況。津波の被害は、宮古市の中心部から周辺地域にわたって広がった。

津波が押し寄せた宮古市の被災状況。津波の被害は、宮古市の中心部から周辺地域にわたって広がった。



津波が押し寄せた宮古市の被災状況。津波の被害は、宮古市の中心部から周辺地域にわたって広がった。





記録  
file **2**

鉾ヶ崎

写真特集 津波 宮古市の被災状況と復興への一歩

鉾ヶ崎の被災状況。津波の力により車がアーチ状の屋根の下まで打ち上げられている



鉾ヶ崎の被災状況。津波の力により車がアーチ状の屋根の下まで打ち上げられている



津波の力により車がアーチ状の屋根の下まで打ち上げられている



旧魚市場跡。波の力により車がアーチ状の屋根の下まで打ち上げられている



津波の力により車がアーチ状の屋根の下まで打ち上げられている



写真特集 津波 宮古市の被災記録と復興への一歩



宮古市にある被災した建物の瓦礫。津波の被害は甚大で、多くの建物が倒壊した。



津波の被害を受けた宮古市の街。道路は瓦礫で埋め尽くされ、通行が不可能な状態に陥った。

記録 file 3

崎山



津波の被害を受けた宮古市の海岸。津波の被害を受けた宮古市の海岸。津波の被害を受けた宮古市の海岸。

写真特集 津波 宮古市の被災記録と復興への一歩

記録 file 4

高浜・金浜



宮古市の被災地。瓦礫の山が広がる中、復興作業が進められている。



宮古市にある三菱自動車株式会社の看板。津波の被害を受けた宮古市の街。



宮古市の被災地。瓦礫の山が広がる中、復興作業が進められている。



宮古市の被災地。瓦礫の山が広がる中、復興作業が進められている。



高浜に位置する宮古道路付近まで駆け上った津波。携帯電話で宮古市街からの約400m地点より撮影（提供：和田 薫）



宮古市の被災地。瓦礫の山が広がる中、復興作業が進められている。







**津波** 茨城市の被災記録と復興への一歩



茨城県茨城市の茨城県立中央高等学校 撮影：前川 尚



山の麓に広がる津波の被害状況。津波の被害は、一部が水没した。撮影：前川 尚



津波は茨城市運動公園を飲み込み赤松地区を襲った。奥に見えるのは波の力によりなぎ倒された市営住宅



津波の被害により停止したJR山田線の列車。撮影：前川 尚



集積の大部分の被害が確認されたこの地区



集積の被害が確認されたこの地区



集積の被害が確認されたこの地区





①、②、アワビ、ウナギの漁獲が減少し、漁業も大打撃を受けた。漁船も壊滅した。宮古市は、震災で壊滅した漁業を復興させるべく、漁業の再開に向けた取り組みを進めている。



③ 首領漁港、加工場や集荷所などの施設は鉄骨の柱だけが無残に残された



④ 震災前、川原の「宮古の海」で、地元産の海産物を加工して販売していた。震災で壊滅した。震災がなければ、川原の海産物は、地元産の海産物として販売されていた。



⑤ 千手堂地区、震災で壊滅した千手堂地区の小学校。震災で壊滅した千手堂地区の小学校。震災で壊滅した千手堂地区の小学校。

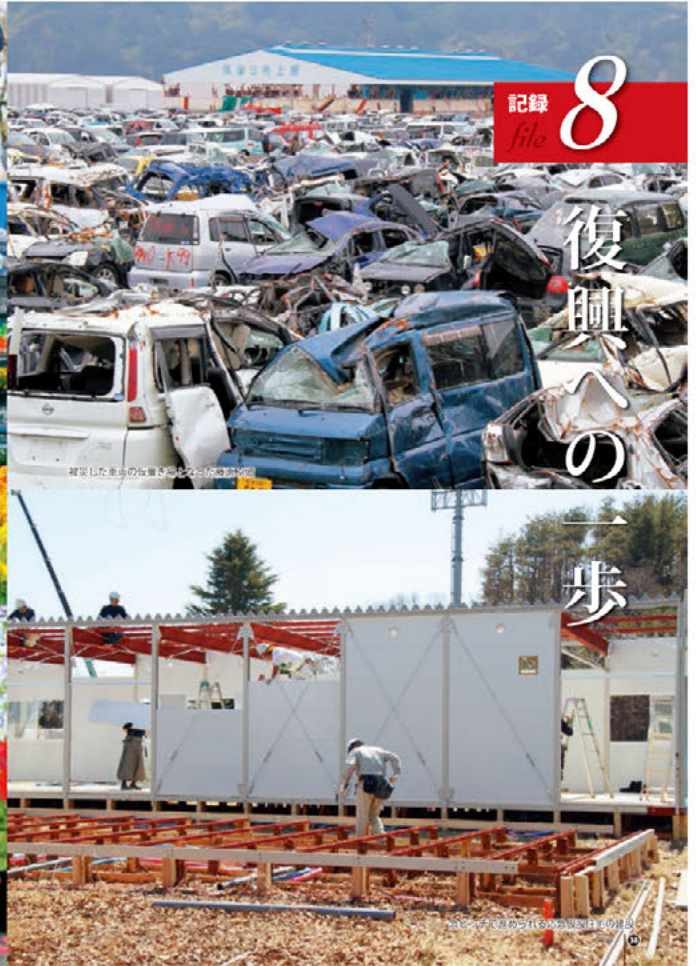


⑥ 震災で壊滅した千手堂地区の小学校。震災で壊滅した千手堂地区の小学校。震災で壊滅した千手堂地区の小学校。













## 第2章 災害対策本部の「記録」



## 東日本大震災に伴う対応状況（最終報）

平成24年8月31日現在

## 1. 地震の状況（気象庁発表）

- (1) 発生時刻 平成23年3月11日 14時46分頃
- (2) 震源地 三陸沖（北緯38.1度、東経142.9度、牡鹿半島の東南東約130km付近）
- (3) 震源の深さ 約24km
- (4) 震源の規模 マグニチュード9.0（平成23年3月13日気象庁発表）
- (5) 震度 震度5強 茂市  
震度5弱 五月町、鉾ヶ崎、長沢、田老、川井、門馬田代
- (6) 警報等の発表 平成23年3月11日 14時49分 大津波の津波警報  
平成23年3月12日 20時20分 津波の津波警報に切替  
平成23年3月13日 7時30分 津波の津波注意報に切替  
平成23年3月13日 17時58分 津波の津波注意報解除

## 2. 津波の状況（気象庁発表）

- (1) 最大波 平成23年3月11日 15時26分 高さ 8.5m以上（※1）  
痕跡等から推定した津波の高さ 7.3m（※2）

※1 後日現地で回収した津波観測点の記録の分析結果

※2 津波観測点付近において津波の痕跡等から津波の高さを調査した結果（平成23年4月5日盛岡地方気象台発表）

（参考）津波遡上高（陸地を駆け登り到達した津波の高さ）

○田老小堀内地区 37.9m（東大地震研究所発表）

○重茂姉吉地区 40.5m（学術合同調査グループ発表）

## 3. 宮古市災害対策本部の設置・廃止状況

- (1) 宮古市災害対策本部設置 平成23年3月11日 14時46分
- (2) 宮古市災害対策本部廃止 平成24年8月31日 17時00分

※これまで「宮古市災害対策本部（関係機関合同）会議」を78回開催し活動調整を実施

## 4. 水ひ門の閉鎖状況

- (1) 警報発表時 閉鎖水ひ門数111箇所（宮古地区93箇所、田老地区18箇所）

※被災25箇所、うち宮古地区11箇所、田老地区14箇所

## 5. 避難状況

- (1) 避難指示発令 平成23年3月11日 14時49分
- (2) 避難指示解除 平成23年3月13日 17時58分
- (3) 避難指示対象 5,277世帯、12,842人
- (4) 避難者数 最大時85箇所、8,889人（平成23年8月10日に指定避難所を全て閉鎖）
- (5) 避難者対応 食事提供、炊き出し（一部避難所）、給水提供、毛布提供、日用品等提供、仮設トイレ設置（一部避難所）、入浴支援（一部避難所）、医療提供（医療チーム・宮古医師会）、衛星携帯電話等設置（一部避難所）など



## 6. 被害状況

(1) 人的被害及び住家等被害（平成24年8月3日現在）

人的被害				住家等被害				
死亡届出者	死亡認定者	合計	行方不明者	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
407人	110人	517人	96人	5,968棟	1,335棟	1,174棟	611棟	9,088棟

※死亡認定者と行方不明者は重複している。「死亡認定者」110人と「行方不明者」96人の差14人は、死亡認定の届出後に遺体またはDNA鑑定で行方不明者本人と特定された方の人数である。

## 7. ライフラインの復旧状況

(1) 電力（東北電力発表）

- ・3/14 県立宮古病院、県振興局復旧
- ・3/21 16,000件の停電のうち流失約4,000件、約12,000件は復旧を進める
- ・3/25 市役所復旧（この間は発電機使用）、市内40%復旧（戸別復旧）
- ・4/15 東北電力営業所の受電完了
- ・4/30 市内完全復旧

(2) 上水道

- ・3/14 復旧率60%
- ・3/18 復旧率76%
- ・3/24 復旧率90%
- ・4/15 復旧率100%

(3) 通信

○固定電話

- ・3/30 宮古局復旧
- ・3/31 市役所光ケーブル復旧
- ・4/15 市内復旧（市内のすべての地区で復旧）

○携帯電話

- ・3/21 NTTドコモ一部復旧（重茂地区、田老地区以外復旧）
- ・4/15 NTTドコモとau完全復旧、ソフトバンク仮復旧（au、NTTドコモ（重茂里、鮎ヶ崎、中の浜周辺を除く）、ソフトバンク使用可能）

○特設公衆電話

- ・3/14 NTTの特設公衆電話、衛星携帯電話などを避難所に設置
- ・3/22 「みやこ災害エフエム／77.4MHz」により臨時災害放送

(4) 公共交通機関

○JR山田線

- ・3/26 宮古－盛岡間で通常ダイヤ運行、宮古－岩手船越間及び岩泉線で代行バス運行（閉伊川鉄橋（落橋）から津軽石にかけて線路流失：復旧方法検討中）

○三陸鉄道

- ・3/20 宮古－小本間で1日3往復運行開始



・3/29 1日4便で運行中

○県北バス

3/16 106号バス再開

3/18 全線再開

#### (5) 道路

・国道、当日から主要幹線の啓開作業開始、警察は交通規制開始

・国・県道と連携し、主要な市道から順次啓開作業を開始

・3/14 国道開通

・3/16 県道重茂半島線開通

・3/23 公道上の車両撤去完了（1,300台）

・3/29 概ね完了

・4/15 歩道の瓦礫撤去完了、以降、本復旧に移行

・7/31 JR山田線館合踏切の通行止解除

## 8. その他

(1) 応急仮設住宅（当初希望者分は平成23年8月11日までに入居済）

建設戸数		入居状況（平成24年7月6日現在）		
箇所数	戸数	入居箇所数	戸数	入居者数
62箇所	2,010戸	60箇所	1,713戸	3,883人

(2) 適用された主な制度等

・激甚災害の指定（平成23年3月12日閣議決定）

・災害救助法の適用（平成23年3月12日岩手県知事が決定）

・被災者生活再建支援法の適用（平成23年3月12日岩手県知事が決定）

※この対応状況は、宮古市災害対策本部が平成24年8月31日時点で取りまとめたものである。







## 東日本大震災に伴う対応状況（経過）

## ■平成23年3月11日（金）16時00分 第1回災害対策本部会議

- 地震の状況 平成23年3月11日（金）14時46分頃
- 震源地 三陸沖（北緯38度6.2分、東経142度51.6分、牡鹿半島の東南東約130km付近）
- 震源の深さ 約24km
- 震源の規模 マグニチュード8.4（暫定値）
- 宮古市の震度 震度5強 茂市  
震度5弱 五月町、鉾ヶ崎、長沢、田老、川井、門馬田代
- 宮古市災害対策本部設置 平成23年3月11日（金）14時46分
- 避難指示発令 平成23年3月11日（金）14時49分に津波浸水想定区域（5, 277世帯12, 842人）に避難指示発令
- 地震・津波の被害状況の確認
- 関係機関、各部からの情報収集
- 各部の災害対応の指示・確認



【地震直後の危機管理課室内の様子】

■平成23年3月11日（金）17時00分  
第2回災害対策本部会議

- 地震・津波の被害状況の確認
- 関係機関、各部からの情報収集
- 各部の災害対応の指示・確認

## ■平成23年3月11日（金）18時00分 第3回災害対策本部会議

- 地震・津波の被害状況の確認
- 関係機関、各部からの情報収集
- 各部の災害対応の指示・確認

## ■平成23年3月11日（金）19時00分 第4回災害対策本部会議

- 地震・津波の被害状況の確認
- 関係機関、各部からの情報収集
- 各部の災害対応の指示・確認

## ■平成23年3月11日（金）19時30分 第5回災害対策本部会議

- 物資配送、重機の待機スペースは、上下水道部、宮古浄化センターとする。
- 市内で2人の死亡を確認
- 遺体安置所は、宮町地区の勤労青少年体育センターに決定（市民生活部）
- 宮古市内の道路は、移動できる状況ではない。（都市整備部）
- 国道106号盛岡－宮古間は、通行が可能（都市整備部）
- 市内の給水状況を早急に把握する。（上下水道部）

## ■平成23年3月11日（金）21時00分 第6回災害対策本部会議



- 宮古市地域防災計画で定める分掌事務により各部での対応を確認
- 新里給食センターで炊き出しが可能か確認
- 新里・川井総合事務所職員は、水道事業所庁舎へ集合させる。（総務企画部）
- 津軽石小学校へ200人～300人が避難している。（市民生活部）
- 津軽石小学校は、床上浸水との情報あり。（教育部）

■平成23年3月11日（金）21時15分

- 第二中学校へ300人（生徒40人、教職員15人を含む）が避難、健康課職員25人ぐらいが待機

■平成23年3月11日（金）21時45分 第7回災害対策本部会議

- 総務企画部と市民生活部は協力して避難所の対応をする。
- 避難所への保健師の配置を検討中（保健福祉部）
- 市役所本庁舎周辺の水は引いたが、1階にゴミが散乱して外へ出られない。
- 浄土ヶ浜パークホテルが施設を開放（市民生活部）
- 三陸国道事務所、岩手県と連絡を取り、幹線道路の漂流物を除去（都市整備部）
- 市道横町と2幹線は、通行が可能であり、状況を見ながら瓦礫の除去作業を開始（都市整備部）
- 田老地区の長内橋が決壊し通行不能
- 田老地区で山林火災が発生し延焼中

■平成23年3月11日（金）22時00分

- 川井総合事務所職員15人、車両14台が水道事業所庁舎へ到着
- 川井総合事務所から支援物資が到着（おにぎり240パック、タオルケット27枚、毛布28枚、救急セット9組）

■平成23年3月11日（金）22時10分

- 鉾ヶ崎小学校へ120人（大人100人、子供20人）が避難
- 佐原保育所で炊き出しを行っている。



【発災直後の避難所の様子】



**■平成23年3月11日（金）22時20分**

□新里総合事務所からおにぎり200パックが到着

**■平成23年3月11日（金）22時30分 第8回災害対策本部会議**

□岩手県警察へ国道106号の交通規制を依頼（都市整備部）  
□国道106号は、根市のファミリーマートで通行止め（都市整備部）

**■平成23年3月11日（金）23時00分 第9回災害対策本部会議**

□岩手県警察盛岡・紫波警察署の支援隊が待機中  
□おにぎりを宮古小学校、山口小学校へ配布

**■平成23年3月11日（金）23時30分**

□大津波警報が継続している中、外出している人がいるとの情報あり。  
□新里・川井総合事務所へ炊き出しを要請  
□新里総合事務所でおにぎり500パック、ごはん150パックの配送準備が完了

**■平成23年3月12日（土）0時00分 第10回災害対策本部会議**

□自衛隊90人が待機、夜明けとともに宮古地区40人（鉄ヶ崎地区20人、藤原地区20人）、  
田老地区40人で活動を展開予定  
□市役所本庁舎敷地へは、車両の乗り入れが不可能な状態（総務企画部）

**■平成23年3月12日（土）1時40分**

□宮古土木センターと道路管理課長が協議し、国道106号は南町地区のツルハドラッグ、県道  
は県立宮古短期大学入口で通行止めとする。  
□末広町、2幹線は車両が重なり、瓦礫の山である。  
□新里総合事務所からおにぎり400個が届き、宮古小学校、山口小学校へ200個ずつ配布

**■平成23年3月12日（土）2時00分 第11回災害対策本部会議**

□自衛隊へりの出動要請を宮古地域振興センターへ行う。  
□岩手県へ食糧7,000食、水、ミルク、毛布、ブルーシートの物資を要請  
□きれいなまち推進室のトラックローダー部隊が宮古消防署へ5時30分に集合し、自衛隊と協  
力して県立宮古病院までのルートを確保する。（都市整備部）

**■平成23年3月12日（土）2時45分**

□新里総合事務所でおにぎり500個～600個の配送準備が完了（ストックして朝に配布する）  
□国道45号愛宕交差点付近は、若山食堂ほか3棟が道路をふさいでいる状況

**■平成23年3月12日（土）5時50分**

□新里総合事務所からおにぎり984個が到着、前回報告分と合わせて1,500個を公用車へ  
積み込み完了

**■平成23年3月12日（土）6時00分 第12回災害対策本部会議**

□岩手県警察、自衛隊へりの出動を要請



- 自衛隊が宮古地区40人（鉾ヶ崎地区20人、藤原地区20人）、田老地区40人の活動を展開予定（自衛隊）
- 京都府警（人員131人、車両32台）が12日の午後に到着予定、山梨県警22人（警備20人、通信2人）が到着予定（宮古警察署）
- 盛岡・秋田消防本部から緊急援助部隊が入る予定（宮古消防署）
- 市役所本庁舎へ電源車の設置を要請（東北電力）
- 沿岸部は、壊滅状態の様相（消防情報）
- 田老地区で山林火災が発生し延焼中
- 遺体の対応は、きれいなまち推進室が担当する。（市民生活部）
- 国道106号は車両通行が可能（都市整備部）

**■平成23年3月12日（土）6時30分 第13回災害対策本部会議**

- 岩手県と自衛隊が市役所へ連絡要員を配置予定
- 宮古地区合同庁舎へ500人、宮古消防署庁舎へ160人、藤原小学校へ100人が避難
- 3月11日に救急車が津波被災し、隊員2人が自力避難したが、隊員1人と要救助者2人が行方不明
- 宮古消防署でおにぎり500個を炊き出し、田老地区へ配送（市民生活部）
- 国道106号の市内への通行車両は、6時30分から根市のファミリーマートで規制を開始（都市整備部）

**■平成23年3月12日（土）7時30分 重茂出張所長報告**

- 重茂地区の音部、里は、ほぼ流失し、千鷲、姉吉、石浜は、無線も不通で連絡が取れない状況
- 重茂地区までは、大型車の通行が困難
- 津軽石地区は、駒形橋まで津波が来たようだが、現時点では通行が可能

**■平成23年3月12日（土）7時40分**

- 第二中学校へ205人（生徒25人、教職員17人、市民163人）が避難
- 職員27人（健康課、総合窓口課、介護保険課、福祉課）が参集、食糧はフードショップはこいしで準備済み
- 新里総合事務所からおにぎり564個が到着
- 東北電力裏の民家2階に要救助者1人（女性）を救急要請済み

**■平成23年3月12日（土）8時00分**

- 田老総合事務所へ280人、田老第一小学校へ208人、常運寺へ245人、県立宮古北高校へ100人、田老ふれあい荘へ170人、火葬場付近へ13人、道の駅たろうへ34人、グリーンピア三陸みやこへ303人の合計1,353人が避難
- 田老地区の平坦部は、ほぼ全滅
- 田老地区の青砂里一和野、乙部、荒谷の熊野神社付近で山林火災発生
- 田老第一小学校及び田老第一中学校の児童生徒は全員無事
- 田老第一小学校校庭にヘリの着陸が可能
- 田代方面から神田橋付近まで車両進入可能、田老総合事務所へは三陸鉄道の線路からアクセスが可能



## ■平成23年3月12日（土）8時30分

□黒田町で2遺体（男女各1体）搬送済み

## ■平成23年3月12日（土）8時40分

□後藤医院から人工透析患者用の水が欲しいと要望があり、  
宮古消防署で対応

## ■平成23年3月12日（土）9時30分

□崎山小学校へ230人前後の避難者、ガソリン、発電機の  
要請あり、毛布100枚を使用中

□ほほえみの里へ利用者100人、デイサービス利用者55  
人、市民1人、職員75人が避難

□ほほえみの里田老グループホームの利用者9人、職員3人  
と連絡が取れない。

□はまゆり学園へ児童36人、保護者3人、アトリエSUN  
3人、職員18人、養護学校通学生3人が避難

□恵風支援学校へ生徒23人、保護者2人、職員28人が避難

□第一わかたけ学園へ利用者121人、職員15人が避難

□重茂地区の千鶏付近で負傷者（頭部出血、意識不明）が発生し、自衛隊へりに救出を要請

□金浜老人福祉センターへ170人が避難、水はあるが長くは持たない。

## ■平成23年3月12日（土）10時00分

□山口小学校へ120人～130人が避難

## ■平成23年3月12日（土）11時30分 第14回災害対策本部会議

□国道45号の瓦礫撤去に2日～3日かかる見込み。（三陸国道事務所）

□重機6台が待機中で国道106号の啓開と国道45号の啓開に半分ずつ使用予定だが、大津波  
警報発令中は、作業が不可能である。（三陸国道事務所）

□JR山田線津軽石駅付近で汽車が脱線

□津軽石地区の法の脇付近で線路が国道に乗っている模様

## ■平成23年3月12日（土）11時30分 調査班報告

□金浜地区の防波堤が30mぐらい被災している。

□津軽石地区の法の脇は全壊、国道45号に男性の遺体1体あり。

□津軽石出張所は壊滅

□津軽石小学校、津軽石中学校の校庭まで津波が浸水

□津軽石小学校へ200人（児童7人、教職員17人含む）が避難

## ■平成23年3月12日（土）11時35分

□田老総合事務所庁舎前の駐車場まで津波が浸水

□田老地区で山林火災が発生し延焼中



【避難所のエリア地図】



■平成23年3月12日（土）11時45分  
調査班報告

- 比古神社高台へ120人～130人、伊藤牛乳跡地高台へ40人～50人、藤原小学校へ50人～60人が避難、食糧及び防寒対策用品の要請あり。
- 藤原地区で車両内に遺体あり、行方不明者1人との情報あり。



【避難所への避難者数の状況】

■平成23年3月12日（土）12時05分

- 川井総合事務所から水道事業所庁舎へ炊き込みごはん439パック、おにぎり3,125個（新里地区分を含む）、飲料3,672本が到着
- 磯鶏小学校から灯油16缶の要請あり。
- 山口公民館へ160人が避難、男女共生推進センターへは避難者0人

■平成23年3月12日（土）12時20分 調査班報告

- 金浜地区、高浜地区の国道45号は瓦礫のため通行不可能、水没、倒壊家屋多数、車両が進入不可能で孤立状態
- 高浜小学校の校庭まで津波浸水
- レストランまるみつ裏に男性遺体1体、つり童夢付近に男性遺体1体あり。
- 高浜地区で2人流されたとの目撃情報、行方不明者2人との情報あり。
- 金浜老人福祉センターへ70人（夜は100人ぐらい）が避難、毛布、食糧、カセットコンロ、ろうそく、仮設トイレの要請あり。
- 稲荷神社高台へ5人が避難、毛布、食糧が不足
- コープケミカル高台へ50人が避難、地域で炊き出しをしながら高台にある物置や社宅の空き部屋、倉庫で寝泊まりをしている。

■平成23年3月12日（土）12時30分

- 津軽石地区の稲荷橋踏切付近は通行不可能、ヒロセ電機付近に流出家屋が押し寄せている。
- 赤前地区の堀内は、避難路まで津波が来たとの情報あり。
- 赤前地区で独居老人の救助要請があり、宮古消防署へ連絡
- 千徳小学校で自衛隊が給水活動、避難者は夜に自宅へ帰った様子
- 宮古西中学校で発電機用混合油の要請あり。
- 花輪伝承館へ70人が避難（うち40人は高浜地区の住民）、負傷者2人
- 長沢地区の負傷者なし。
- 赤前小学校へ100人が避難、負傷者2人、避難者から死亡者2人、行方不明者39人との情報あり。

■平成23年3月12日（土）13時00分 調査班報告

- 根市地区、花原市地区は被害なし。
- 西町地区、山口地区で水不足（黒森から沢水を汲んでいる状況）
- 山口公民館へ150人が避難
- 県立宮古高校へ宮町地区、南町地区の172人が避難（市民26人、生徒146人）し、山口



小学校へ移送予定、生徒は保護者が来れば帰す方針

□宮古第一中学校は生徒が不在、山口小学校へ8人が避難中

#### ■平成23年3月12日（土）13時15分 調査班報告

□築地地区、愛宕地区、光岸地地区、鍬ヶ崎地区の臨港通の家屋は、ほとんどが倒壊

□光岸地地区は、死者8人（消防団情報）

□蛸の浜地区の峠を津波が越えたとの情報あり。

□愛宕地区、光岸地地区の住民は愛宕小学校へ避難

□中央公民館へ30人～40人、宮古漁協ビルへ15人が避難

#### ■平成23年3月12日（土）13時30分

□津軽石地区の稲荷橋、駒形橋の一带は家屋が流失、付近に3遺体～4遺体あり。

□梅翁寺の避難者は、国民休暇村へ移動する。国民休暇村は軽油が不足

#### ■平成23年3月12日（土）14時30分 福祉課報告

□愛宕保育所は園児3人が愛宕小学校へ避難、千徳保育所は園児2人が千徳体育館へ一時避難、津軽石保育所は園児3人が津軽石小学校へ避難、同保育所は軒下まで津波浸水、小山田保育所は児童2人が小山田地区センターに一時避難し保護者が引き取り、現在は避難者0人、崎山保育所は昨夜8時に園児全員帰宅、あすなる保育園から職員が一人来ている。宮古保育園は園児が宮古小学校へ避難、少し泥が上がっている状況、月曜日に保育が必要な児童は常安寺保育園で預かる。花輪保育所、門馬保育所、川内児童館は異常なし。

#### ■平成23年3月12日（土）15時10分 調査班報告

□黒田町地区は建物1階が床上浸水

□横町地区は被害なし。

□新川町地区、向町地区は、ほぼ全家屋が倒壊している状況

□大通地区と栄町地区は、大通地区から閉伊川側一帯の被害が大きい。

#### ■平成23年3月12日（土）15時30分 調査班報告

□重茂地区の千鶏は、上野商店まで津波が到達し、20数人が波にさらわれたとの情報あり。

□重茂地区の石浜は、県道まで津波が到達

#### ■平成23年3月12日（土）17時20分 第15回災害対策本部会議

□宮古湾で遺体確認の作業中（海上保安庁）

□京都府警、山梨県警から応援部隊約150人が13日から現場入りの予定（宮古警察署）

□現時点での電力復旧の目途立たず。（東北電力）

□自衛隊、緊急消防援助隊は、宮古市民総合体育館シーアリーナへ宿泊してもらう。

□17時現在の被害状況は、死者41人、行方不明者628人、避難者数7,739人、孤立地区3か所（重茂地区の千鶏、石浜、川代）、田老地区で火災延焼中

□遺体安置所は、宮古地区が勤労青少年体育センター、田老地区が県立宮古北高校（市民生活部）

□給食、物資は、おにぎり2サイクル目を配布完了、国民休暇村へ170人が避難、各避難所から飲料水、生活用水の要望が多い。（市民生活部）



■平成23年3月12日（土）20時20分 津波の津波警報に切替

■平成23年3月13日（日）7時00分

- 花輪伝承館へ80人が避難、第17分団倉庫及び日本赤十字社の物資を配布済み
- 花輪出張所の若狭所長が伝承館に待機し、戸籍の届出を受け付ける。
- 避難所で食糧が不足

■平成23年3月13日（日）7時20分

- 梅翁寺へ20人が避難、高齢者は自力移動が困難な状況、炊き出しをしているが、水、食糧が尽きた。近隣の避難所（第二中学校、鉾ヶ崎小学校）に移動要請あり。
- 久保歯科医院より下は、ほぼ全壊、鉾ヶ崎小学校の校庭まで津波浸水
- 鉾ヶ崎地区の行方不明者多数、避難中の方が流されたとの目撃情報あり。

■平成23年3月13日（日）7時30分 津波の津波注意報に切替

■平成23年3月13日（日）7時35分

- 宮古市災害対策本部へ自衛隊連絡員2人を配置（陸上自衛隊）

■平成23年3月13日（日）8時00分 第16回災害対策本部会議

- 田野畑村から山田町までの範囲を200人規模で活動（陸上自衛隊）
- 田老地区は、乙部の坂の手前まで1.5kmが瓦礫の山（陸上自衛隊）
- 藤原一磯鶏間、小山田トンネルー磯鶏間の瓦礫撤去作業を行う。市民文化会館付近は、貯木場から流出した丸太で復旧作業の支障となる状況が予想される。（三陸国道事務所）
- 防災行政無線は、中継局停電の影響で放送が不可能（危機管理監）
- 炊き出し11,000食の配布準備完了、新里給食センターが通電になったので、炊き出しの稼働について検討したい。（市民生活部）
- 物資集積場所は、新里トレーニングセンターを想定し、水道事業所庁舎へ配送
- 応急仮設住宅の用地確保は、市が行う。
- 避難所から給水の要望が多い。

■平成23年3月13日（日）11時30分 第17回災害対策本部会議

- 避難者の支援体制と今後感染症を起こさない対応が必要。（宮古地域振興センター）
- 今日か明日14日に国土交通省フェリーが入る。遺体の捜索に使用したらどうか。（宮古地域振興センター）
- 県内外から保健師が支援（雫石町、二戸市、岩手町、中部保健所）、DMATチームが田老に入った。（宮古地域振興センター）
- レスキュー要請が増加している。（宮古消防署）
- 遺体安置数47体（宮古地区45体、田老地区2体）（危機管理監）
- 田老地区の大平から長内川までの住宅すべてが流失（田老総合事務所）
- 1,392人の避難者を確認、約1,000人が行方不明（田老総合事務所）
- 山火事、住宅火災発生、田老診療所焼失し、国道45号から海側延焼中（田老総合事務所）
- 田老地区の神田、末前、青倉からの米を炊き出し、沢水を塩素滅菌して使用した。（田老総合事務所）





【レスキュー要請が増加し待機する緊急消防援助隊の消防車両】

- 軽油、灯油、ガソリン、プロパンガスが不足している。(田老総合事務所)
- 宮古地区合同庁舎の避難者500人から200人(市民生活部)
- 田老地区の遺体安置所は県立宮古北高校(市民生活部)
- 新里給食センターは電気が復旧し、炊き出しが可能、田老総合事務所は米が尽きた。水は何とか確保、岩泉町からおにぎり、水の援助あり。(市民生活部)
- 消毒対応手配、薬品手配中(保健福祉部)
- 明日14日から車両、瓦礫の除去作業に入る。閉伊川右岸に車両、左岸にゴミを搬入したい。(都市整備部)
- 宮古以北は12時に規制解除の見込み、国道45号は藤原地区まで通行が可能、鉾ヶ崎一光岸地間、岩手県へ路線啓開作業を依頼(都市整備部)
- 避難所名簿の作成を午後から行う。(都市整備部)
- 千徳水系は60%、宮古送水場40%、復旧まで時間がかかる。(上下水道部)
- 津軽石地区の送水管破損の可能性あり。清寿荘までは通水しており、現在も復旧作業中(上下水道部)
- 田老地区の送水管破損の可能性あり。復旧作業中(上下水道部)
- 重茂地区は、自家水道と市水道の二本立て(上下水道部)
- 日本水道協会愛知、岐阜から給水車が向かっている。(上下水道部)
- 下水道処理センターは、電力が復旧すれば稼働可能。(上下水道部)
- 米の手配を農協に依頼した。数量の回答が入る予定(新里総合事務所)

■平成23年3月13日(日)15時30分 第18回災害対策本部会議

- 宮古-山田間、宮古-田野畑間の被災状況をヘリで上空視察した。(山本市長)





【新里トレーニングセンターへ大量の支援・物資が集積された】

- 15日に物資輸送船「白山」2,000t級、F-7バースに入港予定（宮古港湾事務所）
- 避難者数は、50か所で8,021人（危機管理監）
- NTTドコモは14時30分現在、根市-腹帯間で通話可能（危機管理課長）
- 遺体は、13時現在で宮古地区60体、田老地区2体の62体（危機管理課長）
- 衛星携帯電話1台を6階に設置（危機管理課長）
- 3月1日現在の宮古市の世帯数と人口は24,332世帯60,124人（男性28,738人、女性31,386人）（危機管理課長）
- 情報の集約、一元化で正確な情報共有が大切である。（危機管理課長）
- 郵便事業株式会社では、被災者あて郵便物を被災者に配達したいとのこと。（危機管理課長）
- 国道45号は、金浜地区まで1車線を確保（都市整備部）
- 鉾ヶ崎地区の瓦礫除去作業は光岸地地区側から岩手県、日立浜地区側から宮古市で実施中（都市整備部）
- 14日に市中心部の瓦礫除去に入る。津波注意報解除の際は藤原地区に入る。（都市整備部）
- 重茂地区には、津軽石地区の藤畑から十二神林道に入り瓦礫除去を行う。（都市整備部）
- 千徳第2送水場は、今日中の復旧は不可能の見込み。（上下水道部）

■平成23年3月13日（日）17時58分 津波の津波注意報解除

■平成23年3月13日（日）17時58分 避難指示解除

■平成23年3月13日（日）18時30分 第19回災害対策本部会議

- 重茂地区から道路を確保して欲しいと強い要望あり。（山本市長）
- 消毒作業をお願いしたい。薬剤が不足（自衛隊）



- あまぎり3, 500t級、ヘリ1機が海上捜索、物資輸送、食事、入浴の提供も可能（海上自衛隊）
- 避難者名簿は、14日午後公表（災害対策本部）
- 二車線の確保を目指し瓦礫の撤去を行う。（三陸国道事務所）
- 藤原埠頭に道路のゴミ（ヨット、船、車両）を一斉搬入可能、防災行政無線で放送してもらい、明日14日の午後から運び出す（三陸国道事務所）
- 遺体は18時30分現在で80体
- 藤原埠頭に土砂、瓦礫あり。（都市整備部）
- 国道45号南ルートは津軽石地区の駒形橋まで開通、重茂地区へのルート確保のため、津軽石地区の藤畑―十二神間の山越えに2台のローダーが入る。（都市整備部）
- 合同災害対策本部会議は、14日から8時に当日の予定、17時に当日の報告の2回の開催とする。（災害対策本部）

#### ■平成23年3月14日（月）1時00分 自衛隊追加援護部隊来庁

- 磯鶏地区、藤原地区、津軽石地区の捜索、救助
- 重茂地区の鶴磯、石浜にバイク部隊で現地調査を試みたい。

#### ■平成23年3月14日（月）8時00分 第20回災害対策本部会議

- 避難所へDMAT日赤チーム20人が入る。（宮古保健所）
- 築地―津軽石間、二車線確保の作業（信号、電柱撤去）、田老地区は300mぐらいを残して、16時までには開通予定（三陸国道事務所）
- 東北電力太田技術センターを拠点、西ヶ丘地区、千徳地区、県立宮古病院、宮古地区合同庁舎、宮古消防署は電力が復旧、今日は赤前―津軽石方面、規模の大きい避難所優先に作業（東北電力）
- 磯鶏―津軽石間、重茂地区の捜索活動、北海道から470人増員、広域で2,000人体制（自衛隊）
- 護衛艦あまぎり掃海艇で漂流者捜索、ダイバー水深調査（海上自衛隊）
- 遺体確認20体（うち安置所へ13体）、行方不明者30人、負傷者15人（田老総合事務所）
- 新里給食センター配管損傷状況を確認後に炊き出し（4,000個/1回）、ゴミ収集は可燃物、資源物は中止（市民生活部）
- 住民基本台帳受付事務を新里総合事務所で、物資を新里トレーニングセンターで受入れ（新里総合事務所）
- 食糧、トイレの配給が出来ない。（田老総合事務所）
- おにぎり9,000個、毛布1,200枚を運搬中（川井総合事務所）
- 本日中の完了目標で避難所名簿を作成（都市整備部）
- 放置車両を藤原埠頭へ移送（末広町通りを交通規制し9時から3回実施）、藤畑―重茂間の林道にローダーが入る。（都市整備部）
- 田老地区の摂待で瓦礫撤去が必要（都市整備部）
- 千徳系の水道の出方が悪い。給水応援車7台を避難所に固定（上下水道部）

#### ■平成23年3月14日（月）8時00分

- 国が食糧、飲料水をヘリにて配送する。配送場所は、大型ヘリの場合が新里中学校校庭、中型ヘリの場合が新里山村広場、供給量は63万セット（サイズ詳細不明）
- 新里中学校から新里トレーニングセンターまでの移動は、アート工業の2t前後のトラック4



台が待機中（生活課職員）、不足の場合は自衛隊の要請が可能であると思われる。（畠山副主幹）

■平成23年3月14日（月）10時00分

- NTTドコモの通話エリアはへいがわ老木公園、花原市一腹帯間、メール送受信エリアはNTTドコモショップ宮古の和見町付近、五月町の宮古地区合同庁舎、鴨崎町の一石公園上、重茂地区の閉伊崎周辺
- 遺体搬送は海上自衛隊が対応（安置先未定）、重茂地区の音部、笹見内公民館50体、重茂小学校170体、姉吉36体、石浜150体、川代30体、千鶏7体の情報あり。（自衛隊）
- 重茂地区で懐中電灯、電池、米、ガソリン、LPガス、灯油、医薬品、水、みその要望あり。（自衛隊）

■平成23年3月14日（月）10時00分 品川区防災課連絡

- ミルクや物資など依頼があれば、災害応援協定により提供するので連絡願いたい。

■平成23年3月14日（月）11時00分

- 1体の火葬につき60リットルの燃料が必要、100体処理すると燃料が尽きる。今週木曜日に田岡商店から1回供給確約済みだが、その後の燃料は？（みやこ斎苑）
- 燃料は国で用意（納入日、納入方法未定）
- 棺が足りないとのことだが、すでに棺は丸石商事に100棺を発注済

■平成23年3月14日（月）11時30分

- 国から宮古市へ燃料が支給される。支給対象は一般も含んで算定可能（岩手県災害対策本部）
- 市内ガソリンスタンドに伝え協議

■平成23年3月14日（月）12時00分 NHK盛岡放送局連絡

- NHK宮古中継局は自家発電により視聴可能、燃料補給も随時行う予定、花輪中継局は電力復旧済み、新里中継局は確認が取れていない。（企画課広報担当）

■平成23年3月14日（月）14時00分 県調査統計課

- 国勢調査のデータは、目的外での使用は出来ないが、今回の災害に関しては使用してよい。津波でデータが流出していたら、県の控えを提供することが可能。

■平成23年3月14日（月）18時00分 第21回災害対策本部会議

- 遺体2体が漂流し、釜石市へ搬送（海上保安庁）
- 測量船で港内安全確認（海上保安庁）
- 田老地区一部通電、津軽石地区通電、高浜地区通電、宮古小学校通電（電源車は赤前小学校へ移動）（東北電力）
- 車の盗難、略奪が宮城県で発生（宮古警察署）
- 護衛艦ちくま、あまぎりで捜索したが遺体の発見なし。（海上自衛隊）
- 近畿地方整備局が15日10時頃、衛星車とともに到着予定（陸上自衛隊）
- 緊急車両証明書は財政課で発行（総務企画部）



- 新里給食センターでおにぎり9,000個炊き出し、大量の廃棄物、計画的な処分を、処分置き場は宮古浄化センターを使用（市民生活部）
- 消石灰消毒を開始（保健福祉部）
- 避難者名簿は15日未明を目標（都市整備部）
- 応急仮設住宅の建設候補地はグリーンピア三陸みやこ、旧愛宕中学校跡地、1,000戸単位でいくらかでも必要と要望（都市整備部）
- 道路状況は、光岸寺ーシートピアなあと間が開通、日立浜ー鍛ヶ崎間が開通、津軽石地区の藤畑ー十二神山間が圧雪状況、重茂地区の川代まで山田町の大沢から啓開作業中（都市整備部）
- 給水応援は長野県、岐阜県から給水車3台（2t、1.8t）が応援に来て、1週間ぐらい滞在予定（上下水道部）
- 本日の給水予定は、県立宮古病院を宮古消防署が24時間体制で、津軽石小学校を自衛隊の給水車で、後藤医院を宮古消防署の給水車で（明日15日、専用管復旧予定）、宮古第一病院を宮古消防署の給水車（本日給水区域に入った）で対応（上下水道部）
- 燃料は田岡商店、カメイ、宇佐美で公用車のみ給油が可能（産業振興部）

#### ■平成23年3月14日（月）21時00分

- 市内の現地調査を15日から行う。（NTT）
- 避難所への通信確保のため、衛星携帯電話や無料特設電話を配置（NTT）

#### ■平成23年3月15日（火）8時00分 第22回災害対策本部会議

- 宮城県庁から4台の衛星携帯電話を借り受ける。（宮古地域振興センター）
- 遺体・物資搬送用はくさんが入港（海上自衛隊）
- 洋上調査船9隻、測量船1隻（海上保安庁）
- グリーンピア三陸みやこまで通電（東北電力）
- ポンプ車、衛星通信車（国土交通省）
- 病院情報の把握、自衛隊医療チーム、県外派遣チーム（宮古保健所）
- 岩手県からの物資が10t車で14日夜に到着（市民生活部）
- 藤の川ー金浜間は片側1車線通行が可能、高浜小学校ー三陸縦貫自動車道宮古道路宮古南IC間は通行止めし、撤去作業中（都市整備部）
- 千徳水系は復旧し、避難所の給水へ移動（上下水道部）

#### ■平成23年3月15日（火） 15時30分 静岡県DMA T医療支援のため来訪

- 医師3人、看護師2人、薬剤師1人、事務員3人、ドクターカー1台、普通車2台、エアートント（6m×6m）1棟、重茂漁協で診療センター開設



【支援物資が続々と送られてくる】





【大型輸送船により大量の物資が到着】

■平成23年3月15日（火）17時00分 第23回災害対策本部会議

- 100人から3,500人体制で給食、給水、入浴支援に各1,000人体制で実施（自衛隊）
- 宮古市、田野畑村の給食支援、物資手配、保健医療に力を入れたい。（宮古地域振興センター）
- 衛星携帯電話が宮古市に4台入る。（宮古地域振興センター）
- 物資1便が到着（岩手県災害対策本部）
- インフルエンザが流行しつつある。
- 千徳水系は宮古駅以西及び小田代山荘、田老地区の神田、田老ふれあい荘、グリーンピア三陸みやこ、道の駅たろうは復旧済み、県立宮古北高校、田老第一小学校、田老総合事務所は復旧作業中（上下水道部）

■平成23年3月15日（火）19時30分 品川区防災安全課長

- 品川区から救援物資を乗せた大型トラック2台と4tトラック5台が16日の13時に品川を出発し、17日の8時に宮古市へ到着予定

■平成23年3月16日（水）8時00分 第24回災害対策本部会議

- 重茂地区の孤立対策に取り組む（宮古地域振興センター）
- 学校・子供の支援のマンパワーを確保（宮古地域振興センター）
- 県北106急行バスは今日から1日3便の運行を開始（県北自動車）
- 艦船5隻で灯油ドラム缶18本を積載した物資を輸送中（海上自衛隊）
- 重茂地区の大浦、千鶏の橋が落橋し孤立（陸上自衛隊）
- 給水210リットル／1日、給食2,000食×3か所（陸上自衛隊）
- 高圧電源車を田老地区へ、赤前小学校は通電の見込み。（東北電力）



- 田老地区の山林火災は7時に鎮火、消防100人、自衛隊400人が出動
- 15日現在の田老地区の死者数は26人
- 米20t（1日1t消費見込み）、毛布8,000枚が必要（市民生活部）
- 新里地区、川井地区で15日におにぎり9,700個、本日5,000個～6,000個炊き出し予定（市民生活部）
- 医療機関の診療状況の情報提供あり。（保健福祉部）
- 救護班の活動継続中、医療班の派遣調整中（保健福祉部）
- 末広町地区の消毒は降雪により見合わせ（保健福祉部）
- 三陸国道事務所情報による道路状況は、国道45号高浜小学校～金浜間は作業終了、三陸縦貫自動車道宮古道路宮古南IC内に空洞箇所あり、片側通行で工事中（都市整備部）
- 田老地区で緊急車両以外は通行止め（都市整備部）
- 後藤医院、宮古第一病院の水道が復旧、愛宕地区は一度通水してみる。（上下水道部）
- 佐原地区、崎山地区は本日給水の予定（上下水道部）
- 長野県からの給水応援は地震のため帰県した。（上下水道部）
- 小中学生の安否状況は死亡1人、安否不明8人（教育部）
- 校長会議を3月23日に開催予定（教育部）

#### ■平成23年3月16日（水）17時00分

- 17日の県知事による現地視察は予定変更（視察時は、知事を含め4人分の車の手配を願う）（岩手県）
- 火葬場の燃料の手配を至急願う。1,000リットルで25体の火葬が可能、燃料の残りが400リットル弱、1日に8体～10体を火葬、明日17日の朝に2体～3体で燃料が尽きる。（常安寺火葬場）

#### ■平成23年3月16日（水）17時00分 第25回災害対策本部会議

- 水門、瓦礫、ゴミの処理が課題（宮古地域振興センター）
- 津軽石地区、赤前地区の電力復旧の作業中（東北電力）
- NTTドコモの復旧の目途が立たず。（NTT）
- 引き続き捜索活動（海上自衛隊）
- 炊事隊が入っている。燃料不足対策として、放置自動車から燃料を抜き取るのはどうか？（陸上自衛隊）
- 放置自動車から燃料を抜き取るのは、法に触れる。（宮古警察署）
- 「はくさん」は荷揚げ終了（宮古港湾事務所）
- 重茂地区の千鶏の遺体は211体との情報あり。
- 16日現在、新里トレーニングセンターの集積場所は、ほぼ満杯（市民生活部）
- 化学防護隊が入る。DMATは来週まで診療（保健福祉部）
- 三陸縦貫自動車道宮古道路宮古南ICから通行できるが、ガードレール破損箇所あり。県道重茂半島線は山田町大沢側から開通（都市整備部）
- 市営住宅の空き部屋100戸のうち70戸点検中、雇用促進住宅の空き部屋点検中（都市整備部）
- 京都市、神戸市から給水応援6台、24人増（上下水道部）

#### ■平成23年3月16日（水）17時15分



- 17日に岩手県が宮古消防署にガソリン4キロリットル、軽油6キロリットル、灯油4キロリットルの燃料を支援する。角登商店のタンクローリー2台に備蓄し、救急援助隊、消防車、救急車、消防団車両用とし消防署に配備（宮古消防署）

■平成23年3月17日（木）7時30分 第26回災害対策本部会議

- 小中学校に応援職員の派遣を要請（宮古地域振興センター）
- 全漁連から県漁連を通じ宮古漁協へ、ガソリンドラム缶20本の支援があり宮古消防署へ置く。用途は、宮古地域振興センター副局長が大井組合長と協議する。（宮古地域振興センター）
- オイルターミナルのガソリン4キロリットルを確保（宮古地域振興センター）
- 県道崎山鉾ヶ崎線は本日開通、県道重茂半島線は落橋の修復対応（宮古地域振興センター）
- 海上捜索を引き続き行う。（海上保安庁）
- 掃海艇「つのしま」で活動（海上自衛隊）
- 人員捜索（陸上自衛隊）
- 生活支援は夜から行う。（陸上自衛隊）
- 避難所までの物資輸送が可能（陸上自衛隊）
- 捜索活動（宮古警察署）
- 交通対策に静岡県、青森県から34人（宮古警察署）
- 信号機の損壊が甚大、復旧には半年ぐらいの時間を要する。（宮古警察署）
- 田老総合事務所の通電作業中、市役所分庁舎－NTT間の通電作業を開始、浄土ヶ浜パークホテルへの通電を目標、三陸国道事務所、県立宮古商業高校が通電、末広町－緑ヶ丘間は1戸ごと点検するため時間を要する。（東北電力）
- 新里・川井総合事務所職員は、物資受入作業に従事、新里給食センターでおにぎり4,000個を炊き出した。（市民生活部）
- 陸上自衛隊の協力で消毒作業を継続中（保健福祉部）
- 高齢者、子供の疲労が見える。（保健福祉部）
- 三陸縦貫自動車道宮古道路宮古南IC内の空洞処理を引き続き行う。（都市整備部）
- 藤の川地区は片側通行の対応（都市整備部）
- 国道45号は2車線の確保作業中（都市整備部）
- 宮古市以南の気仙沼市までは通行可能だが交通規制あり、宮古市以北は緊急車両のみ通行可能（都市整備部）
- 重茂地区の千鶏は復旧、川代、石浜は断水中（上下水道部）
- 本日の給水予定は県立宮古病院（宮古送水場が被災し、2日～3日中で3割～4割が復旧予定（県立宮古病院まで送水の予定）（上下水道部）
- 東京都から緊急車両用としてガソリン10キロリットルが入る。（産業振興部）
- 宮古港の漂流物を撤去中（産業振興部）
- 4月1日の人事異動は見合わせ（教育部）
- 赤前運動公園駐車場の瓦礫の撤去作業を開始（教育部）



■平成23年3月17日（木）9時00分

- 災害ボランティアセンターがボランティア派遣の受付を開始

■平成23年3月17日（木）17時00分 第27回災害対策本部会議

- 関係機関、各部からの情報収集



□各部の災害対応の指示・確認

■平成23年3月18日（金）7時30分 第28回災害対策本部会議

- 知事慰問が14時～14時30分（宮古地域振興センター）
- 物資輸送のあまくさが8時30分に接岸予定（海上自衛隊）
- 生活支援隊の活動準備が完了（陸上自衛隊）
- 偵察機2機が新里中学校に待機（陸上自衛隊）
- 免許証書の書き換えが特例措置、車検が1か月延びる。
- 重茂地区へ向けての工事、藤原小学校、グループホームあお空、熊野神社、黒田町地区、新町地区を1軒ずつ調査（東北電力）
- 宮町地区の遺体収容所は160体から130体引渡し済み、田老地区の遺体収容所は59体から10体引渡し済み、千徳地区の遺体収容所は16体から4体引渡し済み（市民生活部）
- 田老地区の避難所をグリーンピア三陸みやこへ統合することを検討（市民生活部）
- 消毒作業を継続中（保健福祉部）
- 道路状況は、県道重茂半島線を補修工事、国道45号の藤の川付近は3日～4日の作業を予定、田老地区の国道45号を作業予定
- 本日の給水予定は、県立宮古北高校、崎山小学校、佐原地区、中里地区、希望ヶ丘団地（上下水道部）
- 県立宮古病院の復旧は明日19日の予定（上下水道部）
- 東京都から緊急車両用としてガソリン10キロリットルが入る。（産業振興部）
- 宮古港の漂流物を撤去中（産業振興部）

■平成23年3月18日（金）10時30分

- 岩手県災害対策本部が宮古市にNTTドコモ衛星携帯電話を設置
- 配置先は、津軽石小学校10台、グリーンピア三陸みやこ10台、県立宮古北高校10台、田老ふれあい荘1台、田老総合事務所1台

■平成23年3月18日（金）

14時30分

- 鳥取県南部町が明日19日の昼頃に到着予定
- 米1.5t、灯油2,000リットル、薬200万円ぐらい、タオルなどの備蓄品を持参
- 精神科医医師1人、看護師2人、保健師2人、町職員3人、介護職員5人を派遣

■平成23年3月18日（金）

17時00分 第29回災害対策本部会議

- 関係機関、各部からの情報収集
- 各部の災害対応の指示・確認



【災害発生後1週間後の田老地区の様子】



■平成23年3月19日(土)  
7時30分 第30回災害対策本部会議

- 関係機関、各部からの情報収集
- 各部の災害対応の指示・確認

■平成23年3月19日(土)  
17時00分 第31回災害対策本部会議

- 仮設トイレ21台を新里トレーニングセンターへ運搬(東北地方整備局)
- 田老地区の避難所へ通信車を配置予定(東北地方整備局)
- 飛行機による海上捜索(海上自衛隊)
- シャワー提供のサービスが可能(海上自衛隊)
- 重茂地区の県道重茂半島線の向渡橋の復旧は、21日に完了予定(宮古地域振興センター)
- 応急仮設住宅は、準備が出来次第、入居が可能(宮古地域振興センター)
- 大型客船で入浴サービスが可能(宮古地域振興センター)
- 漂流物、拾得物の違いを明確に示されたい。(会議参加機関から宮古警察署へ意見)
- 重茂地区、重茂漁協、後藤医院が通電(東北電力)
- アパート入居者への通電対応を考えていく。(東北電力)
- 安否状況は、児童の死亡1人、行方不明2人、教職員の行方不明2人、遺体数275体
- 重茂地区、田老地区、津軽石地区の避難所で陸上自衛隊が給食支援(市民生活部)
- 津軽石小学校で入浴支援(市民生活部)
- 自動車の撤去台数は、1,000台を超えた。(松山地区、藤原埠頭、宮古湾温泉マース北側)(都市整備部)
- 水道復旧状況は、県立宮古病院とほほえみの里付近が通水、復旧率は76%ぐらいである。(上下水道部)
- 20日は中里地区から鉾ヶ崎小学校まで、崎山小学校、崎山中学校、国民休暇村の付近を作業予定(上下水道部)
- 備蓄の燃料は、ガソリン35キロリットル、軽油13キロリットル、灯油18キロリットル(産業振興部)
- 田岡商店(太田地区)、カメイ(国道106号バイパス)、宇佐美、中屋石油(黒森町地区)、ミヤコ石油(津軽石地区)で2,000円を上限に給油可能(産業振興部)



【県道重茂半島線の向渡橋が津波により被災】

■平成23年3月20日(日) 7時30分 第32回災害対策本部会議

- 関係機関、各部からの情報収集
- 各部の災害対応の指示・確認

■平成23年3月20日(日) 17時00分 第33回災害対策本部会議

- 避難者5,900人、遺体数290体(15体増)、田老地区で火葬場開始
- ホームページを開設(東北地方整備局)



- 米軍ヘリの物資輸送拠点は、コープケミカル敷地内（陸上自衛隊）
- 津軽石小学校、重茂地区、グリーンピア三陸みやこで給食支援（陸上自衛隊）
- 津軽石小学校で男女各1セットの入浴支援（陸上自衛隊）
- 海上捜索で遺体を発見（海上自衛隊、海上保安庁）
- 遺体搬送は湾内が宮古市、外洋が釜石市へ（海上保安庁）
- 民間輸送も考えながら、物資輸送の流れをつくりたい。（宮古地域振興センター）
- 重茂地区の県道重茂半島線の向渡橋の復旧は遅れ気味である。（宮古地域振興センター）
- 田代川水門を開放したい。（宮古地域振興センター）
- 田代川水門付近を集中的に瓦礫の撤去作業を進めたい。（陸上自衛隊）
- 運転免許更新は、盛岡運転免許センターアイーナでの手続き（宮古警察署）
- 宮古警察署、田老第一中学校、恵風支援学校が通電（東北電力）
- 保久田一末広町間は瓦礫撤去後の作業（東北電力）
- 今月末の復旧を努力目標（NTT）
- 自民党の大島副総裁が来庁
- 三陸鉄道宮古駅－田老駅間で1日3便の運行を開始（総務企画部）
- 県北バス山田－大槌間で1日3便（総務企画部）
- コミュニティFMが22日に放送開始（窓口は企画課）、9時30分～13時、14時～16時（総務企画部）
- 罹災証明書は税務課が対応、印鑑が無い場合はサインで可能（総務企画部）
- 仙北市が21日に第2回目の炊き出し支援、宿泊施設に2泊3日で2,000人の受入れを用意（市民生活部）
- 応急仮設住宅は、3月25日からの募集を目指す。（都市整備部）
- 愛宕地区、西ヶ丘地区（さくら公園）、グリーンピア三陸みやこに応急仮設住宅432戸の建設を予定（都市整備部）
- 水道復旧地域は、中里団地地区、崎山地区（上下水道部）
- 燃料は、ガソリン35キロリットル、軽油19.2キロリットル、灯油32.6キロリットル（産業振興部）

#### ■平成23年3月21日（月）7時30分 第34回災害対策本部会議

- 国道45号は対面通行が可能（三陸国道事務所）
- 築地地区、高浜地区の歩道の瓦礫撤去を行う。（三陸国道事務所）
- 重茂南地区の捜索を継続（陸上自衛隊）
- 田代川水門の瓦礫撤去を行う。（海上保安庁）
- 物資輸送はトラック協会と連携を図りたい。（宮古地域振興センター）
- 重茂地区の県道重茂半島線の向渡橋の復旧は24日を目標（宮古地域振興センター）
- 避難所運営に人的支援、生活困窮者のニーズ調査が必要、医師巡回を引き続き行う。（宮古地域振興センター）
- 山田町で事務所荒らしが発生（宮古警察署）
- 119番通報は、NTTドコモ1回線、au2回線を確保し、救急・救助体制が可能（宮古消防署）
- 藤原埠頭内で車両火災、バッテリーショートが原因か？（宮古消防署）
- 楯ヶ崎地区の復旧作業、田老第一中学校は通電したが施設の調査が必要、重茂地区の迫切は電源車での対応（東北電力）



- 停電戸数は発災時63, 742戸が現在14, 297戸、市役所は付近の瓦礫撤去後の3月25日为目标(東北電力)
- 水道復旧状況は、田老地区の桧内で給水開始(上下水道部)
- 上下水道部本部の携帯電話番号は090-6789-5474(上下水道部)
- 田老地区で重機、火葬場等の燃料が不足しており、優先的に対応したい。(産業振興部)
- 県立高校の合格発表は、3月22日15時に県立宮古高校で市内各高校を発表(教育部)
- 火葬場の能力は1日に3体(田老総合事務所)
- NTTドコモが復旧し、川井地区で通話が可能(川井総合事務所)

**■平成23年3月21日(月)17時00分 第35回災害対策本部会議**

- 避難者は5,900人から6,100人に増加、遺体数306体、火葬場は24日まで満杯、常安寺でも火葬を行う。
- 部隊の規模を縮小する。(陸上自衛隊)
- あまくさが物資を積載し、下関市から入港(陸上自衛隊)
- 本日の遺体発見はなし。(陸上自衛隊)
- 支援物資の搬入出は自衛隊が主力、民間は補足的(宮古地域振興センター)
- 開門した水門は開閉可能を確認(宮古地域振興センター)
- 磯鶏地区の五右衛門の水門は6時から18時の時間帯に開門し、夜間は監視員を配置(宮古地域振興センター)
- 停電戸数は14,297戸から13,947戸へ(東北電力)
- 市役所の復旧作業は明日22日から行う。(東北電力)
- 熊野神社配置の高圧電源車は高浜地区へ移動(東北電力)
- 日出島地区への電源供給を検討中(東北電力)
- コミュニティFMの試験放送を開始、山田町豊間根、崎山地区、暮目地区まで電波が届く。(総務企画部)
- 23日から岩手県と合同で宮古地区合同庁舎1階に窓口を開設(市民生活部)
- 車両撤去は火災防止のため、バッテリーターミナルの取り外しを業者に委託、燃料の抜き取りは難しい。(都市整備部)
- 家屋撤去は市が実施するが、撤去を拒まれたら本人が撤去する。(都市整備部)
- 水道復旧状況は、はまゆり、浄土ヶ浜パークホテルの受水槽への給水対応(上下水道部)

**■平成23年3月22日(火)7時30分 第36回災害対策本部会議**

- 重茂地区の姉吉などの崖下を捜索(陸上自衛隊)
- 米軍の輸送を予定(陸上自衛隊)
- 宮古市民総合体育館シーアリーナ、グリーンピア三陸みやこの部隊は宿営場所を移動(陸上自衛隊)
- 黒田町のひまわり荘(10世帯中8世帯入居)で火災が発生し全焼、1人死亡(宮古消防署)
- 高浜地区、金浜地区は電源車での対応(東北電力)
- 日出島ルート of 電源復旧方法を検討する。(東北電力)
- 宮古小学校、鉾ヶ崎小学校にポータブル衛星携帯電話による特設公衆電話を開設(NTT)
- NTT東日本宮古支店の庁舎は、交換機が破損し復旧が厳しい状況(NTT)
- 津軽石地区、重茂地区、田老地区の復旧の目途立たず。(NTT)



- コミュニティFM放送のガソリンスタンドに関する情報で一部混乱を招く。(総務企画部)
- 23日から岩手県と合同で宮古地区合同庁舎1階へ窓口を開設(市民生活部)
- 車両撤去台数は現在1,120台、金浜地区は後200台で満杯(都市整備部)
- 水道復旧状況は、藤原地区、磯鶏地区は復旧、赤前地区の漏水箇所が大きい。(上下水道部)
- あまくさが軽油を8時から11時30分の間で搬入(産業振興部)
- 本日、県立高校の合格発表(教育部)

■平成23年3月22日(火)17時00分 第37回災害対策本部会議

- 遺体数315体
- 静岡県からリエゾンが交代(東北地方整備局)
- 路面クラック補修(三陸国道事務所)
- 住民ニーズの把握が必要である。(陸上自衛隊)
- 外洋で収容した遺体は釜石市へ搬送としていたが、緯度、経度で判断し宮古近海の遺体は宮古市へ搬送(海上保安庁)
- 内陸部市町村職員の応援を検討(宮古地域振興センター)
- 重茂地区の県道重茂半島線の向渡橋の復旧は24日の完成予定(宮古地域振興センター)
- 防潮堤決壊部分は土のう袋で応急復旧(宮古地域振興センター)
- 金浜地区、高浜地区で一部通電の予定(東北電力)
- 県北106急行バスが増便(総務企画部)
- JR山田線は宮古駅-盛岡駅間が3月28日に運行再開の予定(総務企画部)
- 宮古消防署への避難者は、山口小学校へ移動させたい。(市民生活部)



【宮古消防署内で連日にわたり自衛隊と消防隊が活動計画を打ち合わせた】



- 銀河丸で風呂、食事を200人に提供（市民生活部）
- 鉾ヶ崎地区の道路規制は本日13時から17時まで実施、明日23日は8時から17時30分まで実施予定（都市整備部）
- 水道復旧状況は、向町地区、大通地区、鉾ヶ崎小学校、熊野町地区は復旧、金浜地区、高浜地区で送水試験、赤前地区は19時から翌日8時の時間帯を断水し漏水を調査（上下水道部）
- ガソリン1.2キロリットル、軽油67.33キロリットル入った。（産業振興部）
- 明日23日、小中学校長会議を開催（教育部）

■平成23年3月23日（水）7時30分 第38回災害対策本部会議

- 遺体数は、宮町地区の勤労青少年体育センターに160体（身元確認済140体）、千徳体育館に41体（身元確認済35体）、県立宮古北高校に95体（身元確認済76体）
- 国道45号築地地区、高浜地区で瓦礫の撤去作業（三陸国道事務所）
- 重茂地区で発災後の市の対応に不満の声（陸上自衛隊）
- 市は復興、まちづくりの方向性を示すべき（陸上自衛隊）
- 米軍ヘリによる物資輸送時の離着陸に伴う注意喚起は宮古消防署が担当（陸上自衛隊）
- 鉾ヶ崎地区を潜水士が捜索を行う。（海上保安庁）
- 岩手県副知事が来宮（宮古地域振興センター）
- 本日から岩手県と合同で宮古地区合同庁舎1階に窓口を開設（宮古地域振興センター）
- 宮古市以外で自殺者の情報、心のケアが重要（宮古警察署）
- 緊急援助隊は帰還する方向で調整（宮古消防署）
- 停電戸数13,947戸が12,842戸へ（東北電力）
- ISDN、フレッツ光を除き、通信施設が復旧（NTT）
- 築地地区、愛宕地区で消毒作業を実施（保健福祉部）
- 応急仮設住宅入居希望者の受付を開始（都市整備部）
- 家屋の形が残っている瓦礫には手を付けない方針（都市整備部）
- 水道復旧状況は、はまゆり、檜内地区が復旧、赤前地区の漏水調査は24時間体制で実施（上下水道部）
- 被災事業者に復興の取り組みの動き（産業振興部）



【治安維持のパトロールを強化するため待機する警察車両】



## ■平成23年3月23日（水）17時00 第39回災害対策本部会議分

- 遺体数324体
- 路面クラック補修（三陸国道事務所）
- 宮古地区で4体、田老地区で3体の遺体を収容（陸上自衛隊）
- 米軍でドラム缶50本（うち宮古市分30本）を藤原埠頭へ輸送（陸上自衛隊）
- 重茂地区の炊出し支援部隊を撤収し、宮古小学校へ移動（陸上自衛隊）
- 鉾ヶ崎地区を潜水調査し、湾内に家屋、車両が沈んでいる。（海上保安庁）
- 市民相談に50件（宮古地域振興センター）
- 内陸部で被災者を2泊3日で一時的に受入れる。（宮古地域振興センター）
- 物資運搬はヤマト運輸（宮古地域振興センター）
- 避難者のニーズ調査を行う。（宮古地域振興センター）
- グリーンピア三陸みやこへ応急仮設住宅260戸を着工（宮古地域振興センター）
- 治安維持のためパトロールを強化（宮古警察署）
- 藤原地区、愛宕地区は復旧、市役所の復旧は3月26日を見込む。（東北電力）
- NTT宮古局が調整中のため、宮古－盛岡間の発着信が不可能（NTT）
- 避難所は、昨日5,800人が本日5,200人で600人の減（市民生活部）
- 重茂地区は漁協中心の自治組織を解散し、地区ごとの対応とする。連絡拠点は漁協とする。（市民生活部）
- 藤原地区で消毒作業を実施（保健福祉部）
- 宮古地区合同庁舎の市民相談窓口福祉課、社会福祉協議会職員も対応（保健福祉部）
- 山田町民からの応急仮設住宅の入居申し込みも受け付ける。（都市整備部）
- 応急仮設住宅申込みの取り扱いについて、県へ統一の見解を示すよう申し入れ（都市整備部）
- 雇用促進住宅は、6か月しか入居を認めないとのこと。県から延長の働きかけを願う。（都市整備部）
- 家屋の形が残っている瓦礫には手を付けない方針（都市整備部）
- 公道の車両撤去は終了、撤去台数は1,300台（都市整備部）
- 水道復旧状況は、赤前地区の漏水箇所は発見できず。今後、断水なしで調査を進める。（上下水道部）
- 檜内地区は応急的給水、田老地区は被災していない場所への送水は可能、藤の川－高浜間の本管の漏水調査は歩道の瓦礫撤去後となる。（上下水道部）
- 緊急車両用の燃料は確保できている。（宮古消防署で常時4キロリットル備蓄）、市内ガソリンスタンドは独自ルートで仕入れを確保しているようだ。（産業支援センター）
- 文部科学省で学校再開の調査を行う。（教育部）
- 田老総合事務所への市道の瓦礫撤去作業。摂待地区6人の行方不明者は遺体で発見（田老総合事務所）
- 山田町民の遺体3体を火葬（川井総合事務所）

## ■平成23年3月23日（木）18時00分

- 東北総合通信局から衛星携帯電話10台、据付け10台の提供を受ける。

## ■平成23年3月24日（木）7時30分 第40回災害対策本部会議

- 内陸への移住者の希望をとりたい。（宮古地域振興センター）
- 避難所生活のアンケートを実施するので市の協力を頼む。（宮古地域振興センター）
- 避難所内の自治形成のため、代表者を決めた方がよいのではないか。（宮古地域振興センター）



- 治安維持のため24時間体制で警らを行う。(宮古警察署)
- 第二中学校避難所で灯油の盗難被害(宮古警察署)
- 重茂地区の南側の対策を進める。(東北電力)
- 市役所本庁舎は25日に通電予定(東北電力)
- 東北電力宮古営業所管内の停電戸数は12,556戸(東北電力)
- NTT宮古局は試験中、田老地区の復旧は目途が立たず。(NTT)
- 東北総合通信局から無線機の貸出について希望調査あり。衛星携帯電話10台、衛星固定電話10台の借受けの決定により、各部に対する希望を照会(危機管理課)
- 応急仮設住宅は28日が申し込みの締め切り(都市整備部)
- 水道復旧状況は、復旧率90%、赤前地区の漏水調査を進める。(上下水道部)
- 藤の川地区から高浜地区にかけての調査は、国道の瓦礫撤去が必要(上下水道部)
- 教育委員会議を本日13時から行う。(教育部)

**■平成23年3月24日(木)17時00分 第41回災害対策本部会議**

- 遺体数329体、身元不明の遺体数55体
- 水道復旧調査のため、瓦礫撤去を明日25日から行う。(三陸国道事務所)
- 民生支援部隊は重茂地区から宮古小学校へ移動して活動(陸上自衛隊)
- 宮古湾及び外洋で潜水調査(海上保安庁)
- 河川内に車両が沈んでいる場合、捜索はするが引き上げは不可能(海上保安庁)
- 水門稼働調査を実施、手動での動作を確認(宮古地域振興センター)
- 応急仮設住宅は25日に着工(宮古地域振興センター)
- 拾得物が増えてきている。(宮古警察署)
- 重茂地区の南側は電源車で通電対応(東北電力)
- 市役所本庁舎は明日25日に通電試験を実施、本作業は25日を予定(東北電力)
- NTT田老局舎の復旧は4月頃(NTT)
- 他団体からの支援申出については、技師、保健師等の人的支援を要請する方針
- 教職員の行方不明者は1人で、新聞報道は誤りである。
- 罹災証明書を一時発行停止(本日、18人ぐらい発行済み)
- 資源ゴミ収集の車両を可燃ゴミ収集に活用していく。(市民生活部)
- 岩手県災害救助法説明会の開催が26日~28日ごろの見込み。(保健福祉部)
- 在宅高齢者の健康調査を実施していく。(保健福祉部)
- 八幡平市で入居希望者の受入れについての申出あり。(都市整備部)
- 水道復旧状況は、90%台の復旧率(上下水道部)
- 応急仮設住宅の申し込みは19件(田老総合事務所)
- 田老地区の火葬場は、3炉を運用している状態(田老総合事務所)
- 川井地区の火葬場は、市外からの遺体を受入れ(川井総合事務所)

**■平成23年3月25日(金)7時30分 第42回災害対策本部会議**

- グリーンピア三陸みやこの応急仮設住宅への電力、食事提供の検討を要す。(陸上自衛隊)
- 宮古の船が石巻市で回収された。(海上保安庁)
- 窃盗事件が増えている。(宮古警察署)
- 宮古市の停電戸数は4,836戸(東北電力)
- 宮古-盛岡間が通話可能、重茂地区、田老地区、赤前地区の復旧の目途立たず。(NTT)





【人海戦術で懸命の遺体捜索を展開する自衛隊員】

- 盛岡市の特別養護老人施設へ15人を移送（保健福祉部）
- 26日からJR山田線館合踏切の復旧工事を実施（都市整備部）
- 水道復旧状況は、鉾ヶ崎地区の給水ポイントを増やして欲しいとの要望あり。（上下水道部）
- 県立宮古北高校での医療班がグリーンピア三陸みやこへ移動して活動（田老総合事務所）

■平成23年3月25日（金）17時00分 第43回災害対策本部会議

- 重茂地区の千鷲を潜水調査し、車両14台を発見（海上保安庁）
- 遺体1体を収容（海上保安庁）
- 宮古信用金庫本店に通電（東北電力）
- 28日から市役所本庁舎3階で窓口業務を再開（市民生活部）
- 水道復旧状況は、高浜地区で漏水箇所を発見（上下水道部）

■平成23年3月26日（土）7時30分 第44回災害対策本部会議

- 瓦礫の撤去作業を引き続き行う。（三陸国道事務所）
- 瓦礫の中から毒劇物等のボンベを発見したら、自衛隊、岩手県警察へ相談（陸上自衛隊）
- 重茂地区の千鷲を引き続き捜索（海上保安庁）
- 支援室を強化する。（宮古地域振興センター）
- 運転免許証の再交付は、3月28日から4月8日までの月・水・金曜日に発行を行う。（宮古警察署）
- 重茂地区の電力復旧には30本の建柱が必要（東北電力）
- 市内の停電戸数5,000戸（倒壊家屋を含んでいるので実質半数の戸数か？）（東北電力）
- 赤前地区の小堀内、重茂地区のNTT局舎の復旧は来週中に目途をつけたい。（NTT）



- 田老地区のNTT局舎の復旧は4月末を目途（NTT）
- 東副大臣が来宮
- 市役所本庁舎3階で28日から窓口業務を再開（市民生活部）
- 土・日曜日のゴミ収集は規模を縮小する。（市民生活部）
- 265体火葬、宮古地区の火葬場は27日に休み、田老地区の遺体安置所は田老公民館へ（市民生活部）
- 鉾ヶ崎地区の通行規制は土・日曜日も継続（都市整備部）
- 水道復旧状況は、高浜地区で一部通水、崎山地区の松月は未復旧、鉾ヶ崎地内に給水栓10か所を設置（上下水道部）
- 新里トレーニングセンターの集積所はパンク状態（新里総合事務所）

■平成23年3月26日（土）17時00分 第45回災害対策本部会議

- 遺体数332体
- 田老第一中学校の瓦礫撤去（陸上自衛隊）
- 重茂地区の石浜で車両2台を発見したが、遺体は発見されず。（海上保安庁）
- 内陸部への一時移住に70人が希望（宮古地域振興センター）
- 夜間の警らのため、市委託事業者について情報提供を願う。（宮古警察署）
- 宮古地区のNTT局舎から田老方面へのケーブル切断が著しい。（NTT）
- 28日からシステム稼働に伴い、総合窓口課は市役所本庁舎3階へ（危機管理監）
- 山本市長は菅総理大臣に電話で状況を報告（危機管理監）
- 県北106急行バスは9便に増便（総務企画部）
- JR山田線宮古駅－盛岡駅間は18時11分から再開、明日27日から1日3往復で運行予定（総務企画部）
- 国から家屋の撤去方針が示された。（都市整備部）
- 水道復旧状況は、高浜地区が復旧、田老地区の檜内まで復旧、鉾ヶ崎地区は厳しい状況（都市整備部）
- 青森県職員が12人応援（新里総合事務所）

■平成23年3月27日（日）7時30分

第46回災害対策本部会議

- 国道45号築地地区、高浜一金浜間の瓦礫を撤去（三陸国道事務所）
- ヘリによる被災状況の視察を午前消防関係者、午後広報担当者で実施（陸上自衛隊）
- 国の方針を市町村に周知、県と市の整合性を図る。（宮古地域振興センター）
- 治安維持に努める。（宮古警察署）
- 宮古駅前－末広町間を重点に戸別復旧（東北電力）
- 市内の停電戸数は約5,000戸（東北電力）
- 重茂地区から赤前地区の小堀内間のケーブル復旧作業（NTT）
- 赤前地区の小堀内は一部で通話が可能（NTT）



【国から家屋撤去の方針が示され急ピッチに作業を進める】



- 山本市長が9時からNHKの日曜討論に生出演（危機管理監）
- 罹災証明書は3月26日から発行（総務企画部）
- 28日から住民基本台帳システムが稼働（市民生活部）
- 水道復旧状況は、高浜地区から金浜老人福祉センターまでの復旧作業を行う。（上下水道部）
- 浄土ヶ浜パークホテル、日立浜地内に給水車（上下水道部）

#### ■平成23年3月27日（日）17時00分 第47回災害対策本部会議

- 遺体数346体（14体増）、宮古地区が229体で身元不明者26体、田老地区が117体で身元不明者19体
- ヘリによる被災状況の視察を明日28日に実施予定（陸上自衛隊）
- MPが夜間警戒を実施（陸上自衛隊）
- 本日の遺体発見なし。（海上保安庁）
- 国道106号下平トンネルで10台ぐらいの事故、消防が出動するもケガ人なし。（宮古警察署）
- 末広町の大越電気が電力復旧（東北電力）
- 漁協ビルへの通電、重茂地区の復旧のための建柱を計画する。（東北電力）
- 重茂地区から赤前地区の小堀内間のケーブル復旧作業（NTT）
- 赤前地区の小堀内は一部で通話が可能（NTT）
- アルバムや位牌など個人の財産は自衛隊が避難所に持ち込み、避難所で保管することで対応する。（危機管理監）
- 行方不明者リストは、住民基本台帳システムの稼働により、住基データを基に行方不明者の再調査を行う。（総務企画部）
- 北海道知事選挙の不在者投票を4月4日から4月6日の8時30分から17時に実施（総務企画部）
- 義援金の受付は、口座を開設する方向で調整中（総務企画部）
- 鉾ヶ崎地区の路上に家屋があり、道路復旧に支障あり。（都市整備部）
- 水道復旧状況は、愛宕地区、光岸地地区、漁協ビルは復旧、金浜地区の復旧作業を進める。（上下水道部）
- 軽由14キロリットル入る。（今後、同じペースで入ってくる見込み）（産業振興部）
- カメイガソリンスタンド（国道106号バイパス）で3,000円まで入れることができるとの情報あり。（産業振興部）
- 横沢冷泉で被災者を対象として、月・水・金曜日に送迎付きで入浴無料招待（川井総合事務所）
- 明日28日から部長会議を16時から、災害対策本部会議を17時からとする。（危機管理監）

#### ■平成23年3月28日（月）17時00分 第48回災害対策本部会議

- 遺体数350体（田老地区4体増）、宮古地区が229体、田老地区が121体
- 瓦礫の撤去作業を実施した。（三陸国道事務所）
- 基礎に乗っていない家屋は法律により撤去可能と解釈、鉾ヶ崎地区、田老地区を集中的に瓦礫の撤去作業を行う。（陸上自衛隊）
- 避難者からのニーズがあれば、激励音楽会を開催したい。（陸上自衛隊）
- 米軍作業船（クレーン船）が3月28日に宮古へ到着、鉾ヶ崎地区で作業を予定（海上保安庁）
- 宮古消防署で開催していた広域対策会議を今夜から宮古地区合同庁舎で開催するとともに、宮古市側からは出席しない。（宮古地域振興センター）
- 陸上自衛隊の宿営場所を宮古消防署から宮古地区合同庁舎へ移す。（宮古地域振興センター）



- 昼間からの泥酔者あり。心のケアが必要（宮古警察署）
- 重茂地区の北側、南側に電源車で対応中（東北電力）
- 鉾ヶ崎地区の通電計画を設計中（東北電力）
- 赤前地区の小堀内、重茂地区が14時に復旧（NTT）
- 田老地区は4月末の復旧見込み、戸別の電話線の張り直しが必要（NTT）
- 明日29日から、災害対策本部会議に宮古市消防団長が参加（危機管理監）
- 道路復旧状況は、31日まで中央通、末広町の路上のごみ撤去を重点的に行う。（都市整備部）
- 自衛隊へ重機の協力（都市整備部）
- 瓦礫集積場所が不足、現場での焼却処理ができないか、県の検討を願う。（都市整備部）
- 水道復旧状況は、金浜地区、鉾ヶ崎地区の通水試験、遺体捜索作業により中断（上下水道部）
- 高台、浄土ヶ浜パークホテルへの給水車対応（上下水道部）
- 田老総合事務所前の瓦礫撤去は、明日29日の午前で完了（田老総合事務所）
- 河川の瓦礫処理は、しばらく続行（田老総合事務所）
- 広域対策会議を3月28日から宮古地区合同庁舎へ移動（再編）（危機管理監）

**■平成23年3月29日（火）17時00分 第49回災害対策本部会議**

- 遺体数357体（7体増）
- リエゾンが名古屋地方整備局に交代（東北地方整備局）
- 田老地区、築地地区、金浜地区の瓦礫の撤去作業は明日30日の午前中で終了し、磯鶏地区へ移動（三陸国道事務所）
- 遺体2体を発見、拾得物50件（陸上自衛隊）
- 鉾ヶ崎地区の作業で機械力がほしい。（陸上自衛隊）
- 米軍作業船が3月30日に鉾ヶ崎地区で潜水捜索（海上保安庁）
- 明日30日に第1回目の内陸への一時移動に52人を予定（宮古地域振興センター）
- 金浜地区の防潮堤の盛土作業は1週間（宮古地域振興センター）
- 大型水門の資材調達、医療班の調整（宮古地域振興センター）
- 市内の戸別送電の作業（東北電力）
- 重茂地区の北側、南側へ建柱作業、電源車で対応中（東北電力）
- 鉾ヶ崎地区の通電計画を設計中（東北電力）
- 漁協ビルへの通電作業が難航（東北電力）
- 田老地区のNTT局舎の復旧作業（NTT）
- 第7、第8方面隊が応援し田老地区の交通整理（宮古市消防団）
- 田老地区の瓦礫置場－田老野球場付近に県有地あり。（県に対し林務担当との調整を願う）（都市整備部）
- 水道復旧状況は、重茂地区の里で一部作業中（上下水道部）
- 金浜地区、鉾ヶ崎地区、田老地区の高台は給水車で対応（上下水道部）
- 軽由14キロリットル入る、（田老地区7キロリットル・作業用重機7キロリットル）（産業振興部）
- ドラム缶ストック分の灯油は、カメイのタンクローリーで避難所へ配送（産業振興部）
- ランドセル150個、リュックサック120個の寄贈を受ける。（教育部）

**■平成23年3月30日（水）17時00分 第50回災害対策本部会議**

- 遺体数362体（5体増）





【愛宕地区に応急仮設住宅の建設が始まる】

- 避難所の移行計画は、生活支援活動と関連するので調整したい。(陸上自衛隊)
- 自衛隊の音楽隊は、グリーンピア三陸みやこの開催について調整(陸上自衛隊)
- 田老地区の小堀内で洋上搜索の要望あり。(海上保安庁)
- 第1回目の内陸への一時移動に51人(宮古地域振興センター)
- 愛宕地区に応急仮設住宅82戸を建設予定(宮古地域振興センター)
- 避難所の移行にあたっては、空間の確保と市内輸送システムの構築を願いたい。(宮古地域振興センター)
- 破傷風感染予防に注意、山田町で2例あり。(宮古地域振興センター)
- 明日31日、藤の川地区の丸光付近で遺体搜索の予定(宮古警察署)
- 市内の戸別送電作業、通電依頼が殺到(東北電力)
- 重茂地区の音部で建柱作業(東北電力)
- 国道45号の交通整理に86人が出動(宮古市消防団)
- 第1分団から第9分団は31日で夜警を終了、以後5つの分団で巡回を継続(宮古市消防団)
- 現行45か所の避難所を体育館等の指定避難所19か所に移行し、最終的に総合体育館に集約したい。(市民生活部)
- 水道復旧状況は、金浜―八木沢方面の高台に通水、点検後に鯨ヶ崎地区の魚市場へ給水、重茂地区の石浜は電源車によりポンプが稼働し給水が可能(上下水道部)
- 県立宮古工業高校が浸水被害につき、県立宮古商業高校、県立宮古水産高校で授業を行う。(教育部)

■平成23年3月31日(木)17時00分 第51回災害対策本部会議

- 遺体数368体(6体増)、不明42体



- 国道45号の歩道部分の瓦礫撤去（三陸国道事務所）
- 津軽石地区で1体の遺体を発見（陸上自衛隊）
- 明日1日に遺体捜索、生活支援（陸上自衛隊）
- 米軍による海岸上空を確認（陸上自衛隊）
- 田老地区の小堀内でゴムボートによる洋上捜索（海上保安庁）
- 崎山地区の大沢、日出島で捜索要望があり調整をする。（海上保安庁）
- 物資配分、避難所支援（宮古地域振興センター）
- 金浜地区の防潮堤、大型水門を調整（宮古地域振興センター）
- 藤の川地区での遺体発見なし。（宮古警察署）
- 重茂地区の追切以北は4月3日ごろ、千鶏は4月6日ごろに復旧の見込み。（東北電力）
- 宮古漁協が通電（東北電力）
- 国道45号の交通整理に86人が出動（宮古市消防団）
- 第1分団から第9分団は31日で夜警を終了、以後5つの分団で巡回を継続（宮古市消防団）
- 宮古市消防団第16分団から大沢海岸、日出島、カントリークラブゴルフ場の下、宿、中の浜の海岸捜索の要望あり。（危機管理監）
- 水道復旧状況は、鉾ヶ崎地区の仲町の有限会社はしば付付近まで通水（上下水道部）
- 水産物の処理は、田老地区の櫛内へ搬入（産業振興部）

■平成23年4月1日（金）17時00分 第52回災害対策本部会議

- 遺体数370体（2体増）
- 国道45号の歩道部分の瓦礫撤去（三陸国道事務所）
- 遺体捜索で田老地区1体、山田町で1体を発見（陸上自衛隊）
- 明日2日は遺体捜索、生活支援（陸上自衛隊）
- 洋上捜索（海上保安庁）



【避難所で入浴時間の割当表が作成された】

- 物資配分、避難所支援（宮古地域振興センター）
- 5日に商工関係者の相談会を開催（宮古地域振興センター）
- 大型水門を開放する方向で検討（宮古地域振興センター）
- 築地地区の東北電力のビルが被災し、太田センターで支払いが可能（東北電力）
- 重茂地区の通電作業中（電源車対応）（東北電力）
- 鉾ヶ崎地区の魚市場は4月11日に通電予定（東北電力）
- 応急仮設住宅への電話を設置（NTT）
- 水道復旧状況は、浄土ヶ浜ターミナルビルまで通水、浄土ヶ浜パークホテル施設内の漏電調査、鉾ヶ崎地区の下町、蛸の浜町地区の瓦礫撤去の状況を見ながら通水調査（上下水道部）



■平成23年4月2日（土）17時00分 第53回災害対策本部会議

- 遺体数377体（7体増）、不明48体
- 陸上自衛隊の堀部陸総長が4月1日に死去、黙祷をささげたい。（山本市長）
- 健康には留意されたい。（山本市長）
- 国道45号の歩道部分の瓦礫撤去（三陸国道事務所）
- 遺体捜索で田老地区、鉾ヶ崎地区で5体の遺体を発見（陸上自衛隊）
- 閉伊川－重茂半島での空中捜索による遺体の発見なし。（陸上自衛隊）
- 明日3日は遺体捜索、生活支援（陸上自衛隊）
- 宮古市消防団第16分団から依頼のあった潜水士は手配できず。（海上保安庁）
- 崎山地区の大沢－カントリークラブゴルフ場で、箱メガネによる捜索での遺体発見なし。（海上保安庁）
- 市町村との連絡調整、応援要員・物資の調整（宮古地域振興センター）
- 魚市場等の事業者と打合せを実施（宮古地域振興センター）
- 防波堤の応急復旧、大型水門の復旧作業（宮古土木センター）
- 重茂地区の南側・北側は電源車で対応（東北電力）
- 田老地区、鉾ヶ崎地区は瓦礫の撤去に合わせ建柱場所を調査（東北電力）
- N T T局舎の通信ビルの復旧作業を実施（N T T）
- 津軽石地区、金浜地区、鉾ヶ崎地区で自衛隊とともに遺体捜索（宮古市消防団）
- 田老地区は、明日3日からガードマンによる交通整理（宮古市消防団）
- 平成23年度の宮古市消防演習は中止（宮古市消防団）
- 水道復旧状況は、鉾ヶ崎地区で漏水処理、別ルートで配管を検討（上下水道部）
- 金浜地区、浄土ヶ浜パークホテルは明日3日まで自衛隊の給水車で対応、月曜日から通水が可能（上下水道部）
- 3月31日、4月1日に7か所の田老地区内の避難所を1か所に統合し、グリーンピア三陸みやこのアリーナ内に700人弱、ホテル内に1泊5,000円で最大300人の避難者の移動を4日に始めたい。（田老総合事務所）
- 道路上の遺体捜索はすべて終了（田老総合事務所）

■平成23年4月3日（日）17時00分 第54回災害対策本部会議

- 遺体数378体（1体増）、身元不明27体、5日に市へ引き渡し予定
- 国道45号の歩道部分の瓦礫撤去を継続（三陸国道事務所）
- 遺体捜索で鉾ヶ崎地区、山田町で5体の遺体を発見（陸上自衛隊）
- 岩泉町小本－重茂間の集中捜索を明日4日も実施（陸上自衛隊）
- 11日以降、体制の変更を予定、宮城県へ応援（陸上自衛隊）
- 鉾ヶ崎地区の瓦礫撤去の際、家庭の廃家電を持ち込む方がいるので注意願いたい。（陸上自衛隊）
- 洋上を捜索したが遺体の発見はなし。明日4日も引き続き実施（海上保安庁）
- 物資配分、避難所支援（宮古地域振興センター）
- 宿泊施設への一時移動は4月8日に市へ説明予定であったが、県庁で先行してチラシを配布した。申込受付などの対応協議の上、明日4日に連絡する。（宮古地域振興センター）
- 中小企業相談会を5日から実施（宮古地域振興センター）
- 金浜地区の防波堤の応急復旧は今週に完了予定（宮古土木センター）
- 遺体収容は田老地区で1体、山田町で7体（宮古警察署）
- 車上狙い1件認知、引き続き遺体検死、防犯活動、交通整理（宮古警察署）



- 電力復旧状況について、A3用紙の図面にて説明、重茂地区の北側の追切に40本建柱し4日に通電の予定、重茂地区の南側は7日に通電の目標、磯鶏駅前には2本建柱し4日に通電の予定、磯鶏地区のホテル近江屋への通電設計に着手（東北電力）
- NTT局舎と戸別のケーブルの点検作業を実施（NTT）
- 秋田県からの緊急援助隊は4日をもって撤退、以後は盛岡市と宮古市で対応（宮古消防署）
- 避難所への情報提供は2日をもって終了、以降は広報号外で周知する。（危機管理監）
- 市営住宅、雇用促進住宅は4日に70世帯入居、当初200世帯の予定であったが、ガス水道設備の不良により物件数が減少、今後は応急仮設住宅での対応（都市整備部）
- 民間コンサルの情報で、浸水面積1,400ha、うち宅地を2割とすると280ha、これまでの区画整理面積から勘案すると市のみの対応は困難（都市整備部）
- 水道復旧状況は、鉾ヶ崎地区の漏水調査を継続、田老第一小学校裏の田の沢で通水（上下水道部）
- 断水地区は、鉾ヶ崎地区の下町、山根町地区、蛸の浜町地区70戸、金浜地区6戸、重茂地区の里4戸、川代10戸、田老総合事務所右側10戸の合計100戸（上下水道部）

**■平成23年4月5日（火）17時00分 第55回災害対策本部会議**

- 財務省黒川政務官がグリーンピア三陸みやこ、港湾施設、車両集積場、新里トレーニングセンターを視察した。（山本市長）
- 遺体収容386体（8体増）
- 国道45号の歩道部分の瓦礫撤去、土砂の撤去（三陸国道事務所）
- 田老地区の路面清掃（三陸国道事務所）
- 道路照明の調査が終了し、明日6日以降は撤去作業（三陸国道事務所）
- 遺体の発見はなし。（海上保安庁）
- 田老地区の小堀内でゴムボートによる捜索を行うも遺体発見には至らず。（海上保安庁）
- 鉾ヶ崎地区と山田町で合計3体の遺体を発見（陸上自衛隊）
- 藤原地区で海底からの引き揚げ作業実施、引揚げ数量は不明（釜石運輸局）
- 市町村との連絡調整、応援要員の調整（宮古地域振興センター）
- 中小企業等経営合同相談会に17社が参加、このうち法律相談は2社（宮古地域振興センター）
- 明日6日、沿岸市町村復興期成同盟会に知事が出席（宮古地域振興センター）
- 明日6日以降、宮古消防署と協議の上、水門を開放（宮古土木センター）
- 検問、検視、捜索を実施（宮古警察署）
- 市役所前の信号機の復旧には5か月から6か月の時間を要す。（宮古警察署）
- 明日6日は重茂地区の南側を商用電源に切り換える。（東北電力）
- 鉾ヶ崎地区の魚市場付近と赤前地区で建柱（東北電力）
- 戸別送電は崎山地区、磯鶏地区、藤原地区で7件、津軽石地区で50件、本町ー市役所間の街路灯は電線が切れているため復旧までに相当の期間を要す。（東北電力）
- 重茂地区、市街地で戸別の復旧作業を実施、山田ビルは復旧（NTT）
- 鉾ヶ崎地区の上町ー仲町間で100t、下町ー蛸の浜町ー山根町間で100tの漏水あり。（上下水道部）

**■平成23年4月7日（木）17時00分 第56回災害対策本部会議**

- 遺体数388体（2体増）、身元不明の14体を火葬
- 磯鶏地区、高浜地区、津軽石地区の国道45号の歩道の瓦礫、土砂の撤去（三陸国道事務所）



- 高浜地区は2日～3日で終了、他の地区は4日～5日で終了の見込み。（三陸国道事務所）
- 来週以降は、ガードレールなどの安全施設を補修（三陸国道事務所）
- 宮古地区での遺体の発見はなし。（海上保安庁）
- 本日は、主に田野畑村の島越で巡視艇及びゴムボートによる遺体捜索を実施（海上保安庁）
- 遺体捜索と生活支援を実施、3体の遺体を収容（陸上自衛隊）
- グリーンピア三陸みやこで、自衛隊の音楽隊による慰問演奏に、避難者など300人が聴衆（陸上自衛隊）
- 藤原地区で車両1台、瓦礫、ブロックの引揚げ、昨日までに車両20台、トレーラー1台を引揚げた。今後は港湾施設、構造物の調査を平行して実施（釜石港湾事務所）
- 市町村との連絡調整、応援要員の調整（宮古地域振興センター）
- 内閣府から避難所の生活環境の状況調査について通知があり、毎週1回程度の調査を自衛隊に依頼した。（宮古地域振興センター）
- グリーンピア三陸みやこへの応急仮設住宅の建設にあわせ、宮古商工会議所（スタンプ会）によるマーケット設置について協議（宮古地域振興センター）
- 今後は津軽石川、田代川などの河川の瓦礫などの撤去を進める。（宮古土木センター）
- 検問、検視、捜索、治安維持を実施。宮古市内の国道45号の信号がすべて復旧するまでには6か月の時間を要する。（宮古警察署）
- 光岸地地区の海舟、巨人荘周辺に通電（東北電力）
- 東北電力ビル裏の築地二丁目の送電準備に着手（東北電力）
- 鉾ヶ崎地区の中心部の建柱が完了、ホテル近江屋、宮古港出張所の受電作業を実施（東北電力）
- 戸別送電は、藤原地区、高浜地区、津軽石地区で50件、末広町ー中央通ー大通間は電力メーターが浸水のため戸別送電が難航（東北電力）



【東日本大震災から1か月後の田老地区を上空から撮影】





【鉾ヶ崎地区の被災状況を上空から撮影】

- 築地地区、大通地区、磯鶏地区、津軽石地区、重茂地区の事業所、一般住宅の通信ケーブルの復旧作業を500人体制で実施（NTT）
- 市役所は、9日の土曜日と10日の日曜日にも窓口業務などを行う。（危機管理監）
- 市内の99%で給水が復旧、残りは重茂地区の里で4世帯、川代で10世帯、田老地区の館が森で2世帯～3世帯、浄土ヶ浜パークホテルのみ（上下水道部）
- 消防庁長官の視察は、8日から11日に延期（宮古市消防団）
- 明日8日の会議は、各機関の来週の予定をペーパーで提出してほしい。（危機管理監）

■平成23年4月8日（金）17時00分 第57回災害対策本部会議

- 本日の地震による巡回、歩道、盛土、法面の瓦礫処理（三陸国道事務所）
- 来週で瓦礫処理が終了の予定、以降は付帯施設の復旧（三陸国道事務所）
- 洋上捜索、海上自衛隊が田老～宮古湾の洋上を捜索、10日に田老地区で活動（海上保安庁）
- 田老地区で3体の遺体を発見（作業時のマスコミ対策が必要）（陸上自衛隊）
- 停電に伴う給水支援（陸上自衛隊）
- 遺体捜索、瓦礫撤去を田老地区で1週間ぐらい、鉾ヶ崎地区で10日ぐらい（陸上自衛隊）
- 12日以降は体制を変更、生活支援は民間の復興とのバランスを見て活動を維持（陸上自衛隊）
- 海域調査で車両1台、ブロック4個、コンテナ1個を引揚げ、明日9日以降は海面の測量（釜石港湾事務所）
- 市町村との連携調整、避難所巡回、産業復興支援（宮古地域復興センター）
- 11日18時に広域連絡会議、岩手県大震災復興委員会を、15日に現地検討会を開催予定だが、臨時議会につき日程を検討（宮古地域復興センター）
- 11日、発災から1か月目に岩手県知事が釜石にて黙祷と「頑張ろう宣言」を実施（市も黙祷実施を検討）（宮古地域復興センター）
- 地震による道路への落石あり。河川の瓦礫撤去、大型水門の復旧作業（宮古土木センター）
- 応急仮設住宅2か所の建設に着手（宮古土木センター）
- 停電に伴う信号消灯による交通事故あり。（宮古警察署）



- 地震による停電対応、15時30分に市内が通電（東北電力）
- NTT交換器はほぼ修復が完了、各地区で500人規模により復旧作業に対応中（NTT）
- 昨夜のような津波注意報、警報発令の際、職員の参集場所を宮古消防署とすることで、経営会議で確認済み（危機管理監）
- 貴重品以外の拾得物のデータベース化による周知を予定している。田老地区は田老公民館に一斉展示の予定（危機管理監）
- 停電により休止した窓口業務を明日9日から再開（市民生活部）
- 道路上のごみ回収のためトラックを運行（都市整備部）
- 県立宮古病院より北側は配水池に水がたまり次第給水、津軽石地区は復電後に給水開始、鉾ヶ崎上町地区から先は今晚断水して配水池に水をためる。（上下水道部）
- 鉄以外の瓦礫を砕く機械を導入（田老総合事務所）
- 岩手県消防協会を通じて、ポンプ車1台、積載車4台の消防車両を配置（宮古市消防団）

#### ■平成23年4月12日（火）17時00分 第58回災害対策本部会議

- 国道45号の藤の川地区、高浜地区、金浜地区の歩道部分の瓦礫撤去、土砂の撤去（三陸国道事務所）
- 高浜地区の側溝蓋、転落防止柵の補修（三陸国道事務所）
- 洋上からの捜索を実施したが、遺体の発見はなし。（海上保安庁）
- 海上保安庁では県南に勢力を集中、宮古地区は2隻の体制（海上保安庁）
- 山田町で1体の遺体を収容（陸上自衛隊）
- 捜索・生活支援を実施（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所・物資関係の人的支援（宮古地域振興センター）
- 中小企業経営相談会に7社、うち1社が法律相談（宮古地域振興センター）
- ワンストップ相談会に21件、うち1件が法律相談（宮古地域振興センター）
- 河川の瓦礫撤去（宮古土木センター）
- 水門機能回復作業は8割から9割完了、残りは電動操作水門、ほとんどの水門は閉鎖状態で開放について宮古消防署と協議中（宮古土木センター）
- 明日13日、宮古地区で応急仮設住宅138戸の建設に着工（宮古土木センター）
- 県外の医療チームは8団体（宮古保健所）
- 避難所での医療ニーズに変化あり。今後の巡回医療のあり方について検討を要す。（宮古保健所）
- 医療拠点や市内開業医での受診をサポートする移動手段などの検討について、市に要請あり。（宮古保健所）
- 赤前地区の県立宮古工業高校付近で1体の遺体を収容（宮古警察署）
- 大通一向町間で瓦礫の除去が進んだことから、電柱の建替えを進める。（東北電力）
- 磯鶏地区のホテル近江屋、宮古港湾事務所に送電（東北電力）
- 田老総合事務所－田中間は田老駅沿いに別ルートで建柱、数十本を準備（東北電力）
- 宮古地区では検針が不能のため、電気料金の徴収ができない状態（東北電力）
- 津軽石地区、重茂地区で通信ケーブルの復旧作業（NTT）
- 避難所の集約は、国民休暇村の避難者を移動、常安寺、熊野神社は施設管理者の意向を踏まえ当面は集約しない。（市民生活部）
- 身元不明の遺体3体（総数21体）、身寄りのない遺体1体を火葬した。他にも12体～13体の遺体あり。（市民生活部）



■平成23年4月13日（水）17時00分 第59回災害対策本部会議

- 一昨日、昨日、盛岡市で県の復興会議、市長会に出席した。軸足が復興に向きつつあるが、まだまだ復旧も済んでいない。本日は、久保消防庁長官が視察した。中央の方々に被災地を見てもらい、机上ではなく現地の実情を理解したうえで行動してもらいたい。積極的に視察を受け入れ、案内することも私の仕事だと思っている。（山本市長）
- 国道45号の藤の川地区、高浜地区、金浜地区の歩道部分の瓦礫撤去、土砂の撤去（三陸国道事務所）
- 三陸縦貫自動車道宮古道路宮古南IC付近の道路復旧は本日終了、他は今週中を目処に作業を継続（三陸国道事務所）
- 高浜地区の側溝蓋、転落防護柵の補修（三陸国道事務所）
- 洋上からの捜索を実施したが、遺体の発見はなし。（海上保安庁）
- 明日14日か明後日、高浜地区、神林地区で測量船による測量を実施（海上保安庁）
- 重茂地区の行方不明者の家族からダイバーによる捜索依頼があったので、海上保安庁と場所等の詳細を相談したい。（危機管理監）
- 重茂地区の石浜、千鷲で既にダイバーによる捜索を実施、重茂漁協からは漁船から箱メガネ等で捜索していると聞いている。地域から要望があるのであれば対応したい。（海上保安庁）
- 1体の遺体を収容、捜索・生活支援を実施（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所・物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 市町村から人的支援ニーズの聞き取りを実施（宮古地域振興センター）
- 8つの河川の瓦礫を撤去、大型水門の機能回復の作業（宮古土木センター）
- グリーンピア三陸みやこへ37戸（第二次）、近内地区センターへ41戸、赤前小学校へ60戸の応急仮設住宅の建設に着工（宮古土木センター）
- 強風により家屋の屋根が飛ばされそうな事案があり、都市整備部に対応を依頼した。（宮古警察署）
- 1体の遺体を収容したほか、昨日からの活動を継続して実施（宮古警察署）
- 田老駅前から建柱のため、電柱18本を現地搬入した。田老駅の無線機電源への送電は数日中に完了（東北電力）
- 向町一大通二丁目間の送電は、1週間程度の見込み、愛宕地区で架線工事を終了（東北電力）
- 戸別送電は、田老地区、築地地区、末広町地区で6件、藤原地区で2件（東北電力）
- 重茂地区、田老地区で建柱と架線工事を実施（NTT）
- 重茂地区の川代の上水道が全壊しているが、マクロ化装置で1トン貯水し排水、節水すれば送水に支障なし。（上下水道部）
- 浄土ヶ浜パークホテルに本日16時から仮送水、漏水の有無を確認中（上下水道部）
- 日本消防協会から貸与された積載車と小型ポンプを25分団と29分団に配置（宮古市消防団）

■平成23年4月14日（木）17時00分 第60回災害対策本部会議

- 国道45号の藤の川地区、高浜地区の歩道部分の瓦礫撤去、土砂の撤去、金浜地区は本日終了（三陸国道事務所）
- 高浜地区の側溝蓋、転落防護柵の補修（三陸国道事務所）
- 洋上からの捜索を実施したが、遺体の発見はなし。測量船（翔洋）による測量実施（海上保安庁）
- 捜索したが遺体の発見はなし。生活支援を実施（陸上自衛隊）



- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 8つの河川の瓦礫を撤去、大型水門の機能回復の作業（宮古土木センター）
- 民有地の瓦礫除去について、県と市の担当部局で協議（宮古土木センター）
- 救護所の統合を市に要望（宮古保健所）
- 津軽石小学校の救護所（静岡県医療支援チーム）スペースに保育所が入所予定（宮古保健所）
- 救護所を統合する際は、市で住民周知願いたい。（宮古保健所）→保健福祉部長了解
- 昨日からの活動を継続して実施（宮古警察署）
- 新川町一東側間の信号機は、今後1か月を目途に復旧、今月中には仮設信号機により仮復旧（宮古警察署）
- 田老地区のNTT交換局に送電準備、津軽石川水門まで建柱15本、向町地区に建柱し架線完了（東北電力）
- 金浜地区の企業から苦情あり。三陸国道に瓦礫除去を依頼、瓦礫除去が完了次第着手（東北電力）
- 建柱と通信ケーブルの架線を実施（NTT）
- 16日土曜日の昼頃に国土交通大臣、16時頃に内閣府防災担当大臣が視察（危機管理監）
- 昨日から浄土ヶ浜パークホテルに試験送水したが、現在のところ漏水はなし。（上下水道部）
- 重茂地区の里の橋から漁協海洋冷凍工場までの民家2件～3件は明日15日に着手、金浜地区の江山寺付近を残すのみ、復旧率は99%（上下水道部）
- 来週を目途にたろう観光ホテルが営業を再開することと、給水の依頼あり。（上下水道部）
- 16日及び17日は合同会議を開催しない。（危機管理監）

■平成23年4月15日（金）17時00分 第61回災害対策本部会議

- 明日16日の大畑国土交通大臣の視察の際、大臣車両に市長が同乗することになるかもしれない。（東北地方整備局）
- 国道45号の藤の川地区、高浜地区の歩道部分の瓦礫撤去、土砂の撤去、本日をもってほぼ完了、来週から道路の本復旧に着手（三陸国道事務所）

【出崎埠頭内には大量の瓦礫が積み上げられている】





- 洋上からの捜索を実施したが、遺体の発見はなし。測量船（翔洋）による測量実施（海上保安庁）
- 2体の遺体を発見、生活支援を実施（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 本日、平岡総務副大臣がグリーンピア三陸みやこの応急仮設住宅の建設現場を視察（宮古地域振興センター）
- 8つの河川の瓦礫を撤去、津軽石川の瓦礫撤去は1か月の時間を要する。大型水門の機能回復作業（宮古土木センター）
- 本日、宮古地区で応急仮設住宅245戸の建築に着工（宮古土木センター）
- 昨日からの活動を継続して実施（宮古警察署）
- 山田地区で義援金詐欺と思われる事案が発生、横浜市の鳥居と名乗る者が同級生を助けるためと偽って1人5千円の義援金を募っている。職員、避難所への周知を願う。（宮古警察署）
- 田老地区の田中で建柱（東北電力）
- 21日～25日を目途にグリーンピア三陸みやこの内の応急仮設住宅2期工事現場で建柱11本（東北電力）
- 築地地区の東北電力宮古営業所の受電が完了（東北電力）
- 電気料金の納付に宮古営業所に訪れる方がいる。太田技術センターでの窓口業務を改めて広報したい。（東北電力）
- 田老地区のビルは昨日で復旧。これにより山田町以北の市町村役場はすべて通信が回復（NTT）



【震災後1か月後の避難所（第二中学校）】



- 崎山地区、重茂地区及び千鶏で建柱、メタルケーブルを架設し本日に完了（NTT）
- 16日の土曜日及び17日の日曜日の2日間は、合同会議を開催しない旨、改めて連絡、次回は月曜日に開催（危機管理課長）
- 明日16日の11時20分から12時30分まで、大畑国土交通大臣が視察、大臣はヘリで田老地区へ入る。（都市整備部）
- 16日午後（時間未定）には、松本防災担当大臣が視察（都市整備部）

#### ■平成23年4月18日（月）17時00分 第62回災害対策本部会議

- 国道45号の歩道部分の瓦礫撤去、土砂の撤去、保安施設の応急復旧は先週の金曜日で完了、本日と明日19日は本復旧に向けた準備作業（三陸国道事務所）
- 2体の遺体を発見、生活支援を実施（陸上自衛隊）
- 先週報告した宮古市の地盤沈下は、30センチから50センチに訂正、調査を進め、5月3日以降に確定する予定（釜石港湾事務所）
- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 土曜日、日曜日とふじ丸（三井商船）が宮古港に入港し、食事と入浴支援を実施し、土曜日は山田町から850人、17日日曜日は宮古市から1,200人が利用（宮古地域振興センター）
- 内陸部への避難者移送は、12日から本日まで宮古市8人、山田町3人、名簿等は後日報告する。（宮古地域振興センター）
- 前回までは、周知不足により利用者が少ないのではないかと懸念していたが、広報等でも周知しているので、今後もニーズとしてはあまりないかもしれない。（危機管理監）
- 8つの河川の瓦礫を撤去、大型水門の機能回復作業（宮古土木センター）
- 22日に宮古地区9か所で応急仮設住宅390戸の建築を着工（宮古土木センター）
- 向町地区で1体の遺体を収容、交通整理、治安維持等を実施（宮古警察署）
- さかもと眼科、向町地区のほりたで受電完了（東北電力）
- 住民要望があった箇所金の浜地区、津軽石地区の法の脇で通電、田老地区の田中（田老駅無線設備含む）で通電（東北電力）
- ホテル熊安から市役所までの街灯の復旧について、道路管理課と協議したい。（東北電力）
- 田老地区とインフラの流出（想定9,000戸）をしている箇所を除き、市内はほぼ復旧（東北電力）
- 向町地区、蛸の浜地区で建柱、メタルケーブルを架設し、残っているのは津軽石地区と田老地区（NTT）
- 遅れている光ケーブルの復旧についても順次、作業をしていく。（NTT）
- 重茂地区の里は、明日19日か明後日20日で工事が完了し、給水可能となる見込み。これにより100%となる。（上下水道部）

#### ■平成23年4月19日（火）17時00分 第63回災害対策本部会議

- 体調に気を付けて、引き続き頑張ろう。（山本市長）
- 本日より、リエゾンが交替（東北地方整備局）
- 国道45号の本復旧作業、資材等を準備（三陸国道事務所）
- 海上への浮標設置作業、田老地区の小堀内漁港で潜水捜索をしたが遺体発見はなし。重茂地区の音部で1体の遺体を搬送（海上保安庁）
- 藤原地区の事務所が被災したことから、仮事務所を宮古測候所に設置、電話番号は変わらず。（海上保安庁）



- 遺体捜索、生活支援を実施、明日も同様の対応（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 田老漁港、音部漁港、重茂漁港の復旧（宮古地域振興センター）
- 内陸部への避難者の移送は、全県で1, 445人、宮古市は105人、山田町は252人（宮古地域振興センター）
- 河川の瓦礫撤去、大型水門の機能回復作業（宮古土木センター）
- 県道重茂半島線は赤前地区で浸水により通行止め、迂回路を設定（宮古土木センター）
- 交通整理、治安維持等を実施（宮古警察署）
- 鉾ヶ崎地区の山根町で流出した船舶移動のため、電線はずして作業を実施、9時から15時まで作業停電、明日も実施（東北電力）
- 今後、応急仮設住宅への受電作業の対応、愛宕地区の現場で事前調査（東北電力）
- 向町地区、鉾ヶ崎地区、赤前地区の被災地域の復旧作業を継続（東北電力）
- 津軽石地区、田老地区で建柱、メタルケーブルの架設（NTT）

**■平成23年4月20日（水）17時00分 第64回災害対策本部会議**

- 本復旧に向けた準備作業、明日も同様の作業（三陸国道事務所）
- 洋上から捜索をしたが、遺体発見はなし。（海上保安庁）
- 遺体捜索をしたが、発見はなし。（陸上自衛隊）
- 生活支援を実施（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 河川の瓦礫撤去、津軽石川水門のゲート復旧（宮古土木センター）
- 国道106号で高潮による冠水、今後は同様の事案に対処するため排水ポンプを増設して対応（宮古土木センター）
- 津軽石小学校に設置の救護所は、25日に赤前小学校の救護所と統合する。（宮古保健所）
- 市から住民周知するよう要請あり。（宮古保健所）→保健福祉部長了解
- 遺体捜索をしたが、発見はなし。（宮古警察署）
- 交通整理、治安維持等を実施（宮古警察署）
- 鉾ヶ崎地区の臨港通（旧魚市場付近）で高潮による冠水（宮古警察署）
- 建柱、メタルケーブルの架設（NTT）
- 津軽石地区は、4月中旬の復旧予定が4月下旬、田老地区は今週中に復旧の見込み。（NTT）
- 次回の合同会議は、22日金曜日に開催、今後は月曜日、水曜日、金曜日の隔日開催とする。（危機管理監）

**■平成23年4月22日（金）17時00分 第65回災害対策本部会議**

- リエゾンの活動は、25日まで（東北地方整備局）
- 本復旧に向けた準備作業、来週も同様の作業（三陸国道事務所）
- 山口川の捜索のため、ボックスグレーティングを開放（三陸国道事務所）
- 洋上から捜索をしたが、遺体発見はなし。（海上保安庁）
- 港湾振興室、NPOいわてマリフィールドと宮古湾内の船舶被害を調査（海上保安庁）
- 遺体捜索をしたが、発見はなし。（陸上自衛隊）
- 生活支援を実施（陸上自衛隊）
- 陸上自衛隊の災害派遣について、25日から26日にかけての集中捜索以降、生活支援に重点を置いた活動となる。市による瓦礫の除去が進めば、遺体収容も増えると考えられるが、現在



の師団としては、5月下旬を撤収時期と考えている。（陸上自衛隊）

- 今後の活動について、市として考えがあれば、関係部署と協議したい。（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 本日から藤原埠頭の瓦礫の分別を開始し、可燃物を処理場に搬入（宮古土木センター）



【シートピアなどの館内の被害の状況】

- 国道106号（新川町地内）のポンプの準備対応（宮古土木センター）
- 遺体捜索をしたが、発見はなし。（宮古警察署）
- 交通整理、治安維持等を実施（宮古警察署）
- 山口川水路での捜索（宮古警察署）
- 応急仮設住宅への電力供給（東北電力）
- 津軽石地区での建柱、メタルケーブルの架設（NTT）
- 本日9時50分から電話が不通、原因は釜石～遠野間の掘削工事中のケーブルが切断、17時現在、田老地区と山田町の船越地区を除き復旧（NTT）
- 本日から避難所・報道機関情報提供に実避難者数を掲載した。（危機管理監）
- 重茂地区の里で安定給水を確認し、復旧率100%（上下水道部）
- 今後、被害の大きい地域で幹線配水管の復旧作業（上下水道部）
- 次回の合同会議は、25日月曜日に開催（危機管理監）

#### ■平成23年4月25日（月）17時00分 第66回災害対策本部会議

- 本日、第1回の復興本部会議を開催し方針を決定した。今後は復旧と経済活動を含めた復興を並行して実施していく。（山本市長）
- リエゾンの活動は本日をもって撤収、今後は東北地方整備局を窓口とする。（東北地方整備局）
- 本復旧に向けた準備作業、明日は田老地区で路面清掃を実施予定（三陸国道事務所）
- 洋上から捜索し、昨日、小本沖12マイルで漂流の遺体1体を収容（海上保安庁）
- 23日に田老地区の海岸で遺体1体を収容（陸上自衛隊）
- 第3回目の集中捜索を実施中、生活支援を実施（陸上自衛隊）
- 当初27日に予定していた山本市長との上空偵察は荒天予報により26日に変更したい。（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- ワンストップ相談は、昨日も十数件（宮古地域振興センター）
- 水産庁復興支援チームとの意見交換を実施（宮古地域振興センター）
- 重茂地区の向渡橋が大雨で崩落、本日の午前中には歩行者の通行が可能、車両通行は遅くとも明日26日の午前7時までには復旧する予定（宮古土木センター）
- 現在の医療支援チーム（8チーム）を5月の第1週には5チームに縮小、5月末にはすべて撤退する予定、応急仮設住宅、避難所でのニーズによっては変更する可能性あり。（宮古保健所）



- 家族間でのトラブルが発生している。対応の一つとして内陸部への移送も考えている。（宮古警察署）
- あくまでも本人の希望に基づく移送であるが、今月末まで受け付けしている。（宮古地域振興センター）
- 本日の落雷により山田町の織笠地区、白浜地区で停電し、復旧作業中（東北電力）
- 田老第一中学校前の防災行政無線施設に通電、今後は山田町の復旧が主になる。（東北電力）
- 田老地区のメタルケーブルの架設は22日に工事が完了（NTT）
- 光ケーブルは、今月末を目途に復旧作業中（NTT）
- 栃木県佐野市から消防ポンプ車1台が寄贈された。（危機管理監）
- 重茂地区の向渡橋の崩落現場での水道管の被害はなし。（上下水道部）
- 次回の合同会議は、27日水曜日に開催（危機管理監）

**■平成23年4月27日（水）17時00分 第67回災害対策本部会議**

- 昨日、自衛隊の師団長とヘリ偵察を行った。復旧が進んでいる状況を確認したことから、自衛隊の捜索部隊を撤退することとした。生活支援については、徐々に自衛隊から移していきたい。（山本市長）
- 本復旧に向けた準備作業（三陸国道事務所）
- 東北地方整備局との調整など、国土交通省のリエゾンの役割を三陸国道事務所で行う。（三陸国道事務所）
- 洋上から捜索をしたが、遺体発見はなし。漂流船の曳航（海上保安庁）
- 昨日をもって自衛隊の遺体捜索は終了、生活支援は継続して実施（陸上自衛隊）
- 生活支援部隊以外に2つの部隊が駐屯しているので、新たなニーズに対応が可能（陸上自衛隊）
- 明日28日の17時から18時まで河南中学校で慰問演奏（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 岩手県議会が開催中、災害関係補正予算、減免条例等を提案（宮古地域振興センター）
- 自衛隊の捜索終了に伴い、今後は岩手県で瓦礫除去を進める。（宮古土木センター）
- 愛宕地区に建設中の応急仮設住宅81戸の完成検査を実施、市への引渡しは30日の予定（宮古土木センター）





- 29日と30日に自衛隊の部隊入れ替えがあり、活動が一部休止する。この間、田老地区の交通整理を警察に依頼したい。（危機管理監）
- 交通整理の時間と場所等の詳細を調整したい。（宮古警察署）
- 応急仮設住宅は愛宕地区とグリーンピア三陸みやこの1期工区で送電完了（東北電力）
- ホテル熊安ー市役所付近までの街灯撤去に伴い、電力設備も撤去する。同地区には新たに電柱にLED街灯の設備を東北電力で整備する。（東北電力）
- メタルケーブルの架設、引き込み、鉾ヶ崎地区の魚市場、磯鶏地区が完了（NTT）
- 次回の合同会議は、5月2日月曜日17時30分から開催（危機管理監）

#### ■平成23年5月2日（月）17時00分 第68回災害対策本部会議

- 復旧が進んできた。天候不順による体調不良に注意し活動を願う。（山本市長）
- 洋上から捜索をしたが、遺体発見はなし。漂流物、漂流船の引揚げ（海上保安庁）
- 自衛隊テントが山田町で強風のため飛ばされた。自衛隊では風速15メートルを超える強風の場合には、テントを撤去することになっているので、入浴支援など避難者に影響のある場合は、自衛隊で周知する。（陸上自衛隊）
- 昨日1日は、田老第一中学校付近の側溝整備と遺体捜索をして2体の遺体を収容（陸上自衛隊）
- 生活支援を実施し、明日も同様の活動を予定（陸上自衛隊）
- ゴールデンウィークにより体制を縮小し、市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 本日は強風のため瓦礫撤去、処分を中止した。（宮古土木センター）
- 応急仮設住宅は、160戸が入居可能、近日中に西ヶ丘近隣公園の応急仮設住宅が完成予定（宮古土木センター）
- 梅雨時期を控え、水ひ門はいつ開放するのか？（危機管理監）
- 開放時期は今後、協議していく。消防対策課と水ひ門管理委託について協議する。（宮古土木センター）
- 強風により活動に影響があった。（宮古警察署）
- 飲酒によるトラブルが増加、万引きの件数は震災前の状況に戻りつつある。（宮古警察署）
- 強風のため重茂地区の迫切と崎山地区の北方面で50戸が停電したが、復旧済み（東北電力）
- 市役所前ー佐原間の信号機は復旧、中央通りの街灯は設置に向け協議中（東北電力）
- メタルケーブル、光ケーブルは、28日に復旧、踏査で把握できなかったところの個別対応を実施（NTT）
- 愛宕地区の応急仮設住宅への引込み線は28日に完了。県立宮古水産高校第2グラウンド、赤前小学校、西ヶ丘近隣公園は設計中（NTT）
- 本日の天皇皇后両陛下の行幸は荒天のため6日金曜日に延期、該当避難所へは当日周知するが、時間等の詳細は公表しないよう指導があった。（危機管理監）
- 3月13日にボランティアセンターを立ち上げ、5月1日現在で711人が登録、稼働人数は3,685人、昨日は159人でこれまでの最大稼働人数、連休に入り増加傾向にある。（宮古市社会福祉協議会）
- 本日は、強風のため屋外でのボランティア活動を中止した。（宮古市社会福祉協議会）
- ボランティアセンターを介さないで個人的に活動している状況も散見される。登録者はワッペンを貼付けしているので、見掛けたらボランティアセンターに行くよう案内してほしい。センターでは活動中の受傷や事故に備え保険を掛けている。（宮古市社会福祉協議会）
- 次回の合同会議は、6日金曜日17時30分から開催（危機管理監）



■平成23年5月6日（金）17時30分 第69回災害対策本部会議

- 天皇皇后両陛下の行幸啓は無事終了（山本市長）
- 9日から船員、船舶関係相談を国の合同庁舎で開設（岩手運輸支局）
- 洋上から捜索をしたが、遺体発見はなし。漂流物、漂流船の引揚げ（海上保安庁）
- 生活支援が主体（陸上自衛隊）
- 赤前地区、津軽石地区、田老地区の河川付近の側溝整備（陸上自衛隊）
- 津軽石小学校、津軽石保育所付近で使用スペースのクレームあり。（陸上自衛隊）
- 山田町の大浦で遺体1体を収容（宮古警察署）
- アベキガソリンスタンド前信号が明日7日に復旧予定（宮古警察署）
- 応急仮設住宅の県立宮古水産高校第2グラウンド、清寿荘への電気の引込作業（東北電力）
- 県立宮古水産高校第2グラウンドへの回線の引込みが完了（NTT）
- グリーンピア三陸みやこは作業中（NTT）
- 4日、5日に閉伊川河川敷でイベントを開催、ボランティアなど97人で運営（宮古社会福祉協議会）
- 重茂出張所に飛び込みで包丁研ぎのボランティア、刃物で危険を伴うことから苦情の連絡あり。（宮古社会福祉協議会）
- 発災後、2か月を経過し9日、10日は、県内の社会福祉協議会は休養（宮古社会福祉協議会）
- 次回の合同会議は、9日月曜日17時から開催（危機管理監）

■平成23年5月9日（月）17時00分 第70回災害対策本部会議

- 作業が細かい部分に入ってきた。情報交換に努めてほしい。（山本市長）
- 先週から本日にかけて現場対応はなし。（三陸国道事務所）
- 復旧工事に向け施工計画の打ち合わせ、資材手配を実施（三陸国道事務所）
- 明日10日、第16分団長と連携しダイバーによる潜水捜索を日出島で実施予定（海上保安庁）
- 生活支援を実施（陸上自衛隊）
- 田老地区の側溝で遺体捜索を実施（陸上自衛隊）
- 愛宕地区で慰問演奏を実施（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 宮古商工会議所、田老スタンプ会で明日10日からグリーンピア三陸みやこへ仮設テナントを設置（宮古地域振興センター）
- 山田町以南の市町村の義援金受付け事務の応援実施（宮古地域振興センター）
- 河川、民地の瓦礫撤去（宮古土木センター）
- 応急仮設住宅は着工が進んでいる。（宮古土木センター）
- 引き続きの活動を実施（宮古警察署）
- グリーンピア三陸みやこ駐車場側の応急仮設住宅は概ね40戸に送電（東北電力）
- 戸別送電は、市街地2件、愛宕地区2件（東北電力）
- まもなく震災から2か月となる。11日は市のセレモニーの予定はないが、民間団体で藤原埠頭に鯉のぼりを掲揚するようだ。（危機管理監）
- 県外から個人のボランティア登録が少なくなってきたが、宿泊先の確保や梅雨時期を向かえるにあたり受け入れに少なからず影響（宮古社会福祉協議会）
- 活動人員は、7日76人、8日80人で、ゴールデンウィーク後半に入り少なくなっている。できるだけグループで被災地に入ってもらおうよう説明・要望している。（宮古社会福祉協議会）





【遺体を発見し黙とうする自衛隊員。今後は、同じ災害が起こらないように願うばかりである】

□自衛隊等による重機での瓦礫除去の後始末として、細かい残材等の除去の依頼があるが、際限がないので行政の対応待ちとするよう回答している。危機管理監と協議済み（宮古社会福祉協議会）

□次回の合同会議は、11日水曜日17時から開催（危機管理監）

■平成23年5月11日（水）17時00分 第71回災害対策本部会議

□本日、民主党訪問団が釜石市にて懇談、各市町村で復旧状況に差がある。久慈市では復旧がほぼ終了、ビジョンを策定中（山本市長）

□復旧工事を実施（三陸国道事務所）

□ダイバーが潜水捜索による遺体を日出島で実施し、1体を收容（海上保安庁）

□明日も引き続き実施予定（海上保安庁）

□生活支援を実施（陸上自衛隊）

□田老地区、赤前地区の側溝捜索を実施（陸上自衛隊）

□市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）

□17日に平野副大臣及び各省庁との事務レベルでの意見交換を予定（宮古地域振興センター）

□河川、民地の瓦礫撤去（宮古土木センター）

□応急仮設住宅は着工が進んでいる。（宮古土木センター）

□出先埠頭の瓦礫分別可燃物は、広域焼却へ（宮古土木センター）

□海上保安庁からの遺体搬送の対応（宮古警察署）

□宮古警察署のプレハブ庁舎で免許証の再交付受付が可能、県証紙は取扱いをしていない。（宮古警察署）

□赤前小学校の応急仮設住宅に受電（東北電力）



- 電気使用料の検針は6月から実施したい。3月分、4月分はメーターがあれば徴収の方向で検討中（東北電力）
- 10日現在、義援金3,800件を受け、12日1,300件、6億円ほど支払う。（市民生活部）
- 今後は、火曜日、木曜日に義援金を支払う。（市民生活部）
- 明日12日、千葉県柏市消防団17人、消防被服や自転車などの支援物資を持って訪問する予定（宮古市消防団）
- 本日で発災から2か月となる。次回の合同会議は、13日金曜日17時から開催する。（危機管理監）

**■平成23年5月13日（金）17時00分 第72回災害対策本部会議**

- 発災当初は混乱した状況であったが、合同会議で様々な案件を整理できた。自衛隊の師団長からも宮古市の捜索や瓦礫の撤去は連携が図られ進んだと言われた。今後も連携しながら復旧・復興に当たっていききたい。（山本市長）
- 復旧工事に向けた施工準備、資材、重機を手配（三陸国道事務所）
- 洋上からの捜索を実施（海上保安庁）
- 昨日12日、ダイバーが潜水による遺体捜索を日出島で実施したが、発見はなし。（海上保安庁）
- 給食、入浴、給水（応急仮設住宅）支援を実施（陸上自衛隊）
- 明日14日は、田老地区の側溝整備を実施（陸上自衛隊）
- 市町村との連絡調整、避難所、物資関係の人的支援、相談を実施（宮古地域振興センター）
- 河川、民地の瓦礫撤去（宮古土木センター）
- 引き続きの活動を実施（宮古警察署）
- 本日から宮古市1人、山田町5人のDNA検査を実施（宮古警察署）
- 近内地区センターの応急仮設住宅に送電（東北電力）
- 戸別送電は市街地10件、新設は15件で増加傾向（東北電力）
- 夏場の電力需要は、釜石市の石炭火力を含め1,230万キロワットで、150万キロワット不足するが、不足分は東京電力、中部電力などから供給を受けられるよう調整する。計画停電は予定していない。（東北電力）
- 赤前小学校、崎山小学校の応急仮設住宅に電話線を引き込む。（NTT）
- たろう観光ホテルに露出配管で送水を準備（上下水道部）
- 本日の会議で72回を数える。復旧から復興へとステージが変化している。今後は個別に協議することで合同会議は開催しない。調整が必要な案件がある場合は、危機管理課で調整する。（危機管理監）

**■平成23年8月8日（月）15時00分 第73回災害対策本部会議**

- 臨時開催の経緯
  - ・8日14時から開催された第8回経営会議のその他で、市民生活部長から避難所の閉鎖について報告があり、その中で自宅応急修理未完了のため残っている2世帯4人の扱いについて意見を求められたことから、この件に関し災害対策本部を開催することとなった。
- 決定事項
  - ・避難所は、8月10日をもって全て閉鎖することとする。
  - ・避難所閉鎖時点で残る2世帯4人の扱いについては、市の施設に移ってもらうこととする。
  - ・災害救助法の適用期間の延長は、各課に照会のうえ、回答することとする。



- ・事務処理は、危機管理課と福祉課で調整する。

□今後の検討事項

- ・2世帯4人を受け入れる市の施設は、市営住宅を一時宿泊所に転用し移ってもらう方法もある。  
(都市整備部長)
- ・2世帯4人への生活用品の支給は、市の都合で移ってもらうことから、対応可能と思う。(市民生活部長)

■平成23年9月8日(木) 14時00分 第74回災害対策本部会議

□報告事項

- ・東日本大震災による被害推計額について

□協議事項

- ・津波災害時(警報・注意報)における災害対策・警戒本部の設置について本部の設置基準を“了”とする。  
参集場所については、分散を避けるよう再検討

■平成23年10月25日(火) 14時40分 第75回災害対策本部会議

□協議事項

- ・支援(義援)物資の取り扱いについて  
現在、市では、被災者に届いていない支援物資を多く抱えている。  
在宅避難者から物資の配布について、仮設優遇と不満が出ている。  
物資保管施設について、利用の再開を望む声が出ている。  
以上のことから、日時と場所を決め、被災者への配付を計画した。  
詳しくは担当の被災者支援室長が説明する。
- ・物資の保管場所の確保について  
現在、宮町地区の勤労青少年体育センター、田老公民館(体育館)などに物資を保管している。  
他にも元腹帯分校を仮の倉庫として使用している。  
今回、物資の配付後も相当数が残るものと思われる。勤労青少年体育センターと田老公民館の供用を再開出来るようにしたいので、保管場所の提供をお願いしたい。  
期間は旧愛宕小学校の利用計画にもよるが、来年の4月ごろを目途としたい。

□その他

- ・津波防災の日シンポジウムについて

■平成24年1月4日(水) 14時00分 第76回災害対策本部会議

□協議事項

- ・津波災害対策に関する緊急措置について

①被災施設の復旧

被災した防災施設の復旧に引き続き努めることとした。

②災害対策本部機能の充実

本部開設時に必要な備品の整備状況、職員の参集場所、各部各班の所掌事務について了承された。

③避難所・避難場所の見直し

被災または浸水した避難所、避難場所を中心に見直しを行い、避難場所は41施設、避難場所は113か所とした。



④多様な情報伝達手段の確保

エリアメールの整備状況、避難所への移動系防災行政無線機の整備について了承された。

⑤物資の備蓄

引き続き避難所への物資の備蓄について努めることとした。

■平成24年3月28日（水）9時00分 第77回災害対策本部会議

□報告事項

- ・報告事項の前に危機管理監から、追加資料1により前日に発生した岩手県沖を震源とする震度5弱の地震に伴う対応状況について報告
- ・危機管理課長から、本日の協議事項である「災害対策本部の廃止について」は都合により割愛する旨を報告
- ・東日本大震災における災害対応行動の検証報告について
- ・宮古市地域防災計画見直しのスケジュールについて  
学識経験者とは大学教授か？（総務企画部長）  
大学教授の他、市民を含んでいる。（危機管理課長）  
計画の見直しでは、地区復興まちづくり計画との整合性の観点から避難場所や避難路、防災拠点施設等について具体的に触れるのか？（都市整備部長）  
避難場所については計画の本文ではなく別表に掲載している。避難路については具体名を載せていない。防災拠点施設を整備する場合は、計画上の位置づけが必要になると思われる。（危機管理課長）  
専門委員の案を各部長に見てもらった方がいい。（山本市長）
- ・市地域防災計画の一部見直しについて（津波注意報時でも避難所を開設すること）  
平成24年3月14日の津波注意報の際に避難所への避難者数が584人にのぼったことに対応し、防災会議規則の規定により会長の専決により改正したものである。

□協議事項

- ・災害対策本部の廃止について（省略）

□その他

- ・危機管理監から、協議事項の割愛について説明、昨日の地震のとおり、まだ地震活動が続いている状況なので、協議予定だった3月31日に本部を廃止することは当分見合わせる。

■平成24年7月17日（火）10時00分 第78回災害対策本部会議

□挨拶

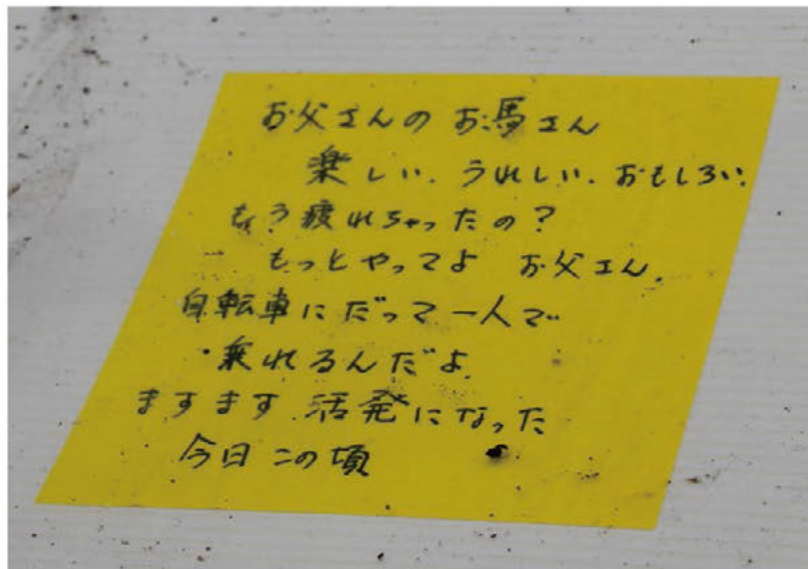
- ・昨年の震災以来、災害対策本部を設置して78回を数える。本日は、事務局から災害対策本部を解散したいという提案があったので、これを協議する。（山本市長）

□協議事項

- ・東日本大震災に伴う宮古市災害対策本部の廃止について
- ①本年3月以降、地震がある程度、落ち着きを見せており、大震災の一区切りとして廃止したいもの。
  - ②「行方不明者」の内、最後の一人の「未確認者」だった方が、DNA鑑定の結果、身元が特定され、7月9日に「死亡届」が提出されたこと。
  - ③被害推計総額において、調査率が100%に到達したこと。
  - ④宮古市を除く沿岸部12市町村において、現在、災害対策本部を設置しているところは、大槌町、釜石市、陸前高田市の3市町となっており、8市町村は既に廃止している。



- ・災害対策本部廃止に伴う今後のスケジュールである。
    - 7月17日火曜日、第78回宮古市災害対策本部会議へ提案
    - 7月30日月曜日、宮古市議会総務常任委員会へ報告
    - 8月6日月曜日、8月市長定例記者会見で公表
    - 8月31日金曜日、宮古市災害対策本部を廃止
- 8月31日、宮古市災害対策本部を廃止するということでした承頂きたい。(山本市長)



【瓦礫の中のアルバムから当時の様子が伺える。】

※時間表記は24時間単位である。







## 宮古市災害対策本部長の活動の状況（発災初期）

### ■平成23年3月13日（日）

□災害対策本部会議、ヘリから現地視察（宮古、下閉伊地区）、宮古小学校、山口小学校の避難所訪問、岩手県副知事対応、田老地区視察

### ■平成23年3月14日（月）

□災害対策本部会議、被災地視察（重茂地区、赤前地区、津軽石地区、磯鶏地区）

### ■平成23年3月15日（火）

□災害対策本部会議、被災地視察（鉾ヶ崎地区）、遺体安置所視察、消防本部会議、防災行政無線放送開始

### ■平成23年3月16日（水）

□消防本部会議、災害対策本部会議、遺体安置所視察

### ■平成23年3月17日（木）

□消防本部会議、災害対策本部会議、避難所訪問（宮古小学校）

### ■平成23年3月18日（金）

□岩手県知事視察対応（避難所訪問、被災地視察）、消防本部会議、災害対策本部会議

### ■平成23年3月19日（土）

□消防本部会議、災害対策本部会議、読売新聞取材対応、鳥取県南部町副町長視察対応、斉藤・平沼岩手県議会議員対応、盛岡市長対応

### ■平成23年3月20日（日）

□消防本部会議、災害対策本部会議、新里トレーニングセンター・水道事業所視察、農林水産大臣政務官対応、大島自民党副総裁対応



3月18日 第二中学校避難所訪問



3月18日 岩手県知事と田老防潮堤にて慰霊



■平成23年3月21日（月）

□消防本部会議、災害対策本部会議、保健所会議、伊藤岩手県議会議員対応、山田町現地視察

■平成23年3月22日（火）

□消防本部会議、災害対策本部会議、市議会臨時会、みやこ災害エフエム放送出演

■平成23年3月23日（水）

□消防本部会議、災害対策本部会議、沿岸知的障害児施設組合議会、宮古地区広域行政組合議会、臨時記者会見

■平成23年3月24日（木）

□消防本部会議、災害対策本部会議、毎日新聞取材対応、宮古税務署長対応、避難所訪問（重茂地区）

■平成23年3月25日（金）

□消防本部会議、災害対策本部会議、グリーンピア三陸みやこ応急仮設住宅くわ入れ、自衛隊東北方面総監対応

■平成23年3月26日（土）

□消防本部会議、災害対策本部会議、東内閣府副大臣現地視察対応  
（田老地区）

■平成23年3月27日（日）

□消防本部会議、災害対策本部会議、NHK日曜討論出演、自衛隊北海道総監対応

■平成23年3月28日（月）

□消防本部会議、岩手県選出国會議員等津波被害状況調査対応（宮古漁協ビル）、災害対策本部会議



3月26日 宮古小学校避難所訪問

■平成23年3月29日（火）

□FMいわて放送出演（電話出演）、岩泉町・田野畑村現地視察

■平成23年3月30日（水）

□東北総合通信局長対応、災害対策本部会議

■平成23年3月31日（木）

□栽培漁業センター現地視察、災害対策本部会議



■平成23年4月1日（金）

□東北地方整備局道路部長現地視察対応、河北新報取材対応、谷垣自民党総裁視察対応

■平成23年4月2日（土）

□災害対策本部会議

■平成23年4月3日（日）

□大塚厚生労働省副大臣視察対応（宮古小学校、鍬ヶ崎小学校）、災害対策本部会議

■平成23年4月4日（月）

□災害対策本部会議、避難所訪問（浄土ヶ浜パークホテル、国民休暇村）

■平成23年4月5日（火）

□避難所訪問、被災地視察、中国国営放送取材対応、災害対策本部会議

■平成23年4月6日（水）

□岩手県沿岸市町村災害対策連絡会議（沿岸広域振興局）、災害対策本部会議

■平成23年4月7日（木）

□産経新聞盛岡支局長取材対応、中村岩手県立大学長対応、環境省自然環境局長対応、岩手県市長会長対応、災害対策本部会議

■平成23年4月8日（金）

□民主党岡田幹事長視察（田老防潮堤、宮古漁協ビル）、毎日新聞取材対応、災害対策本部会議

■平成23年4月9日（土）

□畑浩治国会議員対応、北海道池田町長対応、災害対策本部会議

■平成23年4月10日（日）

□フジテレビ新報道2011出演、下関市長対応、災害対策本部会議

■平成23年4月11日（月）

□ウツティかわい社長対応、みやこ災害エフエム出演、宮古病院院長対応、魚市場販売再開取材（めんこいテレビ）、インターハイ実行委員会総会出席、岩手県東日本大震災津波復興委員会出席

■平成23年4月12日（火）

□岩手県市長会議出席、民主党岩手県総支部連合会要望

■平成23年4月13日（水）

□市議会臨時会、消防庁長官視察対応、静岡県派遣医師団対応、八幡平市副市長・議長対応、災害対策本部会議



■平成23年4月14日（木）

□青森県外ヶ浜町長・議長対応、水産総合研究センター東北区研究所長対応、共同通信社取材対応、災害対策本部会議

■平成23年4月15日（金）

□市議会臨時会、フジテレビ取材対応、災害対策本部会議、国境なき医師団対応

■平成23年4月16日（土）

□大畠国土交通大臣対応、松本防災担当大臣現地調査対応（鍬ヶ崎地区、田老地区）

■平成23年4月17日（日）

□みんなでがんばっぺしコンサート（宮古駅前広場）

■平成23年4月18日（月）

□平泉町長・議長対応、三陸鉄道社長対応、ラサ工業社長対応、災害廃棄物処理勉強会出席（沿岸広域振興局）、災害対策本部会議

■平成23年4月19日（火）

□J A新岩手組合長対応、岩手県ユネスコ協会安藤会長対応、内閣府長谷川審議官現地調査対応（田老地区）、災害対策本部会議

■平成23年4月20日（水）

□災害対策本部会議

■平成23年4月21日（木）

□岩手県沿岸市町村復興期成同盟会要望移動日（東京都）



4月16日 松本環境大臣視察（田老防潮堤）



4月16日 大畠国交大臣視察



■平成23年4月22日（金）

- 岩手県沿岸市町村復興期成同盟会要望（菅首相、松本防災担当大臣、玄葉国家戦略担当、片山総務大臣、自民党：谷垣総裁、大島副総裁、公明党：山口代表、井上幹事長、石田災害対策本部事務局長、民主党：岡田幹事長）

■平成23年4月23日（土）

- 岩手県沿岸市町村復興期成同盟会要望移動日（東京都）

■平成23年4月24日（日）

- 北海道遠軽町長対応、公明党井上幹事長対応、復興構想会議大西委員対応（鍬ヶ崎地区、田老地区）

■平成23年4月25日（月）

- 復興本部会議、第二中学校入学式、災害対策本部会議

■平成23年4月26日（火）

- 田老第一小学校入学式、自衛隊機での上空視察、串本町長対応、宮古港復興ビジョン協議会設立出席

■平成23年4月27日（水）

- 品川区長現地視察対応、災害対策本部会議

■平成23年4月28日（木）

- オーストラリア放送協会取材対応、グリーンピア三陸みやこ社長対応

■平成23年5月1日（日）

- 滋賀県高島市長対応

■平成23年5月2日（月）

- 多良間村副村長対応、千葉縣市川市長・副市長対応、災害対策本部会議

■平成23年5月3日（火）

- 在京白亜会ビデオ撮影

■平成23年5月4日（水）

- 内閣府和田政務官災害調査対応、災害対策本部会議

■平成23年5月6日（金）

- ウェーブクレスト坂口社長対応、前橋工科大学大学院、日大大学院対応、日本造園学会対応、天皇皇后両陛下下行幸啓対応、災害対策本部会議

■平成23年5月7日（土）

- 札幌大学千葉教授対応、日経グローバル取材対応、共産党志位委員長対応



■平成23年5月8日（日）

□社民党福島党首被害状況調査対応

■平成23年5月9日（月）

□宮古地区広域行政組合参与会、災害対策本部会議

■平成23年5月11日（水）

□衆議院総務委員会視察対応（シーブラザ釜石）、米軍三沢基地セイザー大佐対応、災害対策本部会議、岩手朝日テレビ出演

■平成23年5月12日（木）

□県土整備部佐藤技監対応、宮古同郷会白土会長対応、自治体学会相川氏対応、東北地方整備局宮本港湾副局長対応、東北地方整備局川滝道路部長対応

■平成23年5月13日（金）

□国復興会議検討部会岩手大学広田教授対応、東北経済産業局長対応

■平成23年5月16日（月）

□経営会議、環境省近藤副大臣視察対応

■平成23年5月17日（火）

□週刊現代電話取材対応、NHK盛岡支社長対応

■平成23年5月18日（水）

□岩手県立大学相澤理事長・植田学部長対応、東北地方整備局対応、宮古港復興会議

■平成23年5月19日（木）

□道路整備促進期成同盟会全国協議会総会出席、震災から命を守る道づくり全国大会、要望活動（国土交通省、民主党幹事長室）

■平成23年5月20日（金）

□東北地方整備局への要望活動

■平成23年5月21日（土）

□よみうりテレビ出演（宮古漁協下）、枝野官房長官視察対応

■平成23年5月23日（月）

□千葉大学岡田教授対応、経営会議、要望対応（千鶴自治会）、多良間村長・議長、宮古製糖対応、みやこ災害エフエム出演、辻本内閣府総理補佐官対応

■平成23年5月24日（火）

□東北地区港湾整備促進協議会・東北の港湾復興を考える意見交換会



■平成23年5月25日（水）

- 神奈川県大和市長対応、岩手銀行工藤常務対応、目黒商店街中崎理事長対応、市議会議員会派との意見交換

■平成23年5月26日（木）

- 国境なき医師団道津医師対応、JR盛岡支社長対応、最高裁判所山崎事務総長対応、岩手県環境生活部長対応、宮古短期大学植田学部長対応

■平成23年5月27日（金）

- 魚市場訪問、青森県総務部長・防災担当課長対応、林野庁長官対応、経済産業省製造産業局参事官対応

■平成23年5月30日（月）

- 議員全員協議会、産経新聞取材対応、環境省東北地方環境事務所長対応、岩手県人会鈴木副会長・元国交省審議官対応

■平成23年5月31日（火）

- 内閣府阿久津大臣政務官対応

■平成23年6月1日（水）

- 市議会本会議、(株)エイト日本技術開発対応、部課長会議、記者会見

■平成23年6月2日（木）

- 市議会本会議一般質問、議員全員協議会、厚生労働省金谷審議官対応

■平成23年6月3日（金）

- 市議会本会議一般質問、玉澤徳一郎氏対応

■平成23年6月6日（月）

- 自衛隊第11大隊第10普通科連隊長対応、市議会本会議一般質問

■平成23年6月7日（火）

- 全国市長会議（理事・評議員合同会議）、岩手県市長会要望行動（内閣府、総務省）、市長フォーラム（全国都市会館大ホール）、改革進化市長の会（都市センターホテル）、岩手県市長会意見交換会（都市センターホテル）

■平成23年6月8日（水）

- 全国市長会議（総会）

■平成23年6月9日（木）

- 市議会本会議一般質問、日本精神科病院協会岩手県協会対応、東北運輸局岸谷鉄道部長対応、宮古海上保安署長対応、



■平成23年6月10日（金）

□市議会本会議、NHK宮古支局取材対応、岡本評論家・元水産庁部長対応

■平成23年6月11日（土）

□宮古あきんど復興市

■平成23年6月14日（火）

□日本経済研究所柳内氏対応、国境なき医師団対応、宮古郵便局長対応、アイシーエス郵野社長対応、越谷ロータリークラブ対応、水元亜紀氏対応（宮古市出身歌手）、IBC岩手放送対応、井上大分県議・元上津江村長対応

■平成23年6月15日（水）

□水産総合研究センター井上理事対応、鯨ヶ崎地区復興会議、日本大学理工学部伊澤教授対応、日本歯科医師会大久保会長対応、第2回岩手県沿岸市町村復興期成同盟会総会、上野岩手県副知事対応

■平成23年6月16日（木）

□岩手県議会災害対策特別委員会現地調査対応、東北地方整備局工藤氏対応

■平成23年6月17日（金）

□内閣府東副大臣対応

■平成23年6月18日（土）

□田老地区慰霊災、内閣府平野副大臣視察対応

■平成23年6月19日（日）

□みやこ災害エフエム出演

■平成23年6月20日（月）

□経営会議、三陸鉄道取締役会書面決議、国直轄事業アドバイザー姥浦氏対応、部課長会議、宮古商工会議所懇談会

■平成23年6月21日（火）

□市しいたけ主産地化推進協議会要望対応

■平成23年6月22日（水）

□バイオリニスト伊藤奏子氏対応、(株)リードコナン伊東社長・村木氏対応、大仙市長対応、宮古ひまわり基金小口弁護士対応

■平成23年6月23日（木）

□魚市場根滝定置網初水揚げ視察、議員全員協議会、こころのケアセンター内田瑛子先生対応、岩手県環境生活部工藤部長対応、住民懇談会（重茂漁協）



■平成23年6月24日（金）

□宮館岩手県副知事対応、市議会臨時会、宮古地域雇用対策協議会総会、住民懇談会（赤前小学校）

■平成23年6月25日（土）

□住民懇談会（津軽石小学校、磯鶏小学校、藤原小学校）

■平成23年6月26日（日）

□宮古市東日本大震災犠牲者合同慰霊祭（宮古市民総合体育館シアリーナ）



防災行政無線で復旧状況を伝える山本宮古市長



## 宮古市災害対策本部会議の開催状況

開催年月日	回数	開催時間	開催年月日	回数	開催時間
H23. 3. 11 (金)	第 1 回	16:00	H23. 3. 24 (木)	第 40 回	7:30
	第 2 回	17:00		第 41 回	17:00
	第 3 回	18:00	H23. 3. 25 (金)	第 42 回	7:30
	第 4 回	19:00		第 43 回	17:00
	第 5 回	19:30	H23. 3. 26 (土)	第 44 回	7:30
	第 6 回	21:00		第 45 回	17:00
	第 7 回	21:45	H23. 3. 27 (日)	第 46 回	7:30
	第 8 回	22:30		第 47 回	17:00
	第 9 回	23:00	H23. 3. 28 (月)	第 48 回	17:00
H23. 3. 12 (土)	第 10 回	0:00	H23. 3. 29 (火)	第 49 回	17:00
	第 11 回	2:00	H23. 3. 30 (水)	第 50 回	17:00
	第 12 回	6:00	H23. 3. 31 (木)	第 51 回	17:00
	第 13 回	6:30	H23. 4. 1 (金)	第 52 回	17:00
	第 14 回	11:30	H23. 4. 2 (土)	第 53 回	17:00
	第 15 回	17:20	H23. 4. 3 (日)	第 54 回	17:00
H23. 3. 13 (日)	第 16 回	8:00	H23. 4. 5 (火)	第 55 回	17:00
	第 17 回	11:30	H23. 4. 7 (木)	第 56 回	17:00
	第 18 回	15:30	H23. 4. 8 (金)	第 57 回	17:00
	第 19 回	18:30	H23. 4. 12 (火)	第 58 回	17:00
H23. 3. 14 (月)	第 20 回	8:00	H23. 4. 13 (水)	第 59 回	17:00
	第 21 回	18:00	H23. 4. 14 (木)	第 60 回	17:00
H23. 3. 15 (火)	第 22 回	8:00	H23. 4. 15 (金)	第 61 回	17:00
	第 23 回	17:00	H23. 4. 18 (月)	第 62 回	17:00
H23. 3. 16 (水)	第 24 回	8:00	H23. 4. 19 (火)	第 63 回	17:00
	第 25 回	17:00	H23. 4. 20 (水)	第 64 回	17:00
H23. 3. 17 (木)	第 26 回	7:30	H23. 4. 22 (金)	第 65 回	17:00
	第 27 回	17:00	H23. 4. 25 (月)	第 66 回	17:00
H23. 3. 18 (金)	第 28 回	7:30	H23. 4. 27 (水)	第 67 回	17:00
	第 29 回	17:00	H23. 5. 2 (月)	第 68 回	17:00
H23. 3. 19 (土)	第 30 回	7:30	H23. 5. 6 (金)	第 69 回	17:30
	第 31 回	17:00	H23. 5. 9 (月)	第 70 回	17:00
H23. 3. 20 (日)	第 32 回	7:30	H23. 5. 11 (水)	第 71 回	17:00
	第 33 回	17:00	H23. 5. 13 (金)	第 72 回	17:00
H23. 3. 21 (月)	第 34 回	7:30	H23. 8. 8 (月)	第 73 回	15:00
	第 35 回	17:00	H23. 9. 8 (木)	第 74 回	14:00
H23. 3. 22 (火)	第 36 回	7:30	H23. 10. 25 (火)	第 75 回	14:40
	第 37 回	17:00	H24. 1. 4 (水)	第 76 回	14:00
H23. 3. 23 (水)	第 38 回	7:30	H24. 3. 28 (水)	第 77 回	9:00
	第 39 回	17:00	H24. 7. 17 (火)	第 78 回	10:00

## 東日本大震災による死者数及び行方不明者数の状況

平成24年11月6日現在

## ■年代（死者欄及び行方不明者欄の死亡認定者数は重複）

年代	死者			行方不明者 ※死亡認定者
	死亡届出者	死亡認定者	合計	
0歳～9歳	10人	9人	19人	9人
10歳～19歳	2人		2人	
20歳～29歳	10人	5人	15人	5人
30歳～39歳	16人	11人	27人	8人
40歳～49歳	28人	11人	39人	10人
50歳～59歳	56人	14人	70人	11人
60歳～69歳	91人	31人	122人	25人
70歳～79歳	106人	20人	126人	19人
80歳～89歳	74人	9人	83人	7人
90歳～99歳	14人		14人	
合計	407人	110人	517人	94人

## ■性別（死者欄及び行方不明者欄の死亡認定者数は重複）

性別	死者			行方不明者 ※死亡認定者
	死亡届出者	死亡認定者	合計	
男性	182人	69人	251人	59人
女性	225人	41人	266人	35人
合計	407人	110人	517人	94人

## ■住所別内訳

地区	死者			行方不明者 ※死亡認定者	
	死亡届出者	死亡認定者	合計		
宮古	新川町	7人		7人	
	向町	24人	1人	25人	1人
	大通	2人		2人	
	館合町	1人		1人	
	西町	1人		1人	
	山口	5人		5人	
	保久田		1人	1人	1人
	黒田町	2人		2人	
	築地	9人	2人	11人	2人
	愛宕	1人		1人	
	光岸地	11人		11人	
	宮園		1人	1人	1人
	合計	63人	5人	68人	5人
	鉾ヶ崎	鉾ヶ崎	17人	3人	20人
中里団地		1人		1人	
日影町		1人		1人	
熊野町		3人	2人	5人	2人
蛸の浜町		17人	1人	18人	1人
山根町		5人	1人	6人	1人
港町		1人		1人	
日立浜町		3人	1人	4人	1人
日の出町			1人	1人	
合計	48人	9人	57人	8人	
千徳	近内	3人		3人	
	西ヶ丘	1人		1人	
	長根	4人	1人	5人	1人
	太田	1人		1人	
	板屋	1人		1人	
	上鼻	1人		1人	
	合計	11人	1人	12人	1人

## ■住所（死者欄及び行方不明者欄の死亡認定者数は重複）

地区	死者			行方不明者 ※死亡認定者
	死亡届出者	死亡認定者	合計	
宮古地区	63人	5人	68人	5人
鉾ヶ崎地区	48人	9人	57人	8人
千徳地区	11人	1人	12人	1人
磯鶏地区	58人	7人	65人	7人
崎山地区	8人	14人	22人	9人
花輪地区	5人	1人	6人	
津軽石地区	53人	4人	57人	3人
重茂地区	24人	24人	48人	20人
田老地区	136人	45人	181人	41人
新里地区	1人		1人	
合計	407人	110人	517人	94人

□「死亡届出者」とは、平成23年3月11日現在において宮古市に住民登録があり、東日本大震災による直接的な原因（死因：溺死、肺炎など）で死亡した方である。

□「死者欄の死亡認定者」110人と「行方不明者欄の死亡認定者」94人の差16人は、死亡認定の届出後に遺体またはDNA鑑定で行方不明者本人と特定された方的人数である。

地区	死者			行方不明者 ※死亡認定者	
	死亡届出者	死亡認定者	合計		
磯鶏	藤原	5人	1人	6人	1人
	小山田	3人	1人	4人	1人
	磯鶏	8人		8人	
	上村	1人	1人	2人	1人
	河南	1人		1人	
	神林	3人	1人	4人	1人
	藤の川	2人		2人	
	八木沢	4人	1人	5人	1人
	高浜	4人	1人	5人	1人
	金浜	27人	1人	28人	1人
	合計	58人	7人	65人	7人
崎山	崎山	3人	1人	4人	
	崎鉾ヶ崎	5人	13人	18人	9人
合計	8人	14人	22人	9人	
花輪	田鎖	1人		1人	
	松山	1人		1人	
	老木		1人	1人	
	長沢	3人		3人	
合計	5人	1人	6人		
津軽石	津軽石	28人	3人	31人	2人
	赤前	25人	1人	26人	1人
	合計	53人	4人	57人	3人
重茂	重茂	21人	23人	44人	19人
	音部	3人	1人	4人	1人
合計	24人	24人	48人	20人	
田老	田老	136人	45人	181人	41人
	合計	136人	45人	181人	41人
新里	刘屋	1人		1人	
	合計	1人		1人	
合計	407人	110人	517人	94人	



## 東日本大震災による家屋倒壊数の状況

■家屋倒壊数の内訳（平成24年6月29日現在）

単位：棟

地区別	住 家					非住家				
	全 壊	大規模 半 壊	半 壊	一 部 破 損	合 計	全 壊	大規模 半 壊	半 壊	一 部 破 損	合 計
宮 古	461	242	208	170	1,081	447	233	168	71	919
銚ヶ崎	527	16	16	36	595	487	11	9	10	517
藤 原	82	129	85	27	323	123	114	59	9	305
磯 鷄	133	109	146	80	468	185	81	118	18	402
高 浜	66	34	29	11	140	99	41	29	9	178
金 浜	129	5	1	5	140	159	5	2	1	167
白 浜	15	2	4	4	25	43	2	5	0	50
崎 山	40	4	10	27	81	90	4	1	7	102
花 輪	0	0	1	10	11	0	0	3	7	10
津軽石	414	116	104	49	683	538	124	88	20	770
重 茂	81	4	3	8	96	295	11	6	6	318
田 老	729	27	32	13	801	821	21	45	3	890
新 里	0	0	1	2	3	3	0	1	5	9
川 井	0	0	0	2	2	1	0	0	1	2
合 計	2,677	688	640	444	4,449	3,291	647	534	167	4,639

地区別	合 計				
	全 壊	大規模 半 壊	半 壊	一 部 破 損	合 計
宮 古	908	475	376	241	2,000
銚ヶ崎	1,014	27	25	46	1,112
藤 原	205	243	144	36	628
磯 鷄	318	190	264	98	870
高 浜	165	75	58	20	318
金 浜	288	10	3	6	307
白 浜	58	4	9	4	75
崎 山	130	8	11	34	183
花 輪	0	0	4	17	21
津軽石	952	240	192	69	1,453
重 茂	376	15	9	14	414
田 老	1,550	48	77	16	1,691
新 里	3	0	2	7	12
川 井	1	0	0	3	4
合 計	5,968	1,335	1,174	611	9,088

■家屋倒壊数の内訳（発災初期時の速報数値）

地区別	全 壊	半 壊	一 部 破 損	床 上 浸 水	床 下 浸 水	合 計
宮 古	722	647	118	1,262	247	2,996
銚ヶ崎	646	136		33		815
崎 山	148	24		17	6	195
花 輪						0
津軽石	426	136	57	287	56	962
重 茂	118	4	1	11	2	136
田 老	1,609	59		150	12	1,830
合 計	3,669	1,006	176	1,760	323	6,934

※平成24年6月29日現在の数値は、震災時の住民票データを基に罹災証明書の申請件数を集計した。  
重複疑いのある建物は、住宅地図等で確認した。

■住宅被害額

全 壊	大規模半壊	半 壊	一部破損
123,537,600千円	13,817,250千円	9,720,720千円	2,529,540千円
合 計		149,605,110千円	

## 東日本大震災による被害推計総額の状況

245,660,884千円

被害区分	被害推計額 (千円)	調査率 (%)	備 考
庁舎等	470,178	100	庁舎・工作物・備品等被害
通信施設	9,366	100	テレビ共同受信施設被害
社会福祉施設	1,745,167	100	建物・施設被害
社会教育施設	523,705	100	建物・施設被害
文化施設	1,115,000	100	建物・施設被害
体育施設	655,467	100	建物・施設被害
水道施設	341,000	100	上水道・簡易水道等被害
医療・衛生施設	1,692,365	100	病院等・保健センター被害
消防防災施設	780,536	100	庁舎等・機械施設被害
観光施設	13,600,504	100	公共施設・民営施設被害
商工労働関係施設	28,107,000	100	商業関係・工業関係被害
水産関係	21,506,426	100	水産施設・漁船・漁具・養殖施設・水産物被害
漁港施設	15,033,087	100	漁港施設・海岸施設・漁場施設・漁村施設被害
農業施設	36,080	100	農業施設被害
家畜等関係	621	100	畜産物被害
農地農業用施設	1,629,325	100	農地・農業用施設・海岸保全施設被害
林業関係	426,920	100	林業施設・林産物・森林被害
公共土木施設	7,738,258	100	河川・道路・橋梁・公園・下水道被害
公営住宅等	422,393	100	公営住宅被害
学校	210,292	100	建物・工作物・土地・設備等被害
文化財	12,084	100	文化財被害
住宅	149,605,110	100	日本政策投資銀行「住宅資本ストックの被害」の推計方法を準用



東日本大震災による被害区分ごとの被害推計額内訳

被害区分	内訳（被害推計額／施設名等／被害状況）
庁舎等 470,178千円	【本庁舎等】（266,633千円／本庁舎2箇所、分庁舎／床上浸水） 【大通会館】（26,887千円／半壊） 【備品損壊】（167,658千円／本庁舎1階、公用車71台、電算一式） 【田老総合事務所車庫】（3,000千円／一部破損） 【中町バス待合室】（6,000千円／全壊）
通信施設 9,366千円	【テレビ共同受信施設】（9,366千円／中の浜、日立浜、磯鶏、津軽石下町、白浜、川代）
社会福祉施設 1,745,167千円	【市立保育所】（85,161千円／津軽石、田老、千鶏／全壊、新里／設備損傷） 【市立児童館】（3,842千円／高浜／床上浸水、田老／土地被害） 【民間保育園】（10,346千円／宮古保育園／半壊、そけい幼稚園／床上浸水） 【児童公園】（3箇所） 【児童遊園】（1箇所） 【老人福祉センター等】（95,213千円／磯鶏老人福祉センター、石浜地区介護予防拠点施設／全壊） 【タラソテラピー施設】（1,403,000千円／半壊） 【田老高齢者コミュニティセンター】（245千円／床上浸水） 【民間デイサービス施設等】（147,360千円／10箇所／全壊等）
社会教育施設 523,705千円	【自治会研修センター】（110,400千円／田老、乙部地区／全壊） 【公民館】（319,105千円／津軽石、鉾ヶ崎／全壊、磯鶏、田老／一部破損） 【地区センター】（94,200千円／高浜、堀内／全壊、鶴磯／半壊）
文化施設 1,115,000千円	【市民文化会館】（1,115,000千円／半壊、工作物損傷）
体育施設 655,467千円	【藤の川海水浴場】（23,000千円／トイレ等全壊） 【田老野球場】（562,079千円／全壊） 【田老ゲートボール場】（20,000千円／土砂流入） 【千徳体育館】（388千円／地下排水管破断） 【リアスハーバー宮古浮き棧橋】（50,000千円／工作物流出）
水道施設 341,000千円	【上水道施設】（223,000千円／8棟／設備等被害） 【簡易水道施設】（118,000千円／3棟／設備等被害）
医療・衛生施設 1,692,365千円	【宮古保健センター】（400,000千円／半壊） 【診療所】（600,000千円／休日急患診療所／半壊、国保田老診療所／全壊） 【民間病院等】（687,365千円／26施設／全壊等） 【公害試験室】（1,000千円／床上浸水） 【黒田町公衆便所】（4,000千円／半壊）
消防防災施設 780,536千円	【防災行政無線子局】（142,500千円／57箇所／流出等） 【防災行政無線戸別受信機】（92,350千円／1,847台／流出等） 【防災行政無線移動系無線】（26,680千円／46台／流出等） 【潮位観測装置】（17,000千円／3箇所／全壊） 【避難誘導標識等】（24,800千円／60箇所／全壊） 【避難路手摺】（2,000千円／5箇所100m／損壊） 【消防屯所等】（348,605千円／7、16、24、26、29、30分団／全壊、1、2、6、11、28分団／半壊、4、5、8、10、20、25分団／床上浸水） 【消防ポンプ自動車等】（126,262千円／15台／流出等） 【消火栓】（157千円／2箇所） 【防火水槽】（182千円／1箇所）
観光施設 13,600,504千円	【自然公園】（10,168,000千円／園地施設10箇所、野営場2箇所、浄土ヶ浜レストハウス、シャワー棟等3箇所） 【観光施設】（3,432,504千円／シートピアなあと、潮里ステーション、ビーフビレッジ区界、民宿等33箇所）
商工労働関係施設 28,107,000千円	【被災事業所】（28,003,000千円／商業、工業事業所1,154箇所） 【宮古港湾労働者福祉センター】（104,000千円／全壊）
水産関係 21,506,426千円	【水産施設】（11,056,227千円／643箇所） 【漁船】（4,454,536千円／2,629隻） 【漁具】（1,871,561千円／33箇所） 【養殖施設】（1,701,994千円／2,973箇所） 【水産物】（2,422,108千円／14,252 t）

## 東日本大震災による被害区分ごとの被害推計額内訳

被害区分	内訳（被害推計額／施設名等／被害状況）
漁港施設 15,033,087千円	【外郭施設】（7,980,569千円／46箇所） 【係留施設】（624,449千円／26箇所） 【水域施設】（356,129千円／13箇所） 【輸送施設】（504,057千円／19箇所） 【漁港施設用地】（236,650千円／17箇所） 【堤防】（3,419,550千円／5箇所） 【漁業集落施設等】（294,539千円／7箇所） 【漁場施設】（1,617,144千円／2箇所）
農業施設 36,080千円	【農漁村センター】（36,080千円／金浜、千鶏／全壊）
家畜等関係 621千円	【畜産物】（621千円／生乳6,150kg）
農地農業用施設 1,629,325千円	【田】（836,133千円／60ha） 【畑】（66,993千円／15ha） 【用排水路】（55,939千円／120箇所） 【揚水機】（18,000千円／6箇所） 【農道】（39,260千円／120箇所） 【海岸保全施設】（613,000千円／1箇所）
林業関係 426,920千円	【治山施設】（16,800千円／4箇所） 【防潮林】（217,184千円／2箇所） 【林道】（105,600千円／59箇所） 【ほだ木】（8,920千円／49,100本） 【人口ほだ場】（10,800千円／3箇所） 【特用林産物】（3,066千円／77kg） 【乾燥機】（7,800千円／13台） 【その他機械等】（13,600千円） 【森林火災】（23,602千円／37.47ha） 【森林流失】（15,540千円／7.04ha） 【森林塩害】（4,008千円／1.37ha）
公共土木施設 7,738,258千円	【道路】（4,229,330千円／43箇所） 【橋梁】（24,182千円／13箇所） 【河川】（270,690千円／22箇所） 【下水道施設】（555,791千円／6箇所） 【漁業集落排水施設】（130,867千円／2箇所） 【都市公園】（2,527,398千円／6箇所）
公営住宅等 422,393千円	【公営住宅】（422,393千円／赤前東住宅9戸、重茂住宅10戸／全壊、女遊戸住宅10戸／半壊、金浜住宅13戸／一部破損、兄形団地住宅17戸／床上浸水）
学校 210,292千円	【小学校】（117,074千円／宮古小／設備損傷、鉾ヶ崎小／床上浸水、工作物損傷、磯鶏小／一部破損、山口小／設備損傷、千徳小／一部破損、高浜小／工作物損傷、赤前小／工作物損傷、鶴磯小／一部破損、工作物・設備損傷等、鶴磯小教員住宅／全壊、千鶏小／一部破損、工作物・設備損傷等、田老第一小／一部破損） 【中学校】（92,065千円／第一中／一部破損、重茂中／工作物損傷、田老第一中／一部破損、工作物・設備損傷等） 【給食センター】（1,153千円／新里給食センター／一部破損、重茂給食センター、川井給食センター／設備損傷）
文化財 12,084千円	【国登録有形文化財】（12,000千円／床上浸水） 【市指定有形文化財】（84千円／倒壊）
住宅 149,605,110千円	【住宅等被害】（149,605,110千円／5,968棟／全壊、1,335棟／大規模半壊、1,174棟／半壊、611棟／一部破損）
<b>【被害推計総額 245,660,884千円】</b>	

※国・県の施設、鉄道、電信電話、電気事業者関係等の被害を除く。



## 第3章 被災者支援の「記録」

## 救援物資の要望状況

種 類	主 要 品 目
毛布	毛布
タオル	フェイスタオル、バスタオル
生活用品	ティッシュペーパー、ペーパータオル、トイレ関係、ゴミ関係、掃除用具 洗剤、雨具、カミソリ、入れ歯用品、爪切り、歯磨き用品、シャンプー、 リンス、洗濯用品、ゴミ袋、洗濯用品、トイレトペーパー
介護用品	大人用おむつ、尿取りパッド、車いす、杖
育児用品	子供用おむつ、尿取りパッド、粉ミルク、離乳食、ベビーカー
生理用品	生理用ナプキン（羽付・羽なし）・タンポン、生理用ショーツ
衛生用品	手指消毒剤、トイレ消毒薬、殺虫剤、マスク（防塵・風邪・インフルエンザ対策）、ウェットティッシュ、ボディシート、石鹸、衣類の消臭剤（殺菌成分入り）
食品	レトルト食品、缶詰、カップラーメン、乳製品、野菜ジュース、コーヒー お茶
飲料水	2リットル、500ミリリットル入ペットボトル、水用ポリタンク
基礎化粧品	ハンドクリーム、化粧水、乳液
調理用品	ラップ、アルミホイル、調理用使い捨て手袋
調理器具	カセットコンロ、カセットボンベ
食器類	使い捨て食器（紙、プラスチック皿、コップ）、使い捨てスプーン、使い 捨てフォーク、割り箸
燃料	ろうそく、ガソリン、灯油、ガス、木炭、灯油用ポリタンク、給油ポンプ
電池	単1～単4乾電池
医薬品	薬剤、血圧計、体温計、冷・温湿布、冷却シート、冷却ジェル
トイレ	簡易トイレ、仮設トイレ、蛆殺し、消臭剤
冷蔵庫等生活機器	冷蔵庫、洗濯機
発電機	発電機
暖房機器	ストーブ、ヒーター、ストーブガード
防寒用品 （電源・燃料不要）	カイロ、湯たんぽ
防暑用品	蚊取線香、ハエトリリボン、殺虫剤・防虫剤、ハエたたき、扇風機、団扇
衣類	下着、幼児～大人用衣類（サイズS～4L）、コート、ブラウス、スウェ ット、タイツ、ズボン、靴、カバン、帽子、老眼鏡
寝具	耳栓、寝袋、シーツ、タオルケット、布団
住宅用品	カーペット、ゴザ、断熱材、アルミマット
照明	ろうそく、懐中電灯、投光機、卓上ランプ
ラジオ	ラジオ、CDプレーヤー付きラジカセ、イヤホン
テレビ	テレビ
作業用品	軍手、作業着、ゴム手袋、延長コード
学用品	ランドセル、ピアニカ ※需要の有無にかかわらず受領
文具	ボールペン、メモ用紙、消しゴム、油性ペン、ホワイトボード用ペン（避 難所運営用を含む）
その他	玩具、カレンダー、雨具、間仕切り、自転車、荷物運搬用台車、腕時計、 壁掛け時計、ブルーシート、段ボール



## 応急仮設住宅の設置状況

名 称	場 所	住 所	戸 数
田老仮設団地	グリーンピア三陸みやこ	田老字向新田148番地	248戸
田老第2仮設団地	グリーンピア三陸みやこ駐車場隣地	田老字向新田148番地	37戸
田老第3仮設団地	グリーンピア三陸みやこテニスコート	田老字向新田148番地	122戸
中里仮設団地	愛宕公園	中里団地1番1号	81戸
西ヶ丘仮設団地	西ヶ丘近隣公園	西ヶ丘一丁目1番1号	35戸
磯鶏仮設団地	岩手県立宮古水産高等学校第二グラウンド	磯鶏第8地割168番地1	90戸
近内仮設団地	近内地区センターグラウンド	近内第3地割119番地1	43戸
赤前仮設団地	宮古市立赤前小学校グラウンド	赤前第11地割49番地2	78戸
白浜仮設団地	旧白浜分校グラウンド	白浜第1地割90番地1	13戸
津軽石第2仮設団地	宮古市立清寿荘中庭	津軽石第14地割38番地3	22戸
津軽石仮設団地	宮古市立清寿荘隣接県有地	津軽石第14地割119番地16	29戸
重茂第3仮設団地	大程地区民有地	重茂第29地割86番地1	4戸
田老第4仮設団地	檜内地区市有地	田老字西向山119番地14	35戸
田老第5仮設団地	檜内地区民有地	田老字西向山119番地13	33戸
崎山仮設団地	崎山地区民有地	崎山第3地割191番地1	44戸
愛宕仮設団地	宮古市立愛宕小学校グラウンド	愛宕一丁目4番6号	45戸
重茂仮設団地	重茂地区民有地	重茂第1地割36番地1	12戸
重茂第4仮設団地	宮古市立重茂小学校グラウンド	重茂第2地割12番地	15戸
音部仮設団地	音部地区民有地	音部第3地割20番地1 ほか	32戸
重茂第2仮設団地	千鶏地区民有地	重茂第15地割11番地1	13戸
実田仮設団地	みた公園及び隣接民有地	実田二丁目2番1号 ほか	34戸
佐原仮設団地	わかば公園	佐原二丁目9番1号	11戸
日立浜町仮設団地	浄土ヶ浜第3駐車場	日立浜町32番地2	30戸
八木沢仮設団地	八木沢公園	八木沢二丁目8番4号	16戸
崎山第2仮設団地	若葉台公園	崎山第1地割34番地3	7戸
近内第2仮設団地	川端橋近接公園予定地	近内第11地割24番地	10戸
津軽石第3仮設団地	藤畑公民館隣接民有地	津軽石第12地割150番地1	26戸
西ヶ丘第3仮設団地	なかよし公園	西ヶ丘二丁目6番5号	18戸
西ヶ丘第4仮設団地	にしがおか公園	西ヶ丘三丁目11番4号	24戸
西ヶ丘第2仮設団地	げんき公園	西ヶ丘四丁目3番1号	14戸
西ヶ丘第5仮設団地	西ヶ丘分譲地	西ヶ丘四丁目5番1号 ほか	14戸
長町仮設団地	長町公園	長町一丁目7番11号	12戸

名 称	場 所	住 所	戸 数
西町仮設団地	つつじが丘公園	西町二丁目4番1号	12戸
田の神仮設団地	田の神公園	田の神二丁目4番3号	12戸
山口仮設団地	やどり木公園	山口二丁目1番9号	15戸
板屋仮設団地	板屋公園	板屋二丁目4番1号	22戸
高浜仮設団地	高浜地区民有地	高浜一丁目2番1号	44戸
宮町第2仮設団地	あゆみ公園	宮町四丁目5番6号	16戸
上村仮設団地	わむら公園	上村一丁目7番6号	12戸
南町仮設団地	南公園	南町6番1号	24戸
日影町仮設団地	日影町地区民有地	日影町143番地1	10戸
田老第6仮設団地	宮古市立田老第三小学校グラウンド	田老字星山54番地	7戸
宮町仮設団地	ひばり公園	宮町三丁目7番1号	24戸
熊野町仮設団地	鍬ヶ崎児童遊園	熊野町6番7号	20戸
津軽石第4仮設団地	荷竹農村公園及び民有地	津軽石第15地割58番地6 ほか	82戸
小山田仮設団地	中継ポンプ場隣接地	小山田一丁目1番7号	10戸
小山田第2仮設団地	きれまち詰所跡地	小山田四丁目6番9号	14戸
和見町仮設団地	県立宮古児童相談所敷地	和見町9番22号	16戸
西町第2仮設団地	西公園	西町一丁目4番1号	20戸
長町第2仮設団地	つくし公園	長町二丁目5番11号	13戸
熊野町第2仮設団地	宮古市立鍬ヶ崎小学校グラウンド	熊野町6番33号	30戸
西ヶ丘仮設団地	西ヶ丘近隣公園	西ヶ丘一丁目1番1号	15戸
上鼻仮設団地	上鼻2丁目公園	上鼻二丁目1番3号	12戸
田鎖第2仮設団地	田鎖第9地割民有地	田鎖第9地割52番地6	27戸
重茂第5仮設団地	宮古市立重茂小学校隣接民有地	重茂第2地割15番地2	8戸
藤原仮設団地	藤原三丁目民有地	藤原三丁目8番13号	28戸
佐原第2仮設団地	佐原地区民有地	佐原三丁目7番地	12戸
日立浜町第2仮設団地	漁民住宅跡地	日立浜町11番32号	15戸
日の出町仮設団地	宮古市立第二中学校グラウンド	日の出町7番1号	96戸
田鎖仮設団地	田鎖地区民有地	田鎖第3地割1番地	50戸
松山仮設団地	松山第6地割民有地	松山第6地割50番地4	37戸
茂市仮設団地	新里生涯学習センターグラウンド	茂市第5地割5番地2	60戸
合計62箇所			2,010戸



## 義援金の給付状況

平成25年2月14日現在

### 1. 国・県義援金

種 別	単 位	第一次配分		
		支給単価	交付件数	交付金額
死亡・行方不明	1人	500,000円	542件	271,000,000円
住宅の全壊	1世帯	500,000円	3,015件	1,507,500,000円
住宅の半壊（大規模半壊含む）	1世帯	250,000円	1,539件	384,750,000円
入所施設が全壊	1人	350,000円	24件	8,400,000円
入所施設が半壊	1人	180,000円	9件	1,620,000円
合 計			5,129件	2,173,270,000円
種 別	単 位	第二次配分		
		支給単価	交付件数	交付金額
死亡・行方不明	1人	815,000円	541件	440,915,000円
住宅の全壊	1世帯	815,000円	3,015件	2,457,225,000円
住宅の半壊（大規模半壊含む）	1世帯	534,000円	1,536件	820,224,000円
入所施設が全壊	1人	562,000円	24件	13,488,000円
入所施設が半壊	1人	281,000円	9件	2,529,000円
合 計			5,125件	3,734,381,000円
種 別	単 位	第二次配分（1回目追加）		
		支給単価	交付件数	交付金額
死亡・行方不明	1人	132,000円	541件	71,412,000円
住宅の全壊	1世帯	132,000円	3,012件	397,584,000円
住宅の半壊（大規模半壊含む）	1世帯	66,000円	1,534件	101,244,000円
入所施設が全壊	1人	132,000円	24件	3,168,000円
入所施設が半壊	1人	66,000円	9件	594,000円
合 計			5,120件	574,002,000円
種 別	単 位	第二次配分（2回目追加）		
		支給単価	交付件数	交付金額
死亡・行方不明	1人	73,000円	541件	39,493,000円
住宅の全壊	1世帯	73,000円	3,006件	219,438,000円
住宅の半壊（大規模半壊含む）	1世帯	73,000円	1,529件	111,617,000円
入所施設が全壊	1人			
入所施設が半壊	1人			
合 計			5,076件	370,548,000円
種 別	単 位	第三次配分		
		支給単価	交付件数	交付金額
死亡・行方不明	1人	100,000円	541件	54,100,000円
住宅の全壊	1世帯	100,000円	2,998件	299,800,000円
住宅の半壊（大規模半壊含む）	1世帯	67,000円	1,524件	102,108,000円
入所施設が全壊	1人	66,000円	23件	1,518,000円
入所施設が半壊	1人	33,000円	9件	297,000円
合 計			5,095件	457,823,000円

種 別	単 位	第三次配分（追加）		
		支給単価	交付件数	交付金額
死亡・行方不明	1人	44,000円	539件	23,716,000円
住宅の全壊	1世帯	44,000円	2,984件	131,296,000円
住宅の半壊（大規模半壊含む）	1世帯	25,000円	1,510件	37,750,000円
入所施設が全壊	1人	38,000円	23件	874,000円
入所施設が半壊	1人	19,000円	8件	152,000円
合 計			5,064件	193,788,000円
支給総額				7,503,812,000円

## 2. 市義援金

種 別	単 位	第一次配分		
		支給単価	交付件数	交付金額
死亡又は行方不明者見舞金	1人	50,000円	541件	27,050,000円
家屋損壊等見舞金（全壊）	1世帯	50,000円	3,012件	150,600,000円
家屋損壊等見舞金（半壊）	1世帯	30,000円	1,534件	46,020,000円
家屋損壊等見舞金（店舗等）	1事業主	50,000円	430件	21,500,000円
未成年者見舞金（孤児）	1人	300,000円	6件	1,800,000円
未成年者見舞金（遺児）	1人	200,000円	38件	7,600,000円
ひとり親世帯見舞金	1世帯	100,000円	93件	9,300,000円
介護（障害者）世帯見舞金	1世帯	100,000円	190件	19,000,000円
高齢者施設等入所者見舞金	1人	100,000円	111件	11,100,000円
災害障害者見舞金	1人	40,000円	1件	40,000円
生活支援見舞金	1世帯	50,000円	557件	27,850,000円
合 計			6,513件	321,860,000円
種 別	単 位	第二次配分		
		支給単価	交付件数	交付金額
死亡又は行方不明者見舞金	1人	25,000円	541件	13,525,000円
家屋損壊等見舞金（全壊）	1世帯	25,000円	3,000件	75,000,000円
家屋損壊等見舞金（半壊）	1世帯	15,000円	1,525件	22,875,000円
家屋損壊等見舞金（店舗等）	1事業主	100,000円	428件	42,800,000円
未成年者見舞金（孤児）	1人			
未成年者見舞金（遺児）	1人			
ひとり親世帯見舞金	1世帯			
介護（障害者）世帯見舞金	1世帯			
高齢者施設等入所者見舞金	1人			
災害障害者見舞金	1人			
生活支援見舞金	1世帯	25,000円	550件	13,750,000円
合 計			6,044件	167,950,000円
支給総額				489,810,000円



## 災害弔慰金の支給状況等

### 1. 災害弔慰金

東日本大震災により、亡くなられた市民のご遺族と行方不明になられている市民のご親族を対象に災害弔慰金を支給した。

(平成 25 年 1 月 31 日現在)

区 分	件 数	支 給 額
生計維持者が死亡した場合	125 件	625,000,000 円
生計維持者以外が死亡した場合	359 件	897,500,000 円
合 計	484 件	1,522,500,000 円

### 2. 災害援護資金の貸付

東日本大震災により、世帯主に 1 か月以上の負傷がある場合または住居、家財に一定以上の損害を受けた方に生活再建に必要な資金を貸し付けた。

(平成 25 年 2 月 28 日現在)

区 分	件 数	貸 付 額
住居の全壊	31 件	76,000,000 円
住居全体の滅失・流失	20 件	66,500,000 円
住居の半壊	14 件	22,600,000 円
家財の損害	9 件	11,400,000 円
合 計	74 件	176,500,000 円

### 3. 災害弔慰金等審査会実施状況

(平成 25 年 1 月 31 日現在)

災害発生時の直接的な死亡でなくても、災害に起因して死亡したと思われる場合は、宮古市災害弔慰金等審査会に諮ったうえで、災害との関連を判断した。市では、審査会の運営事務を岩手県に委託した。

(1) 開催回数 18 回 (平成 23 年 11 月から)

(2) 諮問件数 72 件

(3) 結果 災害との関連性あり 29 件  
災害との関連性なし 28 件  
保留 15 件

## 第4章 災害対応検証の「記録」



# 東日本大震災における災害対応行動の検証

## 報 告 書 (概 要 版)

### 目 次

1. 検証の概要.....	90
1.1 背景と目的.....	90
1.2 検証の方法.....	90
2. 庁内アンケート.....	90
2.1 宮古市災害対策本部各部アンケート.....	90
2.2 職員個人アンケート.....	92
3. 庁内アンケートに基づく災害対応行動における課題抽出.....	93
4. 市民アンケート.....	97
4.1 市民アンケートの概要.....	97
4.2 宮古市における避難行動の課題.....	98
5. 関係機関活動調査結果の整理.....	99
まとめ.....	100

平成 24 年 3 月

宮 古 市

## 1. 検証の概要

---

### 1.1 背景と目的

本検証報告書は、東日本大震災に際し、市民や職員並びに関係機関がどのように対応したのかについて、市民アンケート、庁内アンケートを中心にその実態を調査したものであり、今後の地域防災計画や行動マニュアル等の見直し、防災体制の強化及び充実に資するものである。

### 1.2 検証の方法

検証はアンケート調査を中心に行い、その対象を宮古市職員、市民、岩手県とした。調査対象を以下に列挙する。

- (1) 庁内アンケート（宮古市職員）
- (2) 復興に向けた計画づくりアンケート調査から抽出
- (3) 国土交通省及び宮古市の実施した市民アンケート
- (4) 岩手県によるアンケート結果の整理分析及び課題抽出

## 2. 庁内アンケート

---

### 2.1 宮古市災害対策本部各部アンケート

災害対策本部の各部・班アンケートでは、災害対策業務に対して、発災後の経過時間毎に要した人員数を各時期別に回答するものとし、合わせて、各業務の課題抽出として、実施した作業項目、できなかったこと反省点、今後の課題・教訓を回答するものとした。

これら災害対策本部各班アンケートに基づき、業務に実施状況について、各部・班別の業務実施に要した人員数、地域防災計画との対応、業務分類毎の従事人数についてを整理・分析した。以下に、主要例として業務分類別の従事職員数（職員及び応援人員）の推移を示す（図1, 図2）。



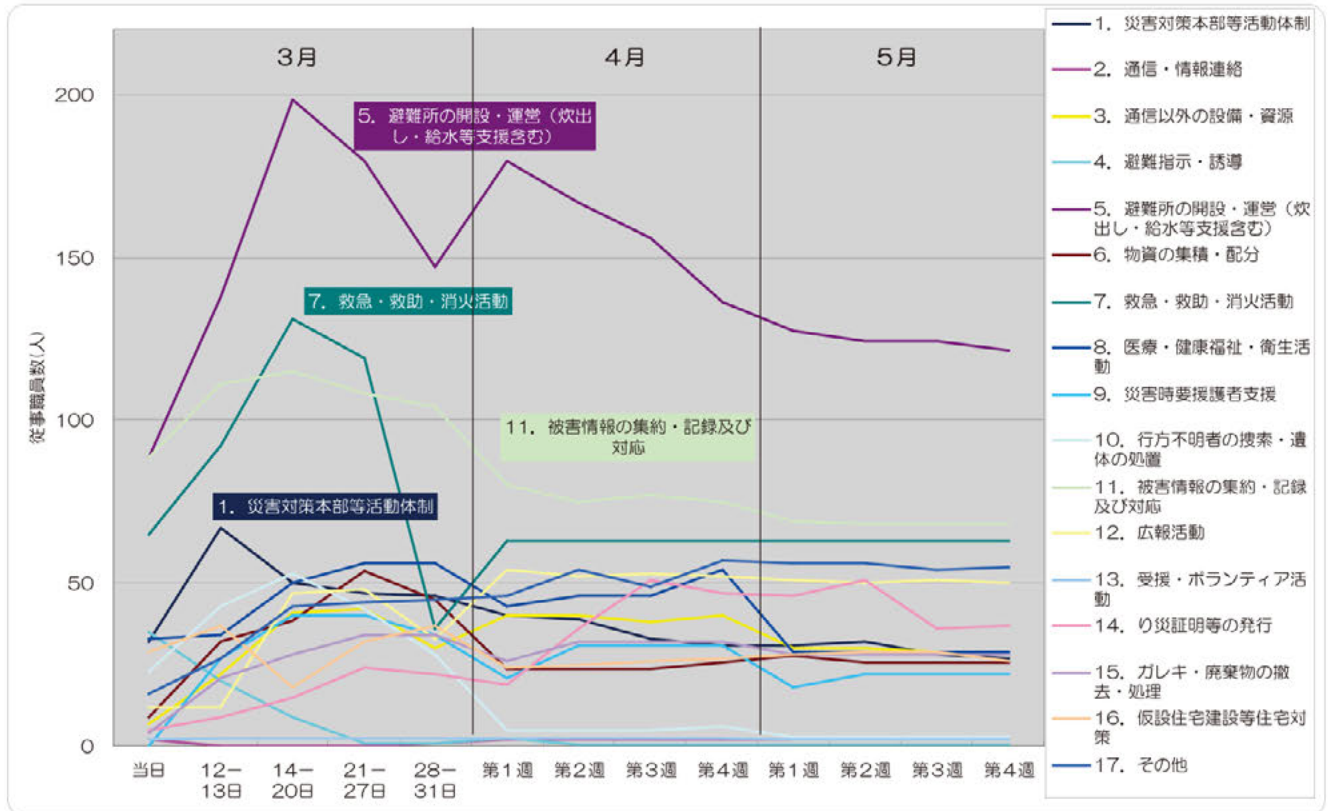


図1 職員の業務分類別従事者数の推移

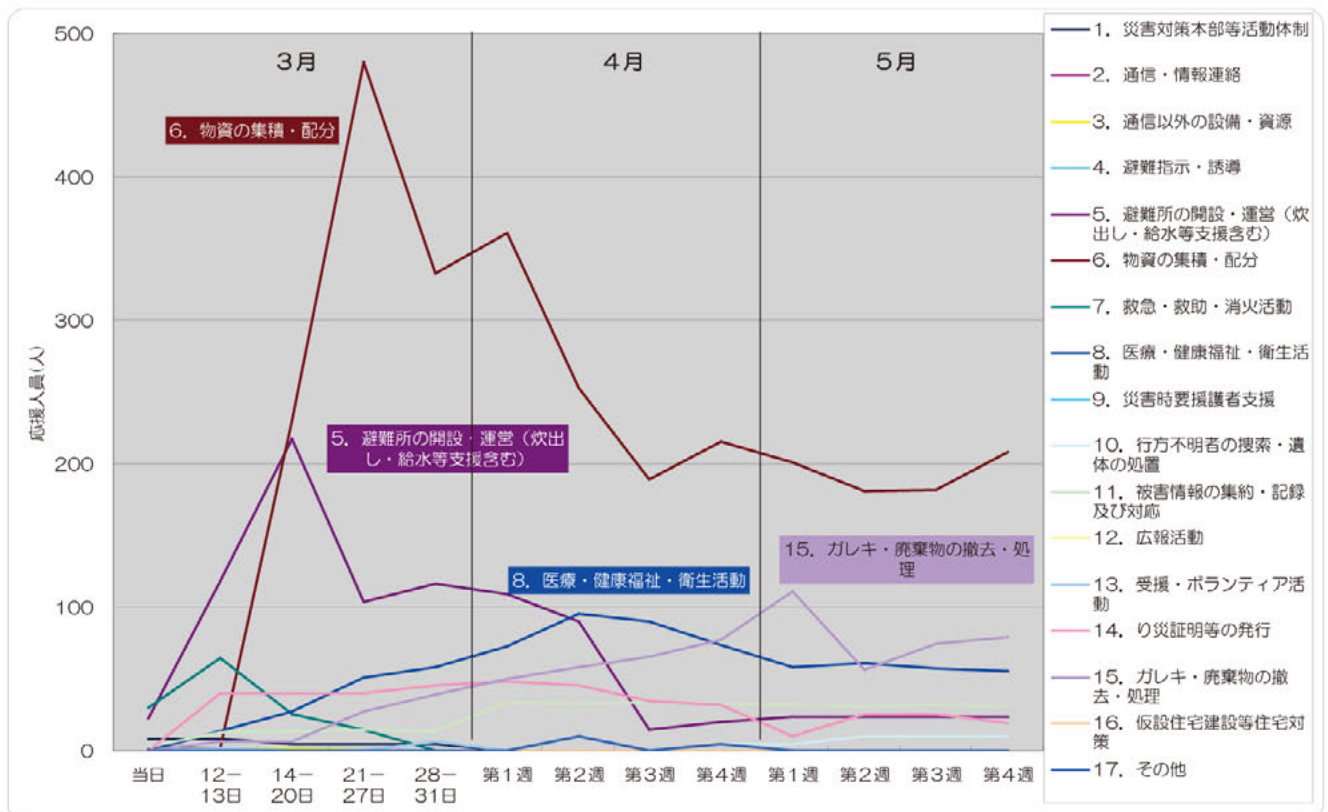


図2 応援人員の業務分類別従事者数の推移

## 2.2 職員個人アンケート

職員個人アンケートでは、各時期の実施業務のなかで生じた「有効であった対応・方法」「できなかったこと、反省点」「今後の課題・教訓とすべき事項」及び、自由意見について、アンケートを行い、職員 318 名から回答を得た。

これら職員アンケートに基づき、業務種別毎の実施状況を整理・分析した。以下に、主要例として、反省点及び、今後の課題・教訓とすべき事項の分類別意見数グラフを示す（図 3、図 4）。

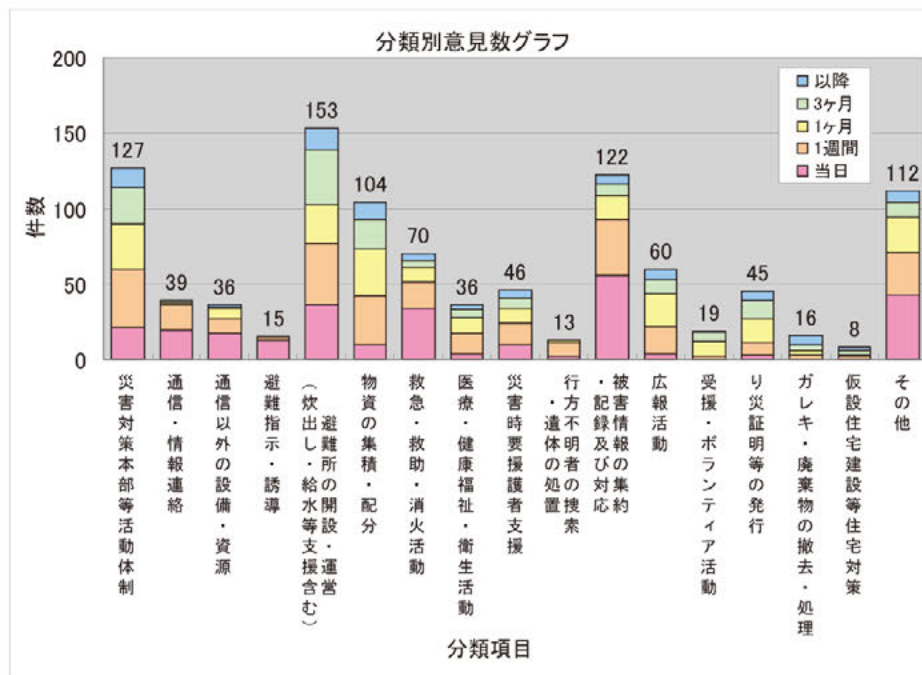


図3 「できなかったこと・反省点」の分類別意見数グラフ

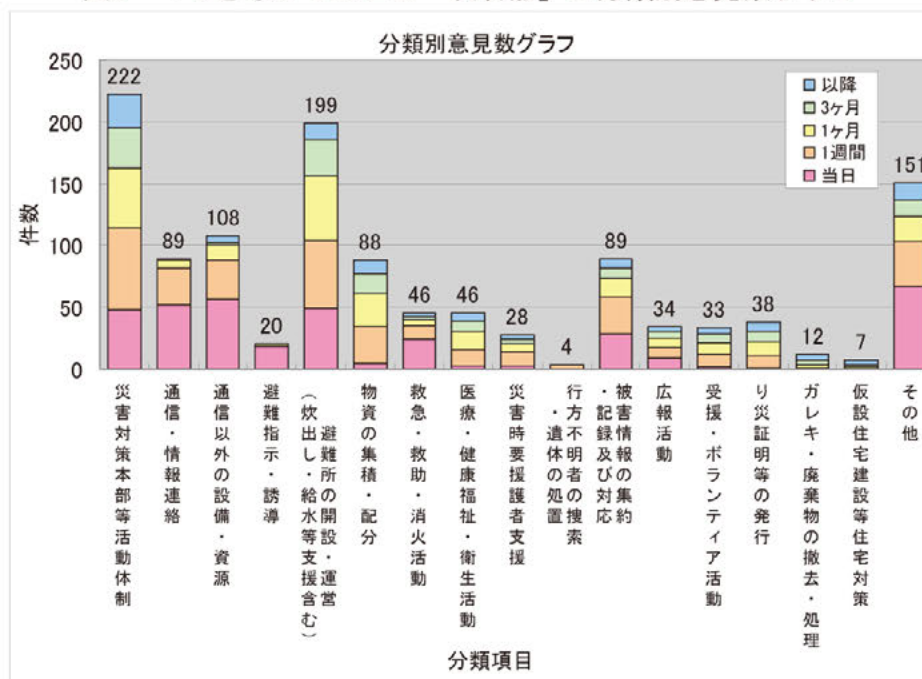


図4 「今後の課題・教訓とすべき事項」の分類別意見数グラフ



### 3. 庁内アンケートに基づく災害対応行動における課題抽出

庁内アンケートに基づき、災害対応業務の分類毎の主要課題の抽出を行った。以下に、業務を横断する全庁的な課題を整理するとともに、災害対応業務の分類毎の主要課題の抽出結果を整理する。

#### <全庁横断的な主要課題>

○防災教育の強化、自主防災組織との連携強化、震災の経験の継承等による、津波から即座に避難する文化の育成

○職員の被災と多数の業務が同時発生する状況下を想定した、職員の配分、各班の役割分担の見直し、ボランティアの有効活用等、業務実施体制の再構築

○人命救助、避難誘導、避難所開設・運営を中心とした全庁を挙げて行うべき業務の全庁的実施体制の整備

○通信施設の津波流失対策、衛星携帯電話等災害に強い通信設備の整備による複数の通信手段の確保、通信施設等に係る非常電源設備の燃料の備蓄等、通信・連絡設備の強化

○通信・連絡手段の途絶を前提とし、各班が自立的に判断・活動を行うための、各種防災マニュアルの整備と防災訓練等による人材育成

#### <各業務分類別主要課題>

##### (1) 災害対策本部等活動体制

- 災害対応の長期化に対応した、活動体制の構築、交代体制のマニュアル化
- 職員の動員・安否状況の確認、各部の連携にかかる通信手段の確保
- 職員の被災と多数の業務が同時発生する状況下における、職員の配分、役割分担の再構築に係る指揮命令系統等ルール作り

## (2) 通信・情報連絡

- 複数の通信手段・連絡手段の確保
- 長期間の一般回線の輻輳・ライフライン停止を想定した通信手段の確保
- 通信の途絶を前提とした、自立的に活動できる体制・マニュアル等の事前準備

## (3) 通信以外の設備・資源

- 庁舎被災を想定した庁舎設備の再配置等機能確保策
- 車両・非常用電源設備の燃料の備蓄・確保方策

## (4) 避難指示・誘導

- 早期の正確な情報の入手・リアルタイムでの津波状況把握方策
- 避難誘導における職員自身の安全確保
- 防災行政無線が確実に市民に伝達される体制・設備
- 早期避難の重要性に関する市民の啓発
- 安全な避難地及び避難経路の整備

## (5) 避難所の開設・運営（炊出し・給水等支援含む）

- 多数の職員を要することを鑑みた全庁体制の整備
- 統一的な避難所運営ルールの周知・マニュアル化
- 自主防災組織等の活用による避難所運営の自治運営の早期化
- 避難者への迅速かつ的確な情報提供
- 多様な被災者ニーズへの対応
- 避難所における備蓄の充実及び避難所施設の機能強化

## (6) 物資の集積・配分

- 物資調達・配布開始までに必要な物資の各避難所での備蓄
- 物資集積場所の確保
- 物資の調達・受け入れ・集積・仕分けの組織化・一本化
- 在宅避難者への支援物資供給体制
- 運送業者等ロジスティクスに長けた民間活力の早期活用体制
- 被災者ニーズと支援物資のマッチング



**(7) 救急・救助・消火活動**

- 安全で災害時要援護者でも避難しやすい避難経路の整備
- 地域の孤立化を防ぐ活動経路の整備
- 初動期における消防職員の集中投入体制
- 停電時・災害時でも確実に動作可能な水門の遠隔遮断機能の整備
- 救急・救助活動における職員自身の安全確保

**(8) 医療・健康福祉・衛生活動**

- 感染症の際の隔離等避難所における健康・衛生管理体制の構築
- 適切な救急救護所の設置
- 民間の医療機関・医薬品会社等との連携
- 防疫関連資材等の備蓄・調達体制整備

**(9) 災害時要援護者支援**

- 災害時要援護者が必要とする援助の内容に応じた対応
- 保育所等福祉関連施設における災害時要援護者に対応した食糧、介護用品、生活必需品の備蓄
- 災害時要援護者対策における自主防災組織等地域との協力

**(10) 行方不明者の捜索・遺体の処置**

- 遺体収容場所の指定と管理体制の構築
- 遺留物の保管・公開等の基準作成とマニュアル化

**(11) 被害情報の集約・記録及び対応**

- 情報収集・伝達・集約・共有化・記録体制の再構築
- 被害状況確認方法のマニュアル化、項目のリスト化
- 津波計測機器の配備と正確な津波情報の把握
- 複数の通信手段・連絡手段の確保
- 長期間の一般回線の輻輳・ライフライン停止を想定した通信手段の確保
- 防災訓練・常時からの活用による通信機器等の操作方法の習熟

**(12) 広報活動**

- 避難行動の迅速化につながる周知内容・方法
- 報道機関への対応のルール化・一本化
- 広報活動における報道機関との協力等によるリアルタイム化

**(13) 受援・ボランティア活動**

- ボランティア受入れ窓口の一本化と効率的配置
- 周辺自治体からの職員応援の受け入れ体制

**(14) り災証明等の発行**

- 窓口業務への人員確保及び適切配置による円滑化
- り災証明の発行等における行動マニュアルの整備と訓練等による周知
- 証明書発行業務における事務分掌の再点検と見直し

**(15) ガレキ・廃棄物の撤去・処理**

- 応援・ボランティア等マンパワーの早期確保
- 被災後の避難所等による一般廃棄物収集体制の早期確立

**(16) 仮設住宅建設等住宅対策**

- 被害調査の迅速化による応急仮設住宅必要数の早期把握

**(17) その他**

- 応急教育における児童生徒の心のケア
- 災害弔慰金等の早期支給体制確立
- 長期的な災害対応のための職員の心身健康管理



## 4. 市民アンケート

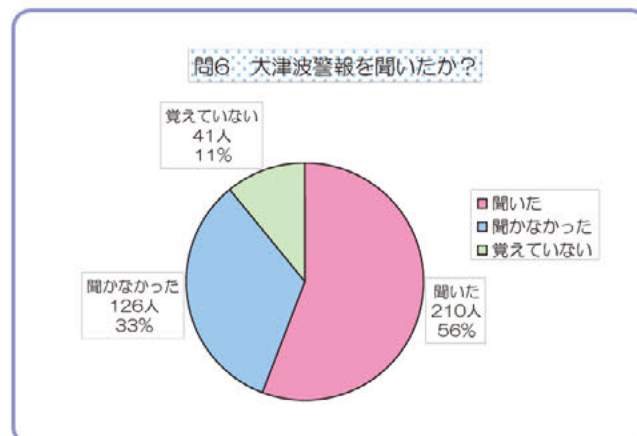
### 4.1 市民アンケートの概要

国土交通省都市局及び宮古市が実施した「東日本大震災による被災現況調査」より、「津波被災地に係る避難実態調査」として実施した、被災地での津波からの避難実態に関するアンケート調査について、その主要な回答内容と得られた課題を取りまとめた。

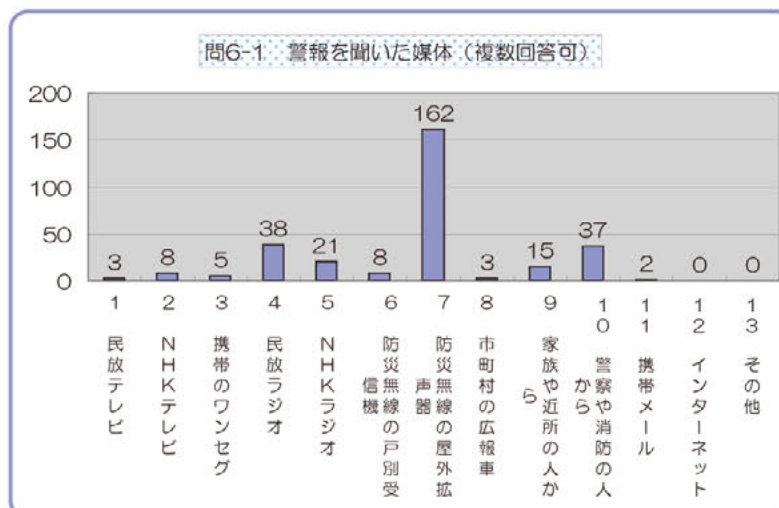
この調査は、市民個人の避難行動のヒアリング調査と、地域としての避難行動として、浸水地域を管轄する消防団に対するヒアリング調査を実施しており、同調査結果をとりまとめると共に、宮古市の行政組織としての今後の課題を抽出した。

市民アンケート結果整理の例として、大津波警報の伝達状況とその手段を示す。

問6 地震の直後に、岩手県・宮城県・福島県には大津波警報が出されました。あなたは、この大津波警報をお聞きになりましたか。（津波警報・注意報は除きます。）



問6-1(問6で「1 聞いた」と回答された方に)あなたは、その大津波の津波警報をどのようにして知りましたか。(複数回答可)



## 4.2 宮古市における避難行動の課題

以下に、アンケートにより抽出された、宮古市各地区に共通する避難行動の実態と、実態に基づく課題を示す。

### 宮古市各地区共通の課題

#### (1) ハザードマップの見直しと適切な活用

【実態】 ハザードマップで示された浸水区域を超えるエリアに被害をもたらした。  
【課題】 震災のデータと最新の知見に基づく、避難計画検討等のためのハザードマップの見直し。

【実態】 ハザードマップの浸水区域外に住む市民の避難行動が遅れたケースも見られる。  
【課題】 ハザードマップを超える可能性も踏まえた避難行動に対する住民への啓発。

#### (2) 避難場所の見直し

【実態】 指定避難場所が津波被害を受け、二度逃げを余儀なくされたケースがある。  
【課題】 より安全な避難場所の整備・配置。

#### (3) 避難路の整備

【実態】 高齢者や災害時要援護者にとって急な坂道の避難が困難だった。  
【課題】 重要な避難経路を中心とした道路の舗装や拡幅、整備。

#### (4) 津波警報や避難指示等の広報手段の改善

【実態】 「防災行政無線が聞き取りづらかった」「緊急の場合、危機的な話し方をすべきだ」等の意見が多かった。  
【課題】 住民に対して確実に危険を知らせ、避難を促すための広報についての検討。

#### (5) 地区が孤立しないための代替路等の整備

【実態】 国道 45 号をはじめとする主要道路が遮断され、地区が外部から孤立してしまい、救援物資の運搬、傷病人の搬送等に支障が出た。  
【課題】 災害時でも外部との通行を確保するための代替路等の整備。



## (6) 住民の津波の危険性に対する意識向上

【実態】 津波が来ないと思っていた人、海の様子を見に堤防まで行った人、自宅に戻った人などが多く犠牲になっているとの意見が多かった。

【課題】 震災の教訓を踏まえ、津波避難訓練の充実や、伝承に関する教育の強化。

## 5. 関係機関活動調査結果の整理

岩手県による「東日本大震災津波対応検証中間報告」に基づく検証結果の概要をとりまとめた。以下に、特に重要な項目として分科会が設置された事項について、岩手県地域防災計画の見直し項目を列挙する。

## ＜第1分科会 通信・情報に関する見直し項目＞

## 1 共通事項

- (1) 大規模災害時等における県による自主的応援

## 2 平時の通信確保対策

- (1) 通信施設の津波流失対策  
 (2) 通信確保計画の算定  
 (3) 関係団体等との協力体制の整備

## 3 災害時の通信確保対策

- (1) 情報通信事業者への協力依頼  
 (2) 連絡普通時の被災市町村への県調査班の派遣  
 (3) 情報通信サービス事業者による広報活動への支援  
 (4) その他（県本部の調査班、自衛隊等の被害情報収集における報告様式の策定）

## ＜第2分科会 避難計画に関する見直し概要＞

## 1 共通事項

- (1) 大規模災害時等における県による自主的応援

## 2 避難計画について

- (1) 最大クラスの津波を想定した避難計画の作成  
 (2) 夜間等における避難計画の作成

## 3 避難行動について

- (1) 津波発生時の心得等の普及  
 (2) 津波災害文化の継承  
 (3) 例外的な自動車避難方法の策定  
 (4) 避難誘導のルール化

(5) 社会福祉施設その他の公共公益施設の高台移転の推進

4 避難所支援について

- (1) 避難場所等の見直し
- (2) 避難の長期化に応じた避難場所環境の整備
- (3) 避難所管理運営体制の計画策定
- (4) 避難場所運営訓練の促進
- (5) その他（衛星携帯電話等による通信訓練、避難者の宿泊施設等への受入れ）

<第3分科会 物資・備蓄に関する見直し概要>

1 共通事項

- (1) 大規模災害時等における県による自主的応援

2 備蓄関係

- (1) 食料、生活必需品の備蓄に係る計画

3 物資のニーズ把握等

- (1) 避難所の物資のニーズの把握
- (2) 食物アレルギー者等への配慮
- (3) 道路の障害物の優先除去

4 物資の集積、輸送等

- (1) 県の輸送拠点の追加
- (2) 応援協定の締結等による緊急輸送体制の整備
- (3) 陸上輸送燃料の確保
- (4) 緊急輸送の際の連絡に係る協力要請

5 在宅避難者への対応

- (1) 避難所外避難者に対する支援

6 その他

- (1) 生活必需品供給計画と食糧供給計画の統合

## まとめ

本検証報告書は、庁内・市民アンケートを中心に、東日本大震災における宮古市の災害対応について課題・教訓を可能な限り定量的・体系的に整理したものである。

本報告書で示したように、その災害対応活動では、情報通信機能の不全や、燃料不足、社会インフラの寸断による物資配送の遅れなど、様々な教訓・課題を残すものであった。

地震・津波による災害は今回の震災で終わりではなく、今後もいつか必ず発生する。今後の災害に最大限的確な対応ができるよう、本調査の活用等により市の防災対策の最上位計画である地域防災計画の見直しを実施し、防災体制の充実・強化を図らなければならない。



## 第5章 復興に向けての「記録」

## 東日本大震災後における防災対策の取り組み

市では、東日本大震災を受け「宮古市東日本大震災復興計画」を策定し、復興の一つの柱である「安全な地域づくり」の実現に向けて、「地域防災力の向上」「防災・危機管理体制の強化と再構築」への取り組みを推進しています。

これまでの取り組みの状況と概要については、次のとおりです。

### 1 地域防災力の向上

#### (1) 防災施設（避難路、誘導標識等）の復旧・整備

##### □宮古市都市防災総合推進事業計画策定事業（平成24年度）

避難路概略設計、誘導標識概略設計、避難環境計画案検討、防災拠点の防災センター整備計画案検討、地域防災拠点の集落防災センター整備計画案検討、津波避難ビル等整備計画案検討、事業全体図の作成のため、必要となる調査や検討などの事業を実施中です。

##### □避難誘導標識板設置工事（平成23年度～平成24年度）

平常時からの避難場所や避難経路の周知と非常時の避難誘導のため、鉾ヶ崎地区、津軽石地区、重茂地区への避難誘導標識板の整備を進めています。

##### □避難路整備工事（平成24年度）

災害が発生した場合、迅速に避難できる避難路の整備を鉾ヶ崎地区で進めています。

#### (2) 防災意識の醸成と知識の向上

##### □宮古市津波避難訓練（平成23年度）

東日本大震災が発生した3月11日に災害対策本部設置運営訓練、避難所開設運営訓練、職員参集訓練、津波防御訓練、炊き出し訓練、応急救護所開設訓練を実施しました。

##### □宮古市総合防災訓練（平成24年度）

8月19日に防災関係機関と合同で総合的な防災訓練を実施しました。

##### □津波防災の日シンポジウム（平成23年度・平成24年度）

津波防災の日の平成23年11月5日に「東日本大震災による津波災害の実態と教訓」と題した講演、「東日本大震災時の地域の活動と今後の取り組み」と題したパネルディスカッションを開催しました。

平成24年11月4日に「地震・津波の一般知識と情報について」と題した講演会を開催しました。

#### (3) 消防力の回復

##### □消防ポンプ自動車の復旧（平成23年度）

東日本大震災で被災した消防ポンプ自動車6台、小型動力ポンプ積載車1台、小型動力ポンプ8台を整備し消防団に再配置しました。

##### □消防団員安全対策設備の整備（平成23年度・平成24年度）

消防団活動時における団員の安全確保を図るため、ライフジャケット、ヘッドライト、トランシーバー、ハロゲンライト、発電機、ゴムボート、救助用浮輪、救助用ロープ、銀長靴、ケブラー手袋を整備しました。

##### □宮古市消防団協力事業所表示制度の実施（平成24年度）

消防団に入団しやすく、かつ消防団員として活動しやすい環境を整備するため、消防団に積



極的に協力している事業所に対して消防団協力事業所表示証を交付する宮古市消防団協力事業所表示制度を平成24年4月1日から開始しました。

## 2 防災・危機管理体制の強化と再構築

### (1) 地域防災計画・行動マニュアルの見直し

#### □災害対応行動調査・分析事業（平成23年度）

東日本大震災における災害応急対応の検証のため、調査・分析を実施しました。

#### □宮古市地域防災計画修正事業（平成24年度）

宮古市防災会議や専門委員会を開催し、防災の基本となる宮古市地域防災計画の修正を進めています。

#### □川井地区防災ハザードマップ作成事業（平成24年度）

川井地区の洪水・土砂災害のハザードマップを作成中です。

### (2) 市民への情報伝達手段の再構築

#### □宮古市防災行政無線施設復旧工事（平成23年度～平成24年度）

東日本大震災で被災した屋外拡声子局設備、車載型・携帯型無線機などを復旧しました。

#### □宮古市防災行政無線施設難聴地域解消工事（平成24年度）

市全域の音達調査後に防災行政無線放送の難聴地域に屋外拡声子局設備を整備しました。

#### □川井地区防災行政無線整備基本設計業務（平成24年度）

従来のアナログ形式での放送からデジタル形式での放送へ移行するための基本設計業務を実施中です。

#### □防災行政無線車載型無線機購入事業（平成24年度）

東日本大震災により、被災した市公用車に設置していた車載型無線機を再配備しました。

#### □災害対策本部用衛星携帯電話購入事業（平成23年度～平成24年度）

災害時に宮古市災害対策本部内で使用するため衛星携帯電話8台を配備したほか、さらに岩手県から衛星携帯電話1台が配備されました。

#### □災害・避難情報の通信体制の整備（平成23年度～平成24年度）

土砂災害や河川の氾濫の恐れがある場合の避難準備情報、避難勧告、避難指示情報を宮古市のエリア内にいる方の携帯電話へ配信するため、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイルと連携して運用を開始しました。

#### □宮古市緊急地震速報システム整備業務（平成24年度）

地震や津波などの緊急情報を伝達するため、市内小中学校35校の校内放送設備に緊急地震速報システムを整備しました。

#### □緊急地震速報機購入事業（平成24年度）

地震の揺れに対する心構えと地震発生前の避難行動、地震情報を市民などへ伝達するため、市内公共施設などに緊急地震速報機を配備しました。

### (3) 被災者救護・救援体制の再構築

#### □防災資機材整備事業（平成23年度～平成24年度）

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパンの支援により、市内39か所の小中学校などの避難所に防災備蓄倉庫、簡易組立トイレ、災害備蓄用毛布、保存米（1日3食3日分程度）、保存水、発電機、ストーブ、生活必需品を備蓄しました。

□公共施設への発電機配備（平成23年度～平成24年度）

小中学校や集会施設などの市内公共施設の避難所83か所へ発電機を配備しました。

□防災行政無線携帯型無線機購入事業（平成24年度）

大規模災害時に避難所の通信手段を確保するため、携帯型無線機50台を配備しました。

□特定小電力トランシーバー購入事業（平成24年度）

災害時に避難所内で連絡を確実にを行うため、特定小電力トランシーバー180台を配備しました。

□避難所運営訓練（平成24年度）

市職員の緊急初動特別班を対象に避難所の開設・運営方法の基本を習得する訓練を実施しました。



# 宮古市震災復興基本方針

平成23年6月1日  
宮古市

## 1 趣旨

平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」は、観測史上国内最大のマグニチュード9.0を記録、本市を含む太平洋沿岸部の広い範囲に大津波が襲来し、多くの尊い命や貴重な財産が奪われました。

災害発生当初から厳しい環境の中で、全国各地、そして世界各国から温かいご支援をいただき、未曾有の大災害からの復旧に取り組んできました。

現在も瓦礫の撤去や行方不明者の搜索、ライフラインの復旧が進められていますが、それと並行して、復旧から復興へと将来を見据えた取り組みを進める段階を迎えています。

このことから、本市の復興に向けた取り組みの基本的な考え方を明らかにするとともに、復興に向けたまちづくりを推進するため、「宮古市震災復興基本方針」を定めるものです。

## 2 復興に向けた基本的な考え方

本市の復興に向けた基本的な考え方は次のとおりです。この基本的な考え方に基づき、復興に向けた総合的な計画として「復興計画」を策定します。

### ○市民生活の安定と再建を図ります。

被災した市民の物心両面の被害、傷を早急に回復し癒すために、応急仮設住宅の建設等による住宅の確保をはじめとした暮らしの安定を図られるよう取り組みを進めます。

また、甚大な被害を被った水産業、商工業をはじめ、農林業など各産業の復興に向けた取り組みを支援し、地域経済の早期回復、雇用の維持・確保を図るなど市民が安定した生活を取り戻すための取り組みを進めます。

### ○安全で快適な生活環境の実現を図ります。

復興にあたっては、都市基盤や公共施設、市街地環境など市民の生活環境を単に被災前の状況に戻すのではなく、宮古市が持続可能な自治体であり続けるための長期的な展望に立ちつつ、より安全で快適な生活環境の実現を目指し取り組みを進めます。

また、今回の災害を礎に防災施設を再構築するなかで、自らの生命を自ら守れるような環境整備、共助による地域防災力の向上、そのためのコミュニティの強化、再生の取り組みを進めます。

### 3 復興にあたって配慮して取り組むべき事項

復興にあたっては、次の点に配慮した取り組みを進めます。

#### ○市民と行政とのパートナーシップによる参画と協働を基本として進めます。

復興計画の策定等において、適切な情報提供や意見聴取を行うなど、市民と行政とのパートナーシップによる参画と協働を基本として進めます。

#### ○計画的かつ効率的に事業を進めます。

今回の災害に起因する行政需要は膨大に発生するものと予想されます。

このことから、実施効果や重要性を考慮し、計画的かつ効率的に事業を進めます。

#### ○被災した市民への配慮と公平性を確保します。

復興施策や事業の企画、立案、実施にあたっては、被災した市民に対する施策や事業効果が実質的に公平になるようにする必要があります。

このことから、情報の提供や相談機会、各種サービスの提供等について公平な取り扱いができるよう、個々の状況や状態に応じた周知方法、手段で提供を行います。

#### ○状況変化に応じて柔軟に対応します。

今後も前例のない、想定もしない様々な事態や状況が発生することが考えられます。このような場合であっても、公としての立場に立ちつつ、被災者そして市民の視点に立つという姿勢のもと、柔軟かつ臨機応変に対応します。

### 4 復興計画の策定

#### (1) 策定の趣旨

復興計画は、今後の復興にあたって、復興対策を迅速かつ効率的に実施するための総合的な計画であり、国、県や公共的機関との連携・協力とともに、市民、地域自治組織、市民活動団体、企業・事業者など宮古市に関わる全ての人々が一丸となって復興に取り組むための指針として策定するものです。

#### (2) 復興計画の内容

復興に向けた基本的な考え方に基づき、復興後の市民生活や市街地の形成等のあるべき姿（目標）を掲げます。

また、目標を達成するための各施策の方向を示すとともに、その実現手段を体系化します。

なお、復興計画の柱としては、「すまいと暮らしの再建」「産業・経済復興」「安全な地域づくり」を想定し、外部検討組織や被災した方をはじめ市民等の意見を踏まえながら定めることとします。

#### (3) 総合計画との調整

宮古市のまちづくりの指針（マスタープラン）である「総合計画」に掲げるまちづくりのあるべき姿を踏まえ、計画を策定します。また、総合計画及び関連計画との調整を図ります。



## 5 推進体制

### (1) 庁内体制の整備

平成23年4月19日に市長を本部長とする「宮古市東日本大震災復興本部」を設置し、全庁一丸となった推進体制を整備しました。また、7月を目途に庁内に「復興の総括・企画調整を担う専門組織」「被災者支援を担う専門組織」を設置し、震災からの復興に向けた取り組みを一層、加速化させます。

### (2) 外部検討組織の設置

平成23年7月を目途に学識経験者や産業界・公的団体の代表、行政機関、地域住民等をメンバーとした検討組織を設置し、復興計画に関しての提言等を聴取していきます。

### (3) 岩手県沿岸市町村との連携

平成23年4月1日に岩手県沿岸の13市町村が連携し「岩手県沿岸市町村復興期成同盟会」を設立しました。災害復旧・復興に向け、国や県に対し支援を要望するなど、沿岸市町村が一体となった取り組みを推進します。

## 6 当面、緊急的に取り組む内容

被災した市民の生活の一日でも早い回復に向け、また、市民生活の安定を図るため、以下の事項について、当面、緊急的かつ優先的に取り組んでいきます。

なお、復興にあたっては、従来の各種制度の枠を超えた財政支援等について、国や県に対し強く要望していきます。

### (1) 被災した市民の生活支援

#### ① 快適な避難所生活の確保

現在も市内には多数の避難者がおり、避難所での生活を余儀なくされています。避難所における共同生活は、様々な制約が避けられないところですが、より過ごしやすい環境を整えるとともに、心身の健康を保ちながら安心した生活ができるよう支援体制の充実を図ります。

#### ② 住まい（応急仮設住宅・公営住宅）の確保

被災した市民の暮らしの基盤となる安心できる住まいを確保するため、県と連携を図りながら、7月中を目途に応急仮設住宅の完成、早期の入居を目指すとともに、雇用促進住宅、県営住宅、市営住宅など公営住宅の確保・活用を図ります。

### (2) 情報提供・市民相談の充実

#### ① 情報提供

広報みやこの発行、市ホームページやモバイルメールなどインターネットの活用、さらには、臨時災害放送「みやこ災害エフエム」を通じ、被災した方はじめ市民に対して、最新かつ必要な情報をいち早く提供します。

また、市外に一時的に避難している市民もいることから、岩手県沿岸市町村復興期成同盟会と連携し、テレビ、新聞等を通じて情報を提供します。

## ②市民相談の充実

被災した市民は、不安定な生活のなかで、困りごとや悩みごとなど今後の生活に関して大きな不安を抱えています。このような相談にきめ細かく対応するため、市民相談室を中心に関係機関との連携を図りながら、相談体制の充実を図ります。

## (3) 公共土木施設とライフライン等の早期復旧

### ①公共土木施設の復旧

広範かつ甚大な被害が発生している公共土木施設（道路・橋梁・港湾・漁港・海岸・河川・下水道等）は、災害復旧や復興に向けた基盤となるものであり、各関係機関と連携し被災状況の実態把握に努めるとともに、早期に応急的な復旧工事を行います。

### ②ライフラインの復旧

市内の上水道、電気、固定電話は概ね復旧していますが、携帯電話は一部地域において不通となっていることから、早期の復旧について事業者働きかけます。

### ③公共交通機関の運行再開等

#### ◆バス交通

道路の不通により運休している路線について、道路の復旧状況を見ながら再開について事業者働きかけます。

#### ◆鉄道（JR）

JR山田線（宮古・盛岡間）は、全てのダイヤにおいて早期に運行が回復するよう事業者働きかけます。

JR山田線（宮古・釜石間）は、線路、橋梁、駅舎等の流出・損壊などにより甚大な被害が発生し、復旧には年単位での時間を要するものと見込まれることから、出来る限り早期に復旧するよう事業者働きかけます。

#### ◆鉄道（三陸鉄道）

北リアス線、南リアス線とも線路、橋梁、駅舎等の流出・損壊などにより甚大な被害が発生し、一部区間の運行となっていますが、市民生活に多大な影響が生じないよう事業者働きかけます。

なお、復旧には相当の費用が見込まれ、国の全面的な支援がなければ、再建できる見通しが立たない状況にあることから、県や沿線市町村、事業者と連携し国に働きかけます。

## (4) 災害廃棄物の処理

津波被害により、陸域・海域に災害廃棄物が発生し、その処理すべき量の膨大さから市民生活に多大な影響が生じており、出来る限り、早期に処理完了するよう県の支援を受けながら進めていきます。

## (5) 教育環境の確保

津波被害により、学校教育施設や社会・体育施設の一部が利用できない状況にあります。適正な教育環境の確保のため、被災施設の早期復旧を進めます。

また、被災した児童生徒に対しては、関係機関等との連携を図り、就学援助



費支給等の就学支援や適切な心のケアに努めるほか、通学困難な児童生徒に対する交通手段の確保を継続します。

#### (6) 保健・医療・福祉の確保

被災した市民の心身の健康を保つため、県立病院や民間医療機関等との連携のもと、ハード・ソフト両面からの医療の提供体制を確保するとともに、保健指導などに努めます。

また、被災した子どもや高齢者、障がい者の方々が安心して生活を送るための支援について、関係機関・団体と連携を図りながら進めます。

#### (7) 雇用確保及び産業の復興

##### ①雇用・生活資金の確保

津波被害により、工場の操業停止や事業縮小に追い込まれる事業者も発生し、従業員の解雇、休職や新規学卒者の内定取消し等の雇用問題、漁業者等の生活再建などの問題が発生しています。

雇用を維持するための支援など被災者の雇用と生活資金の確保に努めます。

##### ②漁業の復興

漁船、漁港、養殖施設など漁業に関わるほとんどの施設・設備が壊滅的な被害を受けています。

事業再開に向け漁港・漁場に堆積した瓦礫等について、順次除去作業を進め、漁港・漁場の機能と生産基盤の回復を図ります。

また、漁協と連携して、漁業者の経営・金融相談の充実を図るとともに、漁業の再建に向けた支援を強化します。

##### ③商工業の復興

津波により、商店街の店舗への浸水、水産加工業をはじめとする工場の施設・設備の損壊など甚大な被害を受けています。

建物等の解体撤去、仮設店舗・工場等での事業再開を支援するとともに、国・県や商工会議所など関係機関との連携強化を図り、事業の維持・再開に向け、利子補給のほか各種情報の提供や相談体制を充実させ、地域経済の早期の回復を目指します。

##### ④農林業の復興

津波により、海岸部の農地が水田を中心に甚大な被害を受けています。

農地へ流入した瓦礫の撤去を順次進めるとともに、国・県や農協など関係機関と連携し、耕地の除塩や堆積土砂の除去及び用水路・揚水施設等の復旧を図ります。

また、津波とそれに伴う塩害及び山火事で森林や林道が被害を受け、地場材を加工する施設・設備等が損壊していることから早期の復旧を目指します。

##### ⑤観光の復興

国立公園施設や主要な観光施設は壊滅的な被害を受けています。

国立公園内に残された瓦礫の撤去作業を進め、観光施設等の早期の復旧を目指します。

## 宮古市東日本大震災復興計画策定に係る経過

H23. 3. 11	東北地方太平洋沖地震発生
H23. 4. 19	宮古市東日本大震災復興本部を設置
H23. 4. 25	第1回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H23. 5. 16	第2回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H23. 5. 20	宮古市議会復興対策特別委員会において宮古市震災復興基本方針案について説明
H23. 5. 23	第3回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H23. 6. 1	宮古市震災復興基本方針を策定
H23. 6. 20	復興推進室を設置 第4回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H23. 6. 23～ H23. 7. 4	宮古市震災復興に係る市民懇談会を開催 ・市内14会場、参加者数1,516人
H23. 7. 8～ H23. 7. 26	復興に向けた計画づくりに関するアンケート調査を実施 ・被災地域及び周辺の6,644世帯を対象。回収数は3,200世帯（48.2%）。
H23. 7. 13	第5回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H23. 7. 25	第1回宮古市東日本大震災復興計画検討委員会を開催
H23. 8. 19	第6回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H23. 8. 23	第2回宮古市東日本大震災復興計画検討委員会を開催
H23. 9. 6	宮古市東日本大震災復興計画（基本計画）策定に係る女性会議構成団体との意見交換会を開催
H23. 9. 7	宮古市議会復興対策特別委員会において宮古市東日本大震災復興計画（基本計画）素案について意見交換を実施
H23. 9. 8	第7回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H23. 9. 13	第3回宮古市東日本大震災復興計画検討委員会を開催
H23. 9. 16	宮古市議会からの東日本大震災からの復興に向けた提言を受理
H23. 9. 26	第8回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催



H23. 9. 28	第4回宮古市東日本大震災復興計画検討委員会を開催
H23. 10. 1～ H23. 10. 20	宮古市東日本大震災復興計画（基本計画）案に係るパブリックコメントを実施
H23. 10. 13	宮古市東日本大震災復興計画（基本計画）策定に係る高校生との意見交換会
H23. 10. 14～ H23. 10. 18	宮古市東日本大震災復興計画（基本計画）案に係る市民説明会を開催 ・市内7会場、参加者数452人
H23. 10. 25	第9回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H23. 10. 28	第5回宮古市東日本大震災復興計画検討委員会を開催
H23. 10. 31	宮古市議会復興対策特別委員会において宮古市東日本復興計画（基本計画）案について説明
H23. 10. 31	第10回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H23. 10. 31	宮古市東日本大震災復興計画（基本計画）を策定
H23. 11. 28	第11回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H24. 1. 4	第12回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H24. 1. 31	第13回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H24. 2. 27	第14回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H24. 2. 29	第6回宮古市東日本大震災復興計画検討委員会を開催
H24. 3. 3～ H24. 3. 22	宮古市東日本大震災復興計画（推進計画）案に係るパブリックコメントを実施
H24. 3. 12	宮古市議会議員全員協議会において東日本大震災復興計画（推進計画）案について説明
H24. 3. 14	第15回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H24. 3. 23	第16回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H24. 3. 30	第17回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H24. 3. 30	宮古市議会議員全員協議会において東日本大震災復興計画（推進計画）について説明
H24. 3. 30	宮古市東日本大震災復興計画（推進計画）を策定

## 宮古市東日本大震災復興計画策定後に係る経過

H24. 4. 17	第 18 回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H24. 7. 17	第 19 回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H24. 8. 9	第 20 回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H24. 9. 4	第 21 回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H24. 11. 5	第 22 回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H24. 12. 3	第 23 回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H25. 1. 7	第 24 回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催
H25. 2. 4	第 25 回宮古市東日本大震災復興本部会議を開催



## 宮古市東日本大震災地区復興まちづくり計画策定に係る経過

H23. 9. 6～ H23. 10. 8	○□第1回地区復興まちづくりの会を開催 ・市内23会場、参加者数1,239人
H23. 10. 12～ H23. 11. 15	□第1回意向調査を実施
H23. 10. 25～ H23. 11. 11	○第1回地区復興まちづくり検討会を開催
H23. 11. 24～ H23. 12. 9	○第2回地区復興まちづくり検討会を開催
H23. 12. 14～ H24. 1. 11	□意見交換会を開催
H23. 12. 20～ H24. 1. 13	○第3回地区復興まちづくり検討会を開催
H24. 1. 14～ H24. 1. 24	○地区復興まちづくり計画（素案）内覧会を開催 ・市内13会場、参加者数667人
H24. 1. 30～ H24. 2. 9	○第4回地区復興まちづくり検討会を開催
H24. 2. 2～ H24. 3. 17	□第2回意向調査を実施
H24. 2. 16～ H24. 2. 23	○第2回地区復興まちづくりの会を開催 ・市内12会場、参加者数863人、10地区のうち6地区が市長へ提言を提出
H24. 2. 28	○10地区のうち4地区が市長へ提言を提出
H24. 3. 19～ H24. 3. 23	□第2回地区復興まちづくりの会を開催 ・市内5会場、参加者数91人
H24. 3. 30	◇宮古市東日本大震災地区復興まちづくり計画の策定

※◇：全般事項、○：被災戸数100戸以上の10地区、□：被災戸数40戸未満の23地区



平成 25 年 3 月 発行  
岩手県宮古市  
岩手県宮古市新川町 2 番 1 号  
TEL 0193 - 62 - 2111

表紙写真

3月11日 午後3時23分。真っ黒に染まった波は、みるみるうちに水位を上げ、ごう音とともに市街地へと流れ込んだ。